

令和4年度第2回和歌山県スポーツ推進審議会

日 時：令和5年3月8日（水）13：30～15：00
場 所：アバローム紀の国3階 孔雀の間

会 議 次 第

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 議 題

- (1) 令和5年度におけるスポーツ団体に対する補助（案）について
- (2) 令和5年度における本県スポーツ振興の取組について
 - 〔令和5年度和歌山県生涯スポーツ振興基本方針（案）について
令和5年度和歌山県競技力向上対策基本方針（案）について〕
- (3) 和歌山県スポーツ推進計画の見直し（改訂案）について

4 報告事項

- (1) スポーツ生活に関するアンケートの結果報告について
- (2) 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について
- (3) 全国高等学校総合体育大会及びヨット競技大会について
- (4) 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備について
- (5) ワールドマスターズゲームズ2027関西の会期決定、概要について
- (6) 第77回栃木国体総合成績について
- (7) 第22回全国障害者スポーツ大会について

5 意見交換

6 閉 会

令和４年度第２回和歌山県スポーツ推進審議会 座席表

日 時：令和5年3月8日（水）13：30～

場 所：アバローム紀の国 孔雀の間

（委員席）	山下会長		橋爪副会長	
	太田委員		坂東委員	
	押村委員		彦次委員	
	阪本委員		古谷委員	
	田村委員		南委員	
	中西委員		本松委員	
	西上委員		森下委員	

入口

司会

	栗生局長		宮崎教育長		田伏課長		上野副課長
--	------	--	-------	--	------	--	-------

(スポーツ課)

(スポーツ課)

安井副課長		下村主幹		武野主幹		森班長	
-------	--	------	--	------	--	-----	--

(スポーツ課)

(障害福祉課)

(競技力向上推進班)

(スポーツ企画班)

	大原班長		橋爪班長		武田指導主事	
--	------	--	------	--	--------	--

(総務管理班)

(生涯スポーツ班)

(義務教育課)

--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--

和歌山県スポーツ推進審議会委員

(五十音順)

	委員氏名	役職等	備考
1	おお 太 田 けん じ 二	県小学校体育連絡協議会会長（和歌山市立中之島小学校 校長）	2期目
2	おし 押 村 ひろし 浩	学識経験者（株式会社紀陽銀行人事部長）	1期目
3	さか 阪 もと けん じ 二	障害者スポーツ代表（県障害者スポーツ協会理事）	4期目
4	さか 坂 もと まさ ゆき 行	学識経験者（NP0法人和歌山マスターズ陸上競技連盟理事長）	1期目
5	しま 島 もと く に 仁	スポーツ選手・指導者代表（県テニス協会副理事長）	4期目
6	すじ 筋 し みつ ひろ 博	県スポーツ推進委員協議会会長	7期目
7	すみ 角 や まさ ふみ 文	学識経験者（県体育協会スポーツ医・科学委員会委員長）	6期目
8	た 田 むら みつ ほ 穂	県スポーツ振興財団常務理事	3期目
9	なか 中 にし とも こ 子	スポーツ選手・指導者代表（有田市教育委員会事務局教育総務課）	2期目
10	にし 西 がみ よし と 人	県高等学校体育連盟会長（県立和歌山北高等学校 校長）	1期目
11	はし 橋 つめ しず お 夫	学識経験者（南京師範大学体育科学学院客員教授）	10期目
12	ばん 坂 どう あつみ	女性スポーツ代表（県女性スポーツ連盟理事長）	6期目
13	ひこ 彦 じ けい 佳	学識経験者（和歌山大学教育学部保健体育准教授）	5期目
14	ふる 古 たに とも ひろ 宏	県中学校体育連盟会長（和歌山市立明和中学校 校長）	1期目
15	みつ 三 い とし ひと 仁	学識経験者（日本福祉大学大学院スポーツ科学研究科教授）	6期目
16	みなみ 南 ゆ か 佳	学識経験者（スプラウトスポーツクラブ和歌山理事）	3期目
17	もと 本 まつ たい さく 策	県PTA連合会副会長	2期目
18	もり 森 した じゅん こ 子	学識経験者（学校法人和歌山信愛大学教育学部准教授）	2期目
19	やま 山 した いく お 夫	県体育協会副会長	4期目

任期：令和4年3月1日から令和6年2月29日まで

ただし、古谷友宏氏については、令和4年4月21日から令和6年2月29日まで、
西上嘉人氏については、令和4年5月2日から令和6年2月29日までとする。

配布資料一覧

議題1	資料1-1	令和5年度におけるスポーツ団体に対する補助(案)
	資料1-2	令和5年度スポーツ関連当初予算(案)一覧表
議題2	資料2-1	令和5年度和歌山県生涯スポーツ振興基本計画(案)
	資料2-2	令和5年度和歌山県競技力向上対策基本方針(案)
議題3	資料3	和歌山県スポーツ推進計画の改訂素案
報告1	資料4	スポーツ生活に関するアンケートの結果報告
報告2	資料5	令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果
報告3	資料6	全国高等学校総合体育大会及びヨット競技大会について
報告4	資料7	学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備について
報告5	資料8	ワールドマスタースゲームズ2027関西の会期決定、概要について
報告6	資料9	第77回栃木国体総合成績について
報告7	資料10	第22回全国障害者スポーツ大会について

令和5年度におけるスポーツ団体に対する補助（案）

本県のスポーツの振興及び奨励並びに施設の充実を促進することを目的とする事業について補助を行う。

補助先団体名	補助対象事業	金額 (単位:千円)
公益社団法人和歌山県体育協会	国民体育大会・近畿ブロック大会派遣	94,999
	和歌山県スポーツ少年団総合競技大会	530
	スポーツ振興推進	16,613
	トップアスリート育成	128,546
	コーチスキルアップ	7,999
	ジュニア活性化推進	1,128
	日・韓・中ジュニア交流競技会開催	28,565
	国民体育大会近畿ブロック大会開催準備	2,492
	ライフル射撃場標的公認更新	330
	計	278,380
各市町村体育協会等	和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝選手派遣	993
和歌山県高等学校体育連盟	高等学校体育・スポーツ振興	2,275
	全国高等学校総合体育大会関係会議等派遣費補助	300
和歌山県中学校体育連盟	第72回近畿中学校総合体育大会運営費補助	5,000
	中学校体育・スポーツ振興	710
和歌山県盲学校・ろう学校体育振興会 和歌山県支援学校体育連盟	特別支援学校体育・スポーツ振興	259
近畿地区聾学校体育連盟	特別支援学校体育・スポーツ振興	95
各ハイスクール強化校運営委員会	ハイスクール強化校指定	25,500
各ジュニアハイスクール指定校 運営委員会	ジュニアハイスクール指定	9,290
全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会 和歌山県実行委員会	全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会	21,270
和歌山県障害者スポーツ協会	障害者スポーツ振興 (各部会活動及び大会開催)	400

【参考：関係法規】

◇スポーツ基本法（平成23年度法律第78号）

（地方公共団体の補助）

第34条 地方公共団体は、スポーツ団体に対し、その行うスポーツの振興のための事業に関し必要な経費について、その一部を補助することができる。

（審議会等への諮問等）

第35条 国又は地方公共団体が第33条第3項又は前条の規定により社会教育関係団体（社会教育法（昭和24年法律第207号）第10条に規定する社会教育関係団体をいう。）であるスポーツ団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあっては文部科学大臣が第9条第2項の政令で定める審議会等の、地方公共団体にあっては教育委員会（特定地方公共団体におけるスポーツに関する事務（学校における体育に関する事務を除く。）に係る補助金の交付については、その長）がスポーツ推進審議会等その他の合議制の機関の意見を聴かなければならない。この意見を聴いた場合においては、同法第13条の規定による意見を聴くことを要しない。

◇社会教育法（昭和24年法律第207号）

（社会教育関係団体の定義）

第10条 この法律で「社会教育関係団体」とは、法人であると否とを問わず、公の支配に属しない団体で社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とするものをいう。

（審議会等への諮問）

第13条 国又は地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあっては文部科学大臣が審議会等（国家行政組織法（昭和23年法律第120号）第8条に規定する機関をいう。第51条第3項において同じ。）で政令で定めるものの、地方公共団体にあっては教育委員会が社会教育委員の会議（社会教育委員が置かれていない場合には、条例で定めるところにより社会教育に係る補助金の交付に関する事項を調査審議する審議会その他の合議制の機関）の意見を聴いて行わなければならない。

令和5年度スポーツ関連当初予算(案)一覧表

(単位:千円)

事業名		令和4年度	令和5年度	増減	事業内容
1	ゴールデンキッズ 発掘プロジェクト	16,933	15,966	▲ 967	小学校3・4年生からトップアスリートを目指す優れた素質を有する人材を発掘し、「ゴールデンキッズ」として認定し、計画的・継続的に育成プログラムを実施する。
2	国民体育大会・近畿ブロック大会派遣	73,813	94,999	21,186	県体育協会が行う国民体育大会及び同近畿ブロック大会への本県選手派遣に対し補助する。
3	和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会開催	24,065	19,883	▲ 4,182	市町村対抗ジュニア駅伝競走大会を開催し、児童生徒の体力向上に資するとともに、地域におけるスポーツ気運の醸成を図る。
4	広域スポーツセンター育成	1,123	1,087	▲ 36	「総合型地域スポーツクラブ」の創設・育成に関し、適切な指導、助言、その他必要な支援を行う。
5	スポーツ管理運営	43,162	70,352	27,190	本県のスポーツの振興を図るため、スポーツに関する各事業に補助を行うとともに、各種事業を開催する。
6	三四六総合運動公園管理運営	49,075	65,099	16,024	三四六総合運動公園のうち、旧南紀スポーツセンター部分に係る施設の維持管理に対する支援を行う。
7	マスターズスポーツ推進	0	0	0	スポーツを核とした「元気な和歌山」を実現するため、「ワールドマスターズゲームズ2027関西」の開催準備を進めるとともに、各スポーツ大会等と連携した「関西マスターズゲームズ2023」を開催する。 ※県実行委員会予算にて事業実施
8	スポーツキャンプ誘致の推進	0	8,794	8,794	県内で行う国内外ナショナルチームのキャンプをサポートするとともに、トップレベルスポーツ選手との交流を通じて、県民のスポーツに対する意識や関心の向上、促進を図る。
9	トップアスリート育成	143,332	136,251	▲ 7,081	ジュニア選手発掘に始まるジュニア・少年・成年の一貫指導体制による計画的・戦略的強化により、国民体育大会の入賞やオリンピック等の日本代表選手の輩出などトップアスリートを育成する。
10	コーチスキルアップ	13,717	11,147	▲ 2,570	各競技の中心的指導者にコーチングスキルを向上させるシステムを構築する。併せて、現在優秀な競技者を優れた指導者として養成し、活用するシステムも構築する。
11	スポーツ医・科学サポート	24,192	23,105	▲ 1,087	紀の国わかやま国体に向けて構築したスポーツ医・科学サポートの内容や連携関係を継承するため、トレーナー・ドクター派遣、マルチサポート、医・科学サポートを引き続き行う。
12	ジュニア活性化推進	1,128	1,128	0	国体会場地となった市町村で、当該競技の他県中学校強豪チーム(選手)を招へいし、合同練習会を開催する。
13	さあ スポーツだ！プロジェクト	10,252	10,252	0	生涯にわたってスポーツに親しむ気運を醸成するため、わかやまりレーマラソンの開催や、マスターズスポーツ体験会を実施する。
14	県立体育館・武道館維持運営管理	117,861	66,030	▲ 51,831	県立体育館、県立武道館の運営管理及び設備改修工事を行う。
15	和歌山ビッグ愛・ビッグホール・ビッグウエーブ維持運営管理	442,629	570,179	127,550	和歌山ビッグ愛、和歌山ビッグホール及び和歌山ビッグウエーブの運営管理及び設備改修工事を行う。
16	学校体育等指導	17,433	6,413	▲ 11,020	児童生徒の体力向上を図るため体力調査を行い、結果の分析に基づく施策を実践する。 ※組織改編により和歌山・海プロジェクト等追加

令和5年度スポーツ関連当初予算(案)一覧表

(単位:千円)

事業名		令和4年度	令和5年度	増減	事業内容
17	部活動推進	35,475	58,457	22,982	部活動指導員の配置や各種学校体育大会の運営及び選手派遣に対する助成を行う。
18	全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会開催	21,270	21,270	0	高校生を中心に積極的な支援活動を行い、心に残る大会とするとともに、和歌山の魅力を引き続き全国に発信する。(令和6年度まで固定開催)
19	ハイスchool強化校指定	25,500	25,500	0	本県高校生の競技力向上を図り、県全体のスポーツ強化に繋げる。
20	ジュニアハイスchool指定	9,290	9,290	0	本県中学生の競技力向上を図り、県全体のスポーツ強化に繋げる。
21	障害者スポーツ振興	32,368	30,714	▲ 1,654	障害者スポーツの振興、障害者の自立及び社会参加を促進するため、全国障害者スポーツ大会への選手団派遣や、各種スポーツ大会等の開催を行う。
22	相談センター体育施設整備・運営	294,663	473,520	178,857	障害児者優先施設である県子ども・女性・障害者相談センターのプールの老朽化による建て替え工事を実施し、改設したプールを適切に運営する。
合計		1,397,281	1,719,436		

令和5年度 和歌山県生涯スポーツ振興基本方針（案）

1 目的

いつでも、どこでも、いつまでも、誰もが気軽に生涯にわたってスポーツに親しめるよう各種スポーツ大会の開催、総合型地域スポーツクラブの育成、指導体制の確立等を充実する。

また、生涯スポーツ振興の観点から市町村を支援し、地域のスポーツ活動のより一層の推進を図る。

2 関係事業等

（1）スポーツに親しむ機会の充実

県民の誰もが、それぞれの体力、年齢、技能、興味及び目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるよう、各種スポーツ大会や各地域で行われるスポーツイベント、各職場等におけるスポーツ大会などを後援するとともに、その充実を図る。

（2）スポーツ少年団事業の推進

「一人でも多くの青少年にスポーツの歓びを提供する」「スポーツを通して青少年のこころとからだを育てる」「スポーツで人々をつなぎ地域づくりに貢献する」というスポーツ少年団の理念に基づき、各種大会や交流事業を推進し、スポーツ少年団組織の充実と青少年の健全育成を図る。

① スポーツ少年団総合競技大会

各地方の代表が集い、交流大会を通じて団員同士の交流を図ることで、青少年の自主性や社会性を育てる。

② 指導者及びリーダーの育成

単位団の育成・指導にあたる指導者及びリーダーの育成を図る。

③ 組織整備強化事業

各地方のスポーツ少年団活動を積極的に促進するために、県スポーツ少年団指導者協議会の充実を図る。

（3）総合型地域スポーツクラブ育成事業の推進

生涯スポーツ社会の実現を図るため、子供から高齢者まで誰もが気軽に参加でき、定期的・継続的に活動できる場として、総合型地域スポーツクラブの育成を推進する。

（4）広域スポーツセンター事業の活用

総合型地域スポーツクラブの創設や運営、活動全般について効果的・効率的に支援を行う。

- ・ 「総合型クラブ」の創設・育成と登録認証制度に関する支援
- ・ クラブマネジャー・指導者育成に関する支援
- ・ スポーツ情報の提供
- ・ 「総合型クラブ」のスポーツ交流大会等の開催

（5）指導体制の確立

ライフステージに応じた各種スポーツの機会に携わる指導者の養成と資質向上を図るため、講習会や研修会等を実施し、県民の多様なスポーツニーズに対応する。

講習会・研修会

コーチングアシスタントやスタートコーチ（教員免許状所持者・スポーツ少年団）等の公認スポーツ指導者資格（公益財団法人日本スポーツ協会）取得を促すとともに、指導者の資質・指導力のため、講習会や研修会を開催する。

(6) スポーツへの参加促進

① スポーツクラブ等の育成

地域における日常的なスポーツ活動を促進するため、スポーツ少年団をはじめ地域のスポーツクラブを育成する。

② 第23回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会

第23回大会を開催し、児童生徒の体力向上に資するとともに、地域におけるスポーツ機運の醸成を図る。(令和6年2月中旬開催予定)

③ さあスポーツだ！プロジェクト

生涯にわたってスポーツに親しむ気運を醸成するため、「スポーツをやってみよう！」と呼びかけを実施するとともに、リレーマラソンや各種マスターズスポーツ体験会の開催等、スポーツにふれ合う機会を創出する。

④ ワールドマスターズゲームズ2027関西の開催準備

本県開催競技 5競技7種目の開催準備を進める。

陸上競技(ハーフマラソン、駅伝)、ダンススポーツ、セーリング(セーリング、ウインドサーフィン)、射撃(ライフル)、バレーボール(インドア)

⑤ 関西スポーツ振興推進協議会・関西広域連合実施事業への参画

関西経済連合会が実施している関西スポーツ振興ビジョン、関西広域連合会が実施している関西広域スポーツ振興ビジョンの取組に参画する。

⑥ スポーツキャンプ誘致の推進

国内外ナショナルチームのキャンプをサポートするとともに、トップレベルスポーツ選手との交流を通じて、県民のスポーツに対する意識や関心の向上、促進を図る。

令和5年度誘致予定：世界水泳福岡大会出場国、バスケットボールワールドカップ大会出場国、ハンドボール女子日本代表

令和5年度

和歌山県の生涯スポーツ振興事業の予算(案)概要

体育協会事業

広域スポーツセンター育成

1,087千円

総合型地域スポーツクラブの育成支援

- 創設クラブ 県内25市町に62クラブ
- 事業内容
 - ・総合型クラブ和歌山県協議会の運営支援
 - ・クラブマネジャー等の運営者育成
 - ・各ブロック別事業の開催
 - ・登録認証制度に係る会議の開催
 - ・障害者スポーツの普及(障害福祉課との連携)
 - ・登録認証制度の円滑な運営

地域スポーツ指導者等研修会

- スポーツ少年団、総合型クラブ、スポーツ推進委員等を対象としたスポーツ振興に係る研修会

体育協会事業

スポーツ少年団活動への支援

530千円

第54回和歌山県スポーツ少年団総合競技大会

- 開催地 那賀地方
- 実施競技
 - 軟式野球
 - サッカー
 - バレーボール
 - 剣道
 - 柔道
 - 少林寺拳法

県教育委員会事業

青少年の健全育成、スポーツに親しむ気運の醸成

「第23回和歌山県市町村対抗

ジュニア駅伝競走大会」19,883千円

- 開催日 令和6年2月11日(日)<予定>
- 区間・距離 10区間、21.1km
- チーム編成 小学生男女各2名、中学生男女各3名
- 出場チーム 市町村代表 45チーム程度

「さあ スポーツだ！プロジェクト」

10,252千円

- リレーマラソンの開催 令和5年11月
- マスターズスポーツ体験会の実施

「ワールドマスターズゲームズ2027関西の開催準備」

13府県市による大会開催に向けた準備

- 県内開催競技 5競技7種目
 - 陸上競技(ハーフマラソン、駅伝)、ダンススポーツ
 - セーリング(セーリング、ウインドサーフィン)
 - 射撃(ライフル)、バレーボール(インドア)

「スポーツキャンプ誘致の推進」

8,794千円

- 国内外のナショナルスポーツチーム等のキャンプ誘致を実施することにより、県民のスポーツに対する意識や関心を一層高める。

上記の青色部分は県体育協会の実施事業。ただし、オレンジ色は県教育委員会事業

令和5年度和歌山県競技力向上対策基本方針（案）

1 目 的

本県を代表する競技者が、国際競技大会や全国大会で優秀な成績を収めることは、多くの県民に夢と感動を与え、郷土愛を育み、元気な和歌山を実現するとともに、本県のスポーツ振興に大きく寄与するものである。

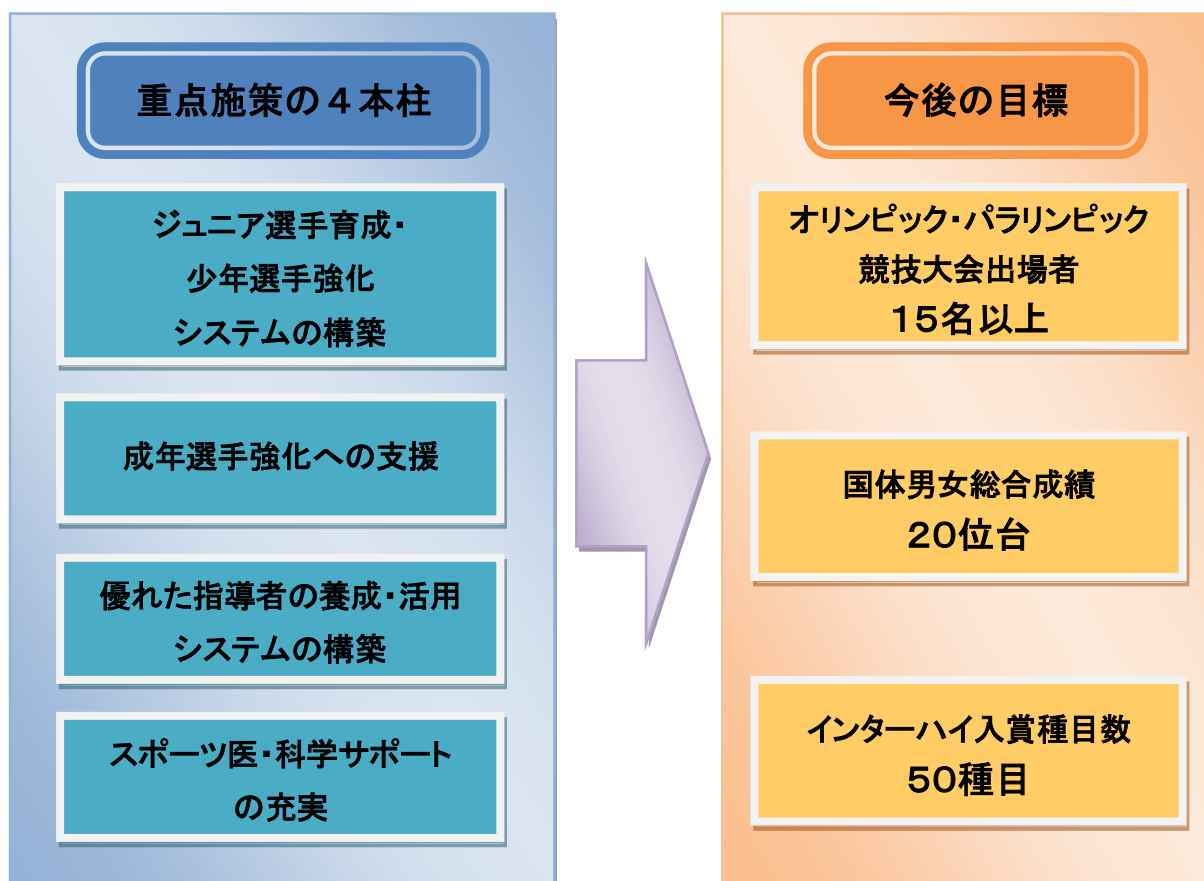
よって、平成27年に開催された「紀の国わかやま国体」における男女総合優勝（天皇杯獲得）で得られた成果やレガシーを大いに活かし、スポーツの好循環を創出し、本県の競技力をさらに維持向上していくことを目的とする。

2 方 策

「紀の国わかやま国体」の開催後、レガシーを活かし、競技力を維持向上に取り組んできたが、3年ぶりに開催された栃木国体において男女総合成績39位と、前回の茨城国体22位から大きく順位を下げた。

本県から国際大会で活躍する日本代表選手をより多く輩出し、国民体育大会においても20位台を目指すためには、以下に掲げる4本柱からなる競技力維持向上施策の継続が必要と考えられる。

については、県教育委員会と県体育協会が連携して、重点施策の4本柱を着実に押し進めていくこととする。



(1) **ジュニア選手育成・少年選手強化システムの構築**

紀の国わかやま国体に向けてターゲットエイジを発掘・育成・強化してきたノウハウを活かし、ジュニア選手育成・少年選手強化システムを構築する。そして、成年種別の活躍へと繋げる。

①ジュニア選手の育成

○ ジュニア・少年・成年強化〔ジュニア〕

国体の少年種別選手や成年種別のふるさと選手として活躍する選手を育成するため、国体実施競技を対象に年間を通じて発掘事業、強化合宿、県外遠征等を実施し、ジュニア選手の育成を図る。

○ ジュニアハイスクール指定事業

競技の普及及び競技力の向上を図るために、県内の中学校運動部を特別に指定し、当該競技の普及の拠点となる活動を展開させるとともに、部活動の活性化に繋げる。

○ ジュニア活性化推進事業

紀の国わかやま国体会場地となった市町村で、当該競技の他県中学校強豪チーム（選手）を招へいし、合同練習会を開催する。

○ ゴールデンキッズ発掘プロジェクト事業

小学校3・4年生からトップアスリートを目指す優れた素質を有する子供を発掘して、「ゴールデンキッズ」として認定し、計画的・継続的に育成プログラムを実施する。

②少年選手の強化

○ ジュニア・少年・成年強化〔少年〕

国体の少年種別において優秀な成績を収めるため、国体実施競技を対象に年間を通じて県外遠征や強化合宿等を実施し、競技力の向上を図る。

○ スペシャルアスリートサポート〔少年〕

トップレベルの競技力を有する本県の国体少年種別選手やオリンピック競技大会を目指す選手を支援し、競技力の向上を図る。

○ ハイスクール強化校指定事業

特色ある学校づくりの一環として、県内の高等学校運動部を特別に指定し、競技力の底上げ及び部活動の活性化を目的とし、県全体の競技力向上に繋げる。

(2) **成年選手強化への支援**

国体に向けた競技団体の強化事業、成年強化の母体となって活動している企業チームやクラブチームの活動維持等について支援する。

①成年選手の強化

○ ジュニア・少年・成年強化〔成年〕

国体の成年種別において優秀な成績を収めるため、国体実施競技を対象に年間を通じて県外遠征や強化合宿等を実施し、競技力の向上を図る。

○ スペシャルアスリートサポート〔成年〕

トップレベルの競技力を有する本県の国体成年種別選手やオリンピック・パラリンピック競技大会を目指す選手を支援し、競技力の向上を図る。

○ きのくにふるさと選手派遣

本県小学校、中学校、高等学校を卒業した『ふるさと選手』の中から、全国で活躍する選手を指定し、本県の代表として国体の近畿ブロック大会等に出場する環境を整える。

②トップレベル・スポーツクラブの育成

○ トップレベル・スポーツクラブ活性化支援

スポーツクラブの運営組織・財政基盤の確立を促進するとともに、トップレベルの競技力を有するスポーツクラブとして、企業・行政・地域住民の支援によるクラブの自立を目指す。

(3) **優れた指導者の養成・活用システムの構築**

各競技の中心的指導者を対象に、コーチングスキルを向上させるシステムを構築する。併せて、現在の優秀な選手を優れた指導者として養成（公認指導者資格取得を含む）し、活用するシステムも構築する。

①指導者の養成

○ トップ強化コーチ招へい

中央競技団体等の優秀な指導者を招へいし、指導方法等を学ぶことにより、高度な技術や戦略等を習得する。

○ コーチレベルアップ、コーチ派遣

各競技における優秀な指導者の養成及び資質向上のため、「チーム和歌山コーチ塾」等を開催する。

また、次世代の強化を担う指導者を、次の研修会等に派遣し、優れた指導者を養成する。

- ・県内や全国各地で開催される研修会
- ・国内優秀指導者の下での短期研修等
- ・国体強化チームの強化合宿、県外遠征、全国大会等

②指導者の活用

○ きのくにエクセレントコーチ

優れた指導力を有する退職した教職員等を県内各学校の運動部活動等に派遣し、競技力向上を図る。

(4) **スポーツ医・科学サポートの充実**

紀の国わかやま国体に向けて構築したスポーツ医・科学サポートの内容や関係機関との連携を継承する。

○ トレーナー・ドクター派遣

国体、近畿ブロック大会、強化練習・遠征にトレーナーやドクターを派遣する。

○ マルチサポート

- ・専門機関によるアンチ・ドーピング活動、スポーツ歯科サポート、女性アスリートサポートの実施。
- ・専門機関や競技団体との連携強化のため、各種会議・講習会を開催する。

○ 医・科学サポート

専門機関において、メディカルチェック等の医・科学チェックを受けるとともに、トレーニングや心理等の医・科学支援を受ける。

令和5年度

和歌山県の競技力向上関連事業の予算概要

合計 222,387千円(234,092千円)

体育協会・教育委員会事業

トッパアスリート育成事業

136,251千円

- 1 ジュニア・少年・成年強化
遠征、強化合宿等の強化事業への補助
- 2 スペシャルアスリートサポート
トップレベルの競技力を有する本県の国体選手やオリンピック・パラリンピック候補選手個人に対するサポート
- 3 トップレベル・スポーツクラブ活性化支援
チームスポーツのトップレベルクラブに対するサポート
- 4 きのかにふるさと選手派遣
トップレベルの競技力を有する本県ふるさと選手に対するサポート
- 5 競技力向上対策会議運営
会議の開催、国民体育大会等の競技力分析
- 6 特殊競技用器具整備事業
特殊競技用器具の整備に係る費用を補助

体育協会・教育委員会事業

コーチスキルアップ事業

11,147千円

- 1 トップ強化コーチ招へい
日本トップレベルの優秀な指導者の招へい
- 2 コーチレベルアップ
トップレベル指導者の養成、資質向上
- 3 コーチ派遣
きのかにエクセレントコーチ
きのかにコーチ派遣

体育協会事業

スポーツ医・科学サポート事業

23,105千円

- 1 トレーナー・ドクター派遣
- 2 マルチサポート
- 3 医・科学サポート

体育協会事業

ジュニア活性化推進事業

1,128千円

市町村が行う県内中学選抜と他県強豪校との合同練習会への補助

県教育委員会事業

ゴールデンキッズ発掘プロジェクト事業

15,966千円

小学生4年～6年生を対象に、発掘・認定・育成プログラムの実施

県教育委員会事業

ハイスクール強化校指定事業

25,500千円

高等学校の運動部を指定し、遠征等を実施するための補助

県教育委員会事業

ジュニアハイスクール指定事業

9,290千円

中学校の運動部を指定し、遠征等を実施するための補助

金額の()内は令和4年度

和歌山県スポーツ推進計画の見直し（改訂） 骨子

1. 見直し（改訂）の方向性

10年計画の中間検証であり、下記（1）～（5）を反映した見直しを実施

- （1） 本スポーツ推進審議会でご審議頂いたご意見に基づく追記・修正
- （2） 5年後の指標設定等について、平成30年度から令和4年度までの5年間の成果や課題、新型コロナウイルス感染症等、社会情勢・影響による設定及び見直し
- （3） 国の第3期スポーツ基本計画と第4期和歌山県教育振興基本計画を参酌した計画の追記・修正
- （4） 計画期間（5ヵ年）内に、本県の実情に即した、実現可能な取り組みとして計画を見直し
- （5） 元号の令和への修正

2. 見直し（改訂）のスケジュール

- ・ 令和4年7月26日(火) 令和4年度第1回スポーツ推進審議会にて「県スポーツ推進計画見直しスケジュール等について」審議
- ・ 令和5年3月8日(木) 令和4年度第2回スポーツ推進審議会にて素案を審議
- ・ 令和5年5月中旬 令和5年度第1回スポーツ推進審議会にて原案を審議
- ・ 令和5年5月下旬 教育委員会定例会に付議

「和歌山県民のスポーツ生活に関するアンケート」の結果報告について

○調査の概要

1 調査目的

本調査の目的は、本県における今後のスポーツ振興方策を検討するため、県民の運動・スポーツ実施やスポーツライフに関する実情を把握することとする。

2 調査対象

母集団 和歌山県内に住所を有する20歳以上の男女

抽出方法 住民基本台帳を用いた居住地、年齢、性別による層化無作為抽出
(等間隔抽出法)

【内訳】「20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上」
の6つの世代別に、各市町村の人口を勘案し、原則として男女同数となるように配布。

抽出数 2,400人

3 調査期間

令和4年11月1日(火)～11月30日(水)

4 調査方法

郵送により配布・回収

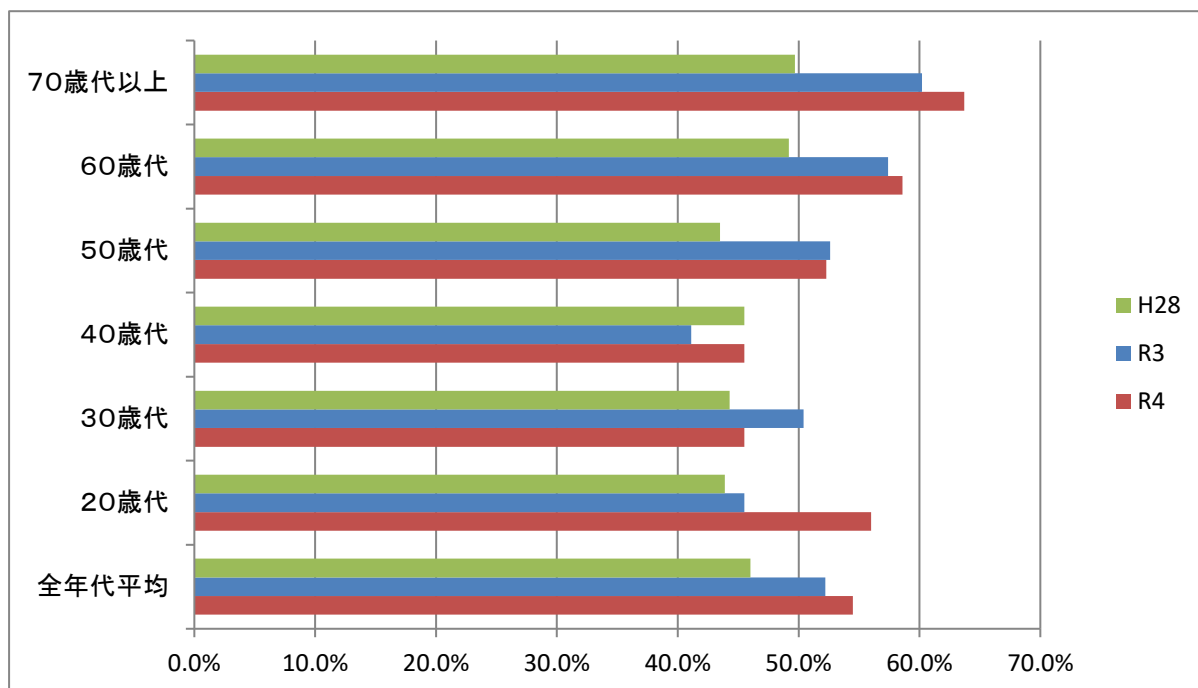
5 回収数

有効回答標本数 944人(回収率:39.3%)

6 調査項目

- 0) サンプルの属性
- 1) 和歌山県民のスポーツ参加への興味・関心
- 2) 和歌山県民の過去1年間の運動・スポーツ実施頻度
- 3) 和歌山県民の運動・スポーツ実施種目
- 4) 過去1年間の実施種目の中で最も重要な種目
- 5) 和歌山県民の運動・スポーツ実施理由
- 6) 運動・スポーツを実施しない人の阻害要因
- 7) 和歌山県民の今後行なってみたい運動・スポーツ種目
- 8) 今後最も行なってみたい運動・スポーツ種目
- 9) 運動・スポーツを行ないたい人の行ないたい理由
- 10) 和歌山県民のスポーツクラブ加入率
- 11) 過去1年間の直接的スポーツ観戦
- 12) 今後、直接観戦してみたいスポーツ
- 13) 過去1年間の間接的スポーツ観戦
- 14) 過去1年間にスポーツに関する情報を得た媒体
- 15) 今後、スポーツに関する情報を得たい媒体
- 16) 過去1年間のスポーツボランティア実施状況
- 17) スポーツボランティア実施意欲
- 18) ワールドマスターズゲームズ(WMG)について
- 19) 自治体に力を入れてほしいこと
- 20) 「和歌山県らしい」運動・スポーツ種目

【和歌山県民の運動・スポーツ実施状況】



週1日以上の運動・スポーツ実施率

	R4	R3	H28
全年代平均	54.5%	52.2%	46.0%
20歳代	56.0%	45.5%	43.9%
30歳代	45.5%	50.4%	44.3%
40歳代	45.5%	41.1%	45.5%
50歳代	52.3%	52.6%	43.5%
60歳代	58.6%	57.4%	49.2%
70歳代以上	63.7%	60.2%	49.7%

週3日以上実施率

	R4 (※)	R3
国	30.4%	30.4%
和歌山	23.3%	28.9%

※国：令和3年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」より

和歌山県民の過去1年間の運動・スポーツ実施頻度は、週3日以上実施者が23.3%、週1日以上3日未満実施者が31.2%という結果となり、これらを合わせた54.5%の人たちが週1日以上定期的に運動・スポーツを実施していることがわかった。和歌山県スポーツ推進計画が掲げる令和4年度の週1日以上実施者の目標値65%には至らない結果となったが、昨年度の調査結果（52.2%）と比較すると、2.3%増加した。

次に、年代別の調査結果をみると、昨年度の調査結果と比較して、週1日以上実施者の割合は、30歳代と50歳代で減少となっているが、他の年代では増加がみられる。年代別調査結果の特徴としては、働き世代と言われる30歳代と40歳代が他の年代に比べて少ない結果となり、その年代を境に年代が上がるにつれて定期的に運動を実施している者が増加する傾向にある。

**和歌山県民の
スポーツ生活に関するアンケート
【調査報告書】**

2022年11月

【調査の概要】

①調査の目的

本調査の目的は和歌山県における今後のスポーツ振興方策を検討するため、県民の運動・スポーツ実施やスポーツライフに関する実情を把握することとする。

②調査対象

○母集団

和歌山県内に住所を有する20歳以上の男女

○調査対象の抽出方法

住民基本台帳を用いた居住地、年齢、性別による層化無作為抽出（等間隔抽出）

○調査対象の抽出数

2, 4 0 0 人

③調査期間

2022年11月1日～11月30日

④調査方法

郵送法により配布・回収

⑤回収数

有効回答標本数：944（回収率39.3%）

⑥調査項目および目次

0) サンプルの属性

- 1) 和歌山県民のスポーツ参加への興味・関心
- 2) 和歌山県民の過去1年間の運動・スポーツ実施頻度
- 3) 和歌山県民の運動・スポーツ実施種目
- 4) 過去1年間の実施種目の中で最も重要な種目
- 5) 和歌山県民の運動・スポーツ実施理由
- 6) 運動・スポーツを実施しない人の阻害要因
- 7) 和歌山県民の今後行なってみたい運動・スポーツ種目
- 8) 今後最も行なってみたい運動・スポーツ種目
- 9) 運動・スポーツを行ないたい人の行ないたい理由
- 10) 和歌山県民のスポーツクラブ加入率
- 11) 過去1年間の直接的スポーツ観戦
- 12) 今後、直接観戦してみたいスポーツ
- 13) 過去1年間の間接的スポーツ観戦
- 14) 過去1年間にスポーツに関する情報を得た媒体
- 15) 今後、スポーツに関する情報を得たい媒体
- 16) 過去1年間のスポーツボランティア実施状況
- 17) スポーツボランティア実施意欲
- 18) ワールドマスタースゲームズ(WMG)について
- 19) 自治体に力を入れてほしいこと
- 20) 「和歌山県らしい」運動・スポーツ種目

資料：調査票

0. サンプルの属性

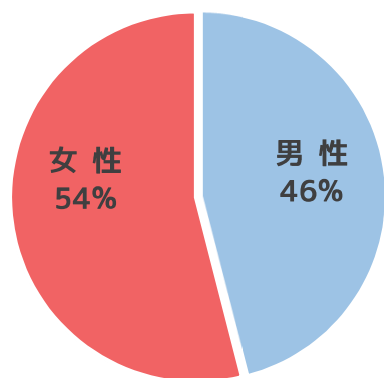


図1. サンプルの性別 (n=930)

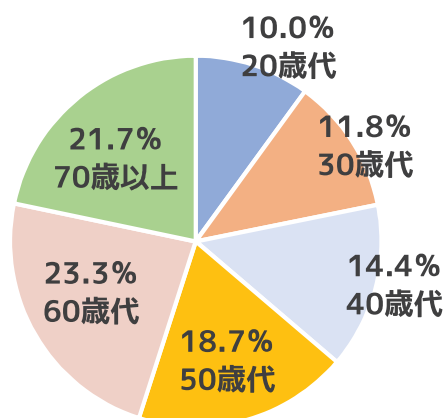


図2. サンプルの年代内訳 (n=930)

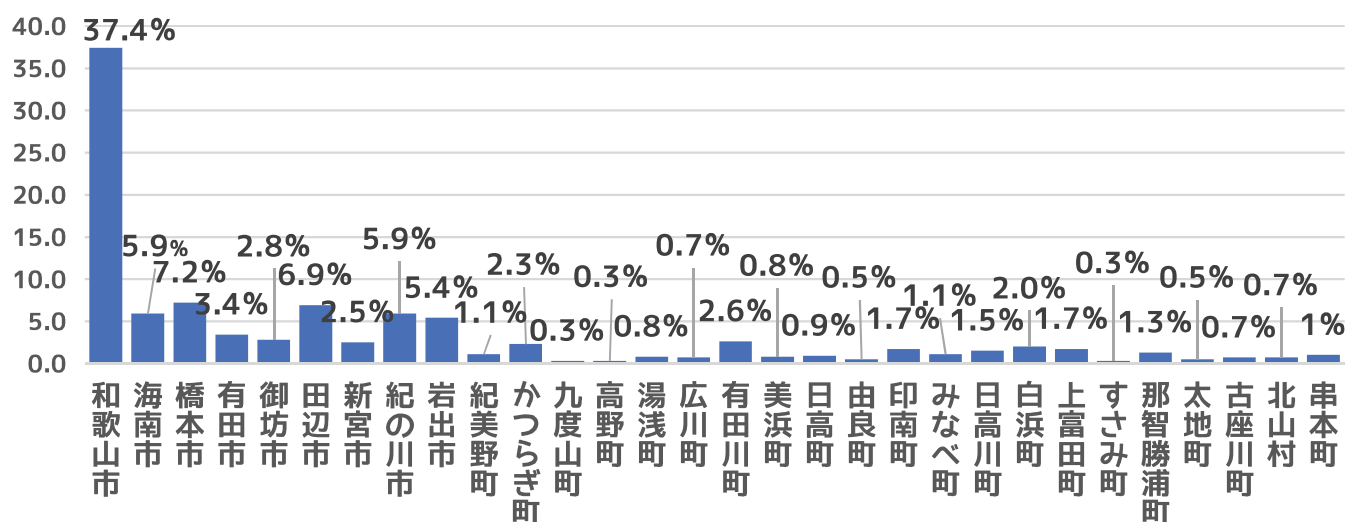


図3. サンプルの居住地 (n=922)

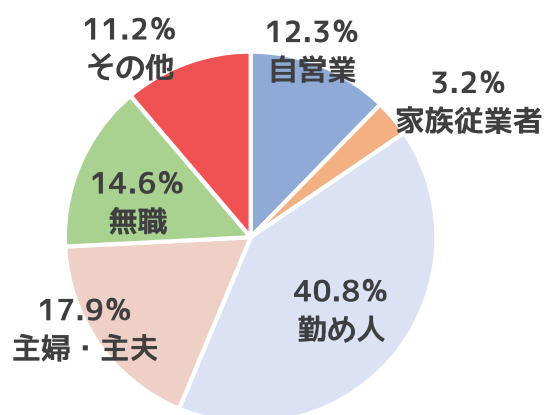


図4. サンプルの職業 (n=944)

本調査におけるサンプルの属性は、図1のとおり、女性の方が若干多く、年代（図2）については20歳代が10.0%、30歳代が11.8%と、若年層の回答・回収が少ない結果となった。居住地（図3）の結果も含め、これらの結果は、前々回（2016年）、前回（2021年）とほぼ同じ結果となっている。職業の内訳については図4の通りとなった。

1. 和歌山県民のスポーツ参加への興味・関心

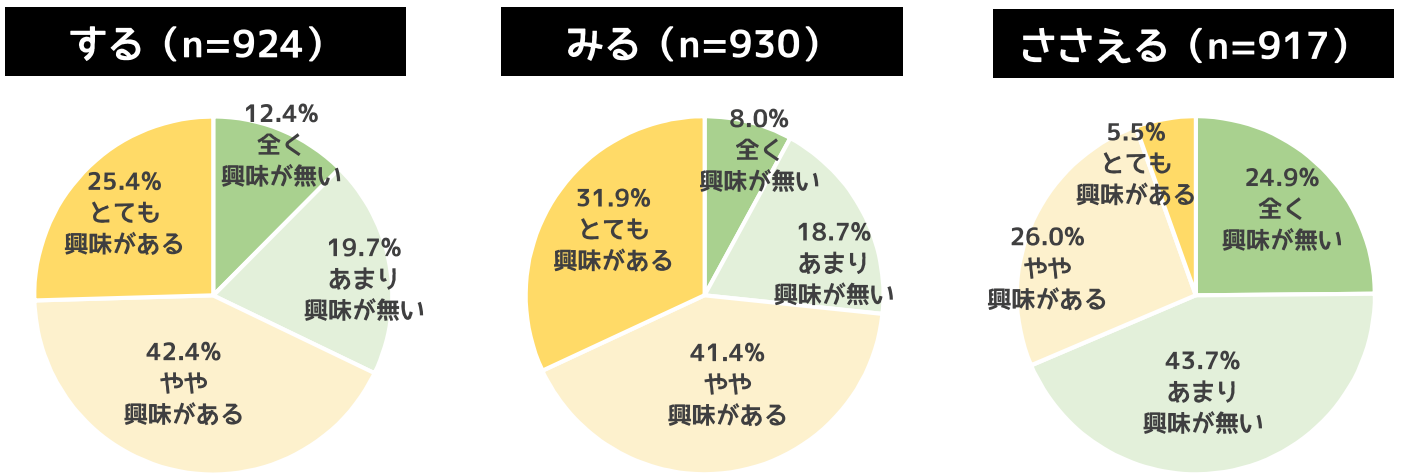


図5. 「する」「みる」「ささえる」スポーツ参加への興味・関心

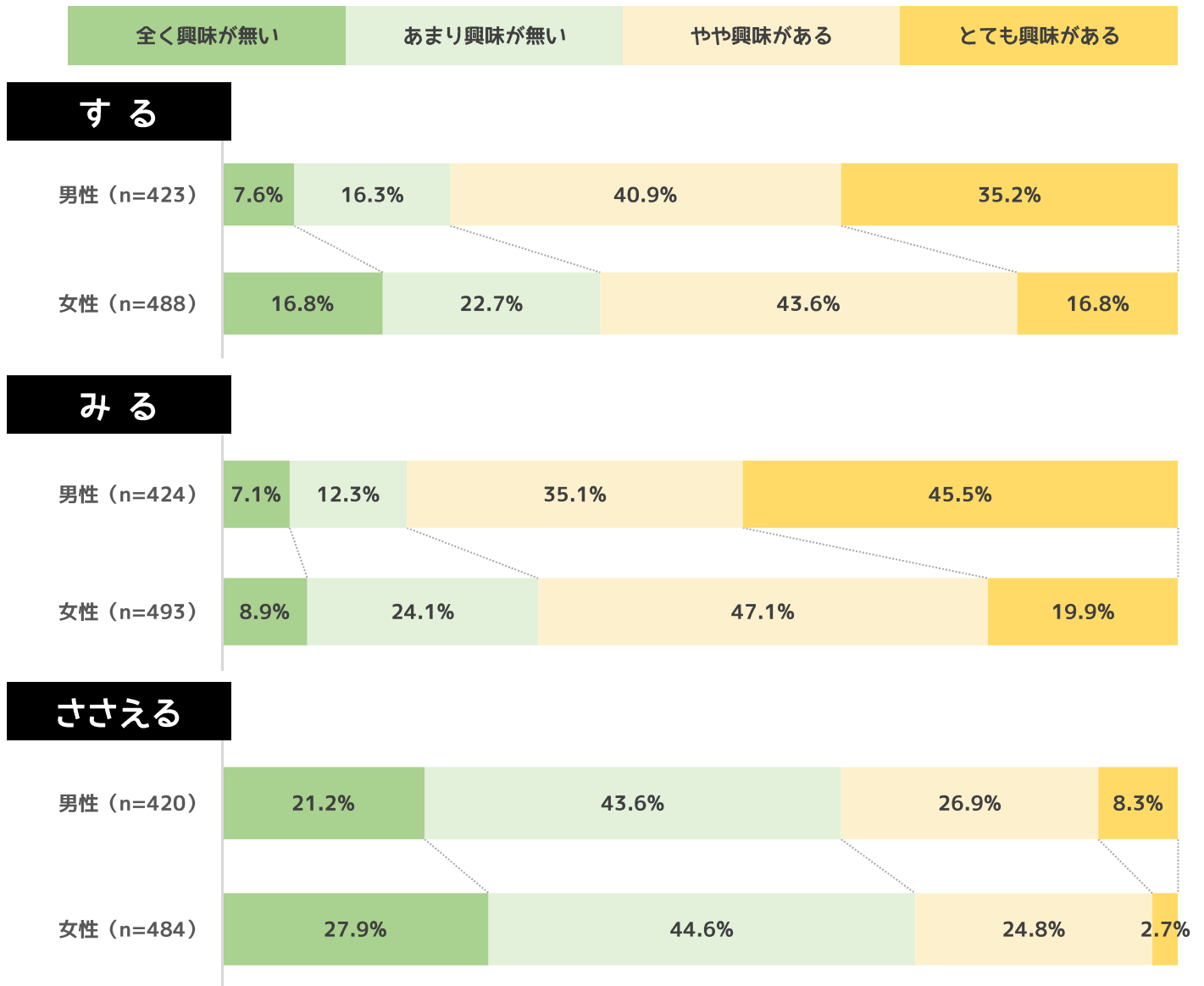


図6. 男女別「する」「みる」「ささえる」スポーツ参加への興味・関心

する

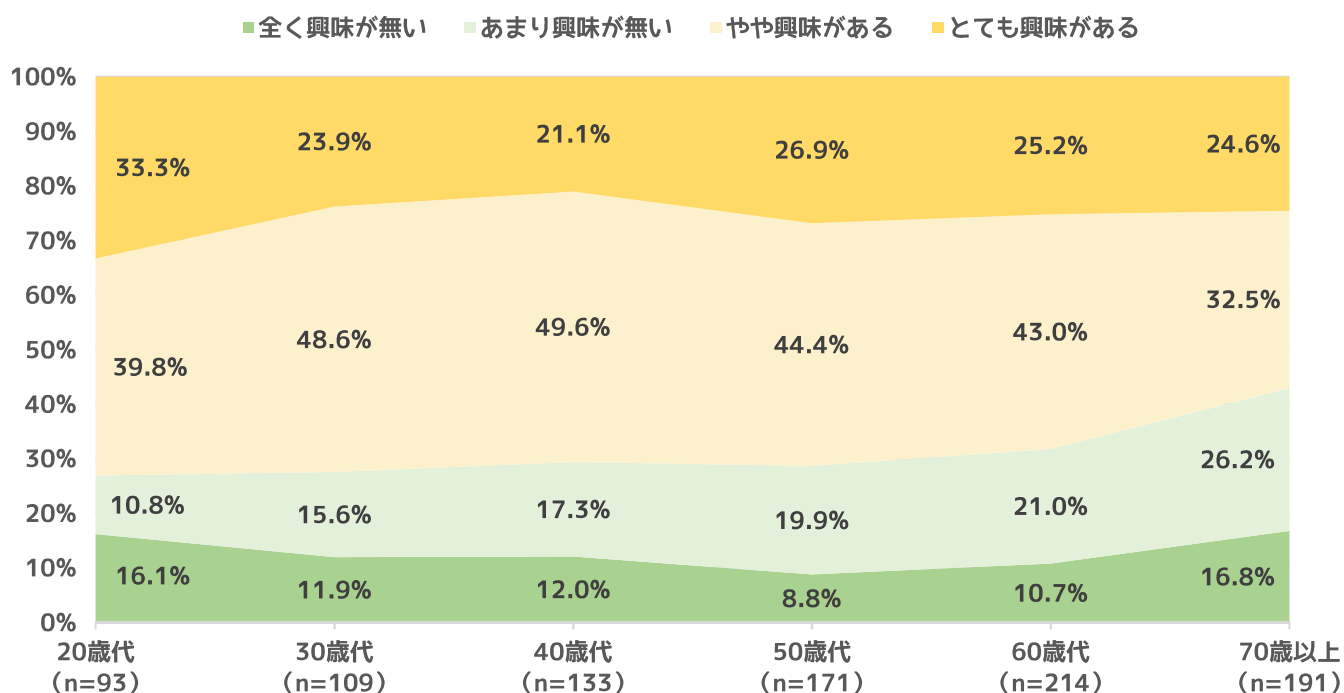


図7. 年代別「する」スポーツ参加への興味・関心

みる

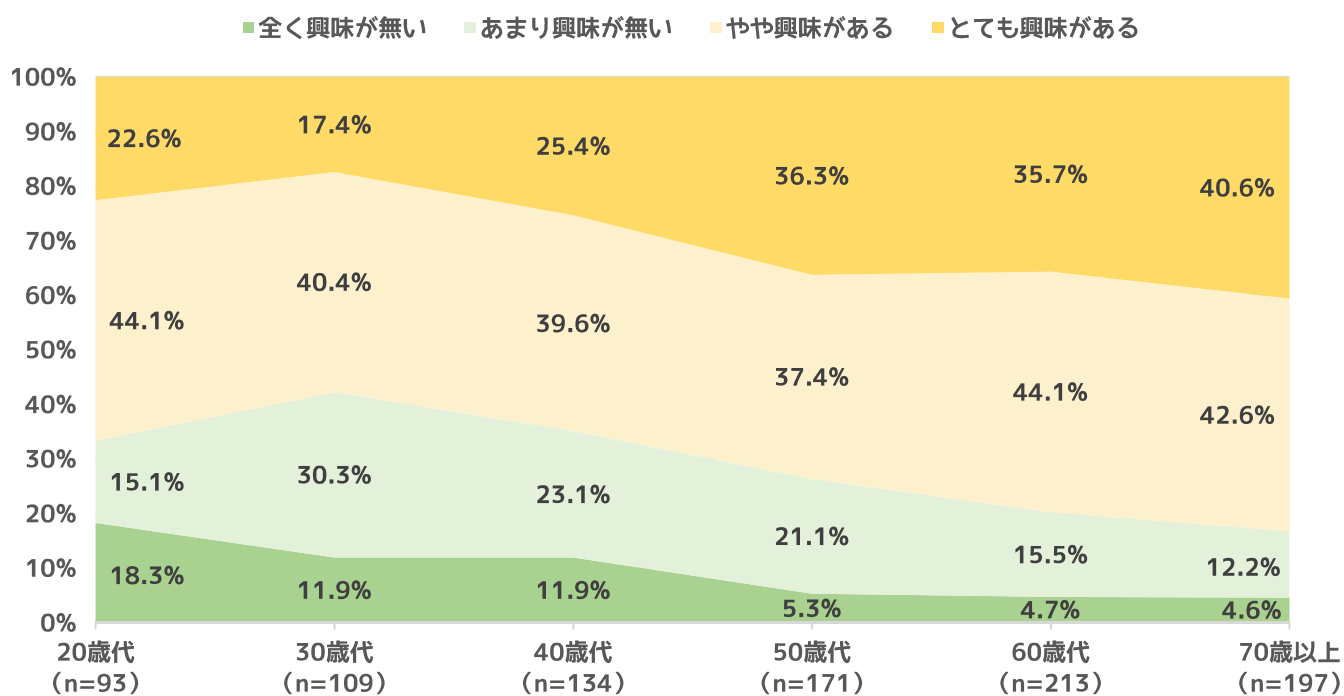


図8. 年代別「みる」スポーツ参加への興味・関心

ささえる

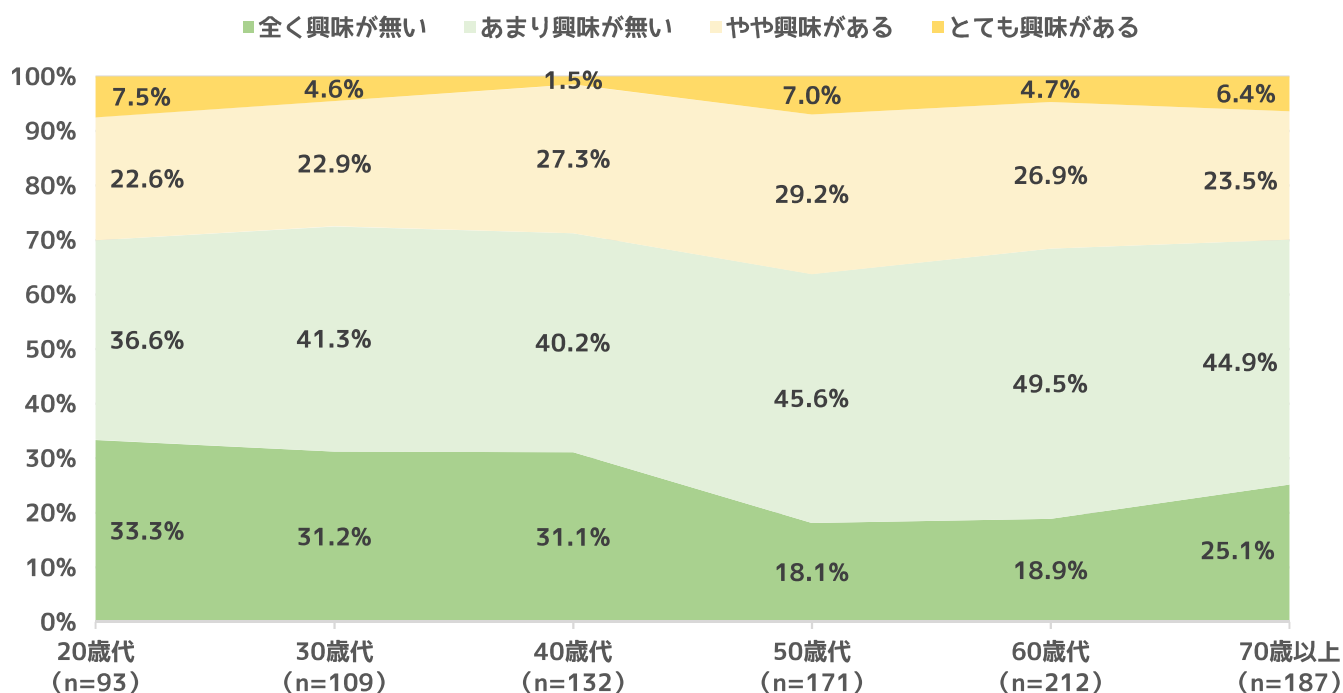


図9. 年代別「ささえる」スポーツ参加への興味・関心

和歌山県民が最も「興味がある」（とても興味がある+やや興味がある）とするスポーツ参加は「みる」スポーツであり、4人中3人がそのように回答していることが分かる。一方で「ささえる」スポーツについては、「興味が無い」（あまり興味が無い+全く興味が無い）と回答している人が7割近くにのぼり、これらは2021年調査とほぼ同様の結果となっており、「ささえる」スポーツへの興味・関心の喚起・啓発の必要性を示している。男女別に「する」「みる」「ささえる」スポーツ参加への興味・関心をみたものでは、全てにおいて統計的差異が観察され、男性よりも女性の方がより興味・関心が薄いことが明らかになった。また年代別では、年代が上がるにつれ「興味がある」が増加していく「みる」スポーツ参加への興味・関心とは対照的に、「する」ことへの興味・関心はおおよそ年代が上がるにつれ「興味が無い」が増していくことが分かった（統計的有意差あり）。他方、「ささえる」スポーツ参加への興味・関心については、年代に関わらず「興味が無い」と回答している割合が高く、特に成人若年層（40歳代以下）の「全く興味が無い」の割合の高さは、本県の課題の1つと言える。

2. 和歌山県民の過去1年間の運動・スポーツ実施頻度

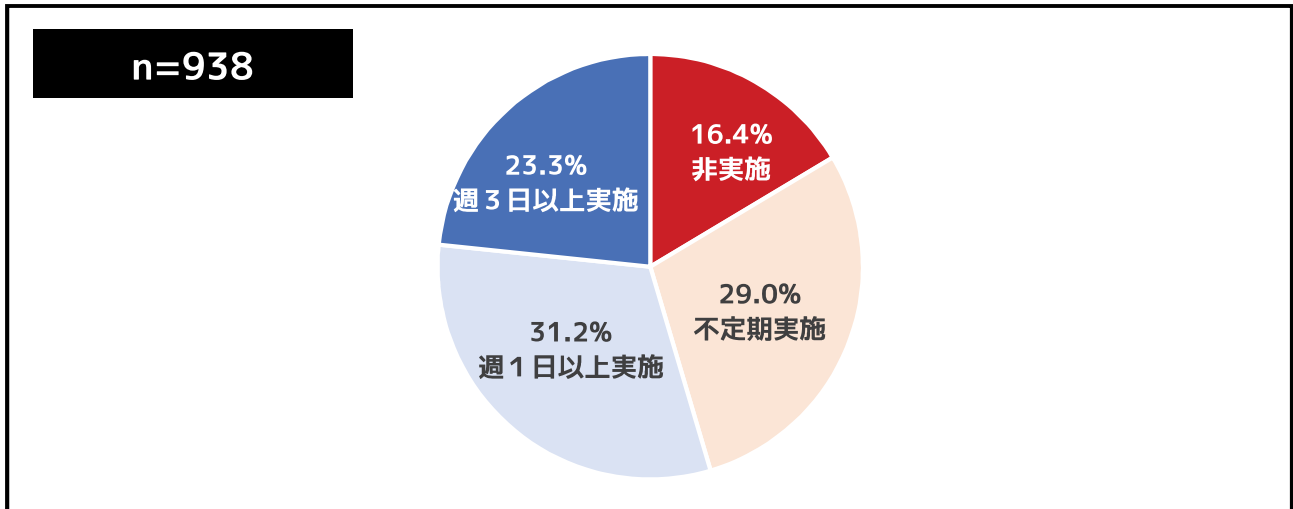


図10. 和歌山県民の過去1年間の運動・スポーツ実施頻度

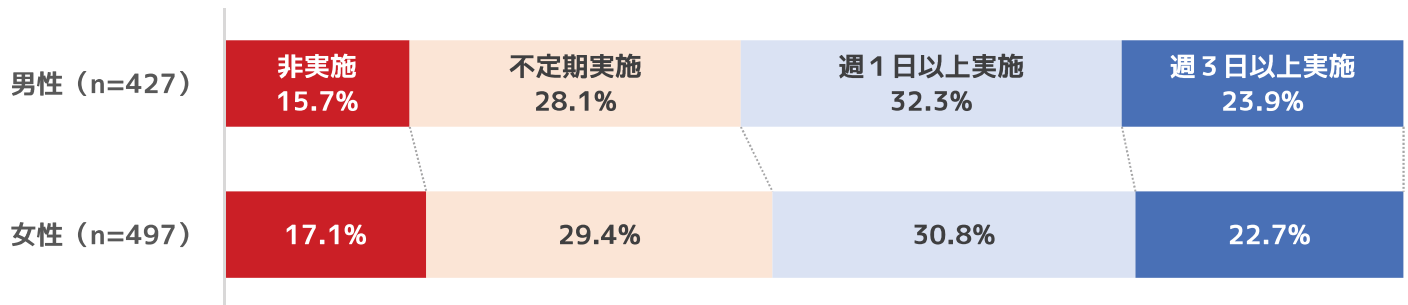


図11. 男女別・過去1年間の運動・スポーツ実施頻度

和歌山県民の過去1年間の運動・スポーツ実施頻度は（上図）、週3日以上実施者が23.3%（2021年28.9%）、週1日以上3日未満が31.2%（2021年23.3%）という結果となり、これらを合わせた54.5%の人たちが週1日以上定期的に運動・スポーツを実施していることが分かった。2021年調査と同様、和歌山県スポーツ推進計画（2022年目標）ならびに第2期スポーツ基本計画が掲げる週1日以上実施者65%、同基本計画・週3日以上実施者30%という目標には至らない結果となったが、全体的に実施者は僅かではあるがこの1年間で増加、非実施者が16.4%と昨年より減少していることは好い結果・兆候として捉えられる。男女別にみても、男女間に差異はみられず、どちらも同様の結果となった。

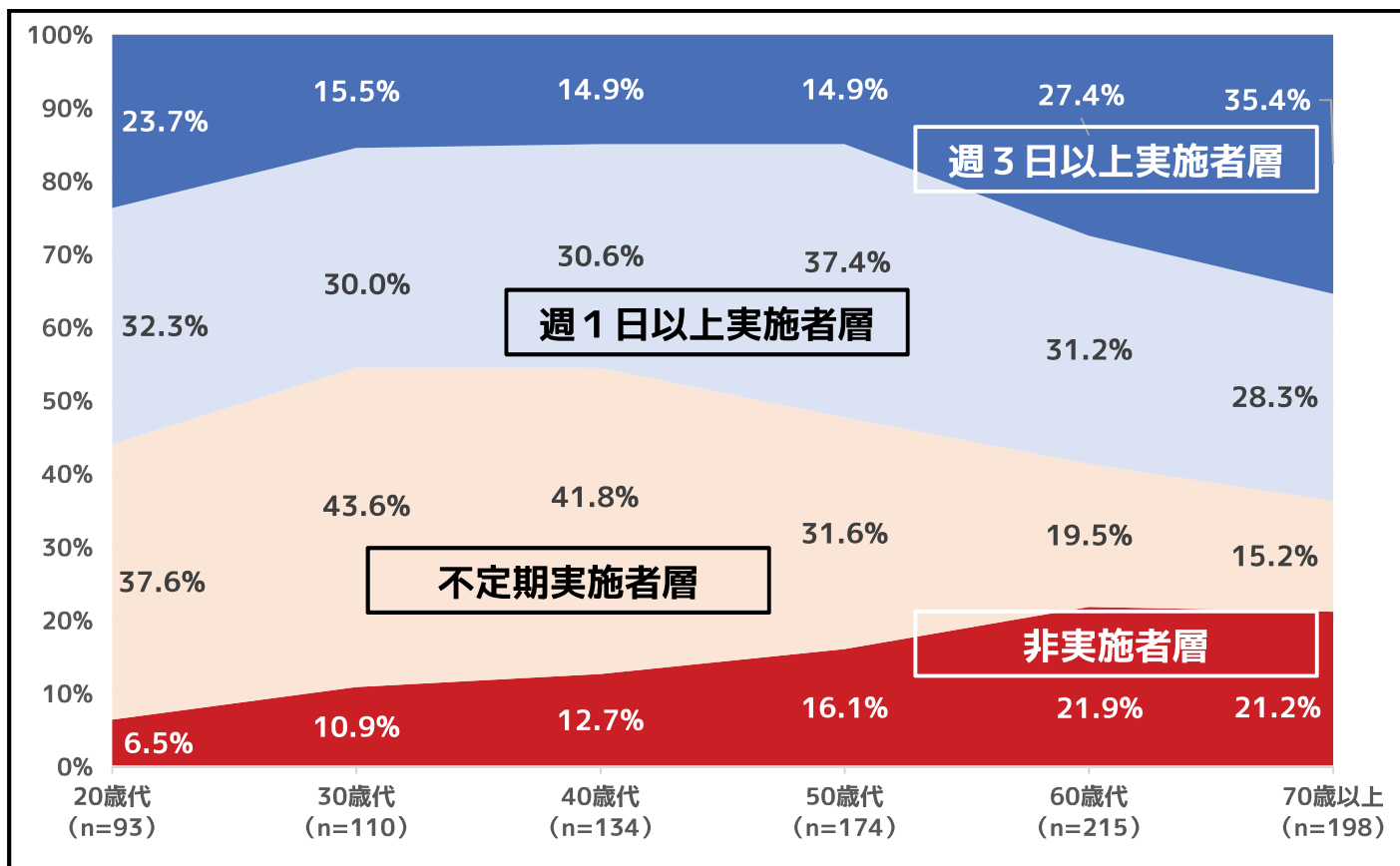


図12. 年代別・過去1年間の運動・スポーツ実施頻度

次に、和歌山県民の過去1年間の運動・スポーツ実施頻度を年代別にみると、定期的実施者（週1日以上実施者と週3日以上実施者）の割合は、30歳代と40歳代が他の年代に比べて少ない結果となった。2021年調査と比べると、前頁でも述べたように全体的に実施率が上がっているが、特に20歳代の定期的実施者が増加し、非実施者が減少したことが分かる。非実施者層においても2021年調査より全体的におおよそ減少しているが、年代が上がるにつれて実施-非実施が二極化する傾向は根強く残っている。そのあたりが、年代間に統計的差異が観察された所以と考えられる。グラフからも分かるように、不定期実施者を定期的実施に変えていく中で、いわゆる働き世代と言われる30歳代・40歳代の定期的実施者を増加させることは、本県の運動・スポーツプロモーションを考える上で避けて通ることのできない事象となっている。

3. 和歌山県民の運動・スポーツ実施種目

全 体

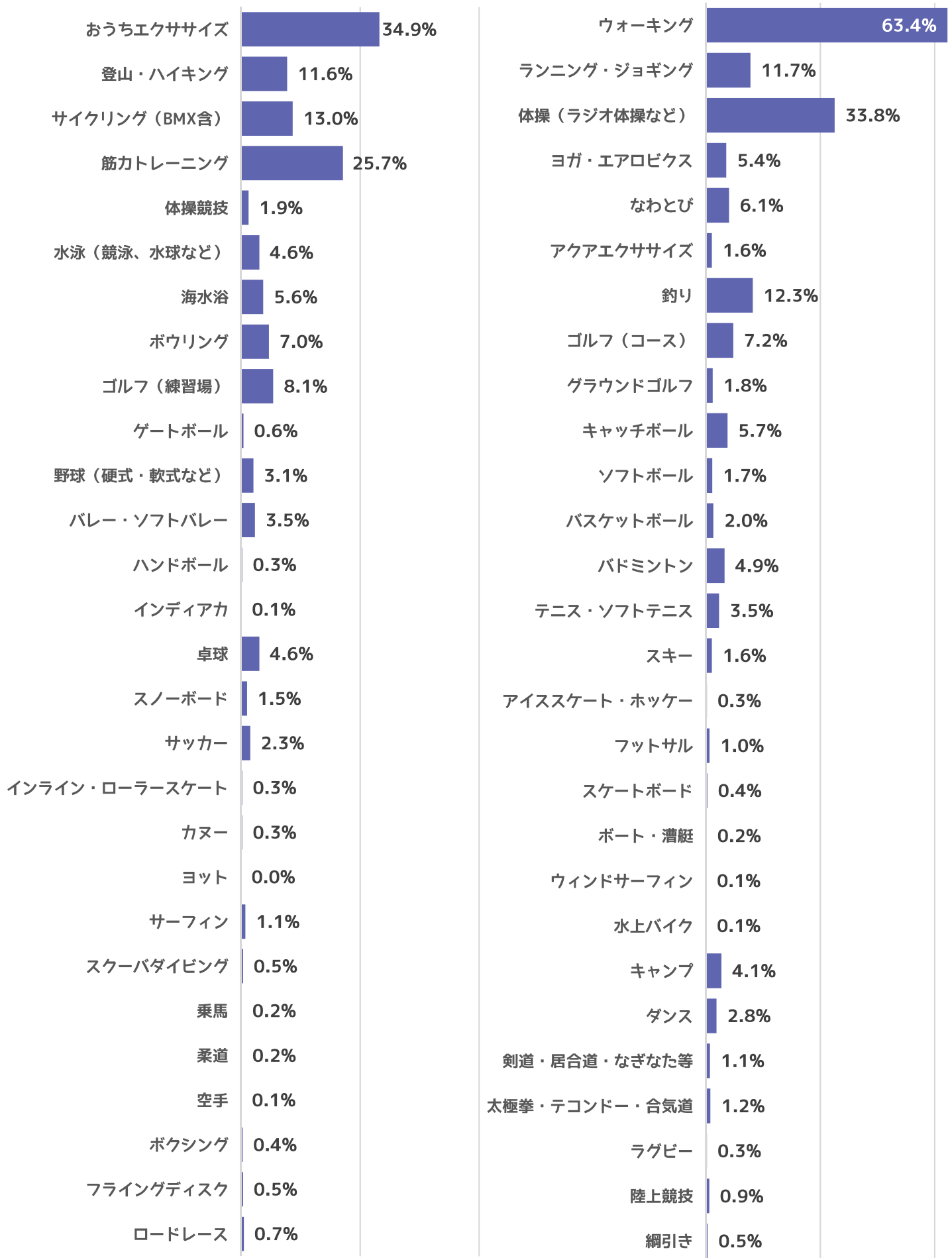


図13. 過去1年間に実施した運動・スポーツ種目 (n=941)

男性

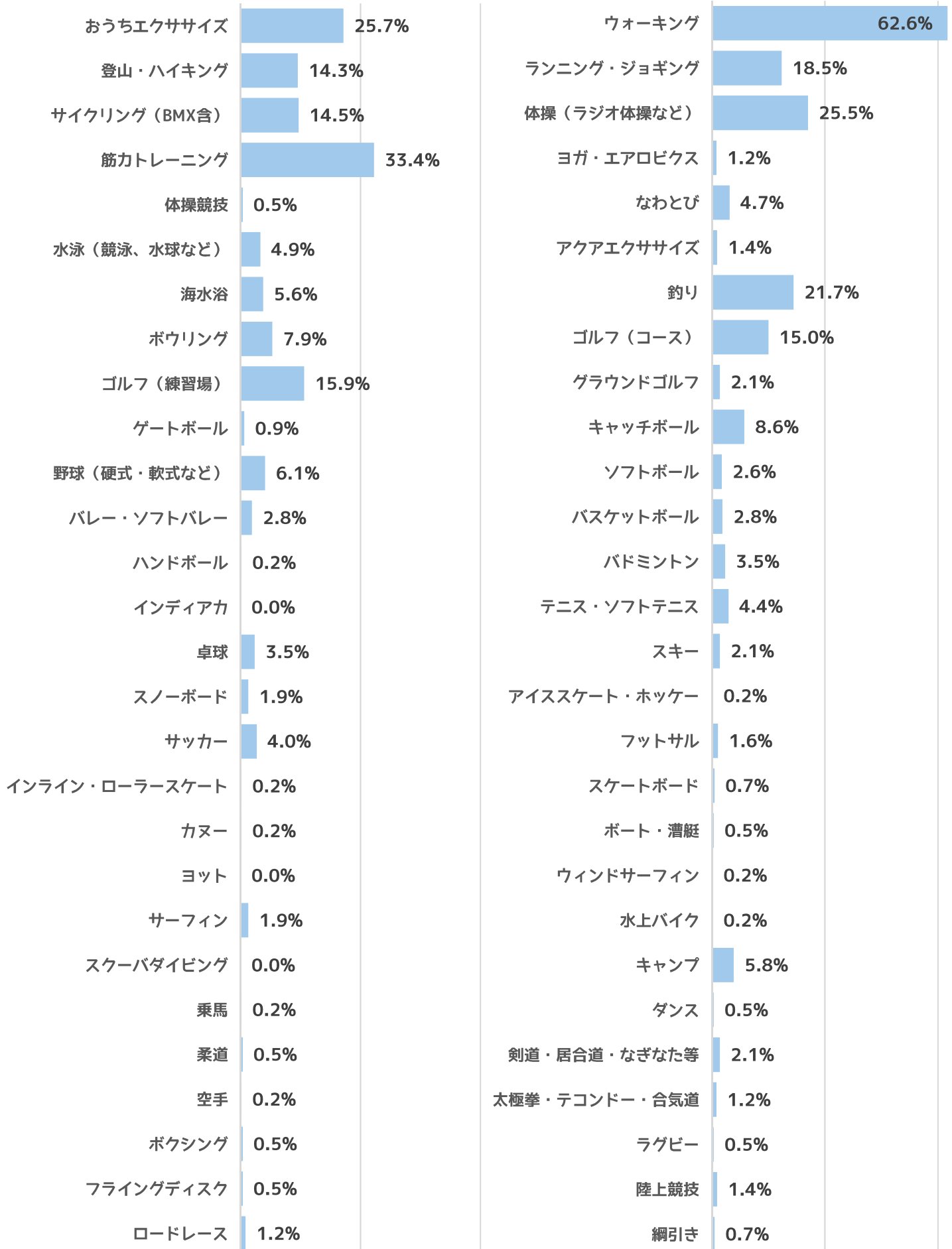


図14. 男性の過去1年間に実施した運動・スポーツ種目 (n=428)

女性

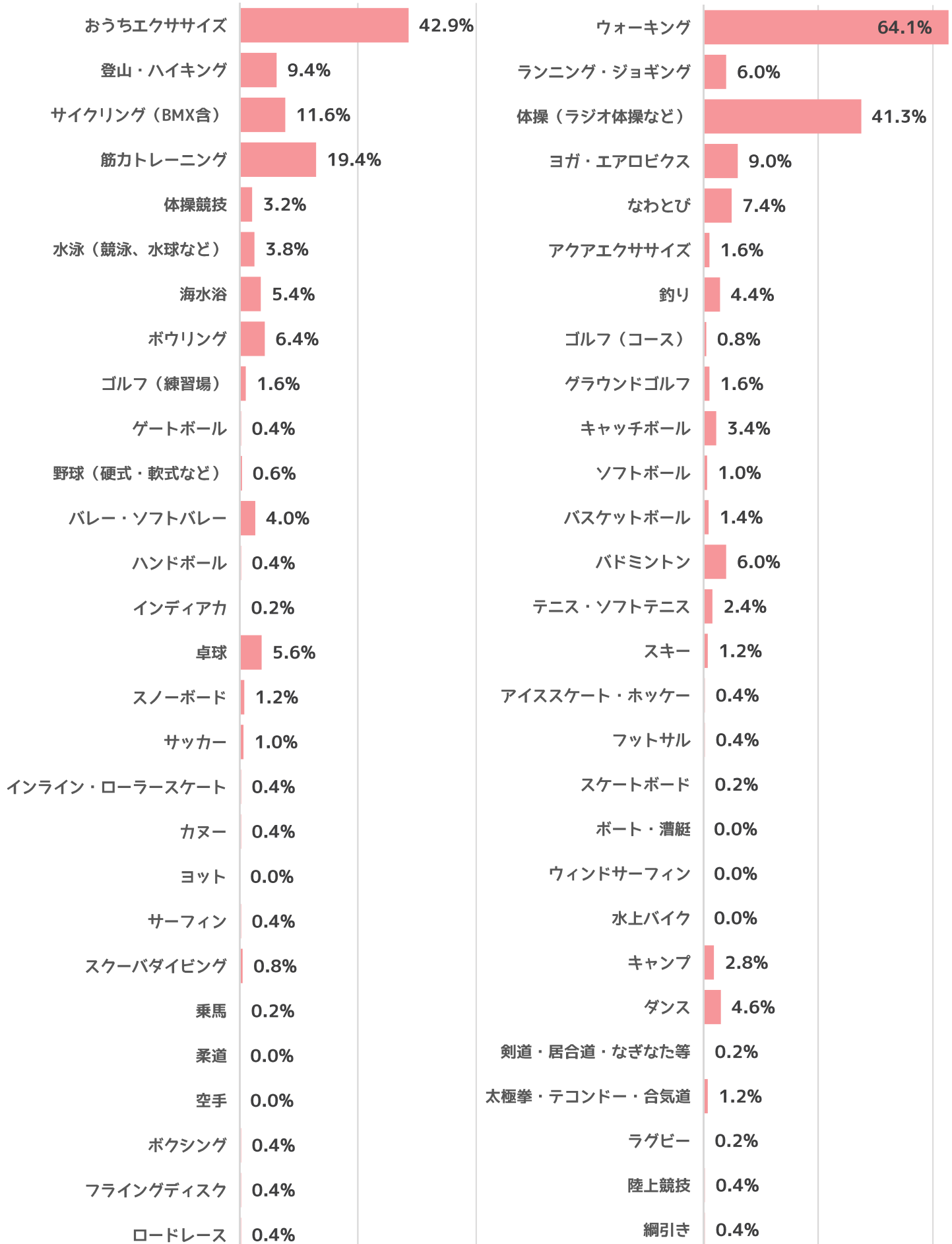


図15. 女性の過去1年間に実施した運動・スポーツ種目 (n=499)

和歌山県民の過去1年間の運動・スポーツ実施種目を、全体、男女別にビジュアル化した。全体的にエクササイズ系種目を「実施した」と回答する人が多い傾向にあるが、中でも男性は筋力トレーニング、ジョギング、球技・チームスポーツ系種目の実施が多く、また、釣りやゴルフ（コース）・ゴルフ（練習場）といった種目の実施率が高いのも特徴的である。一方で女性は、おうちエクササイズや体操、ヨガ・エアロビクス、ダンスといったエクササイズ・ダンス系種目の実施率が高いほか、バレー・ソフトバレー、バドミントン、卓球といったネットスポーツ系種目の実施率が男性よりも高く、男女の志向の違いをうかがい知ることができる。

4. 過去1年間の実施種目の中で最も重要な運動・スポーツ種目

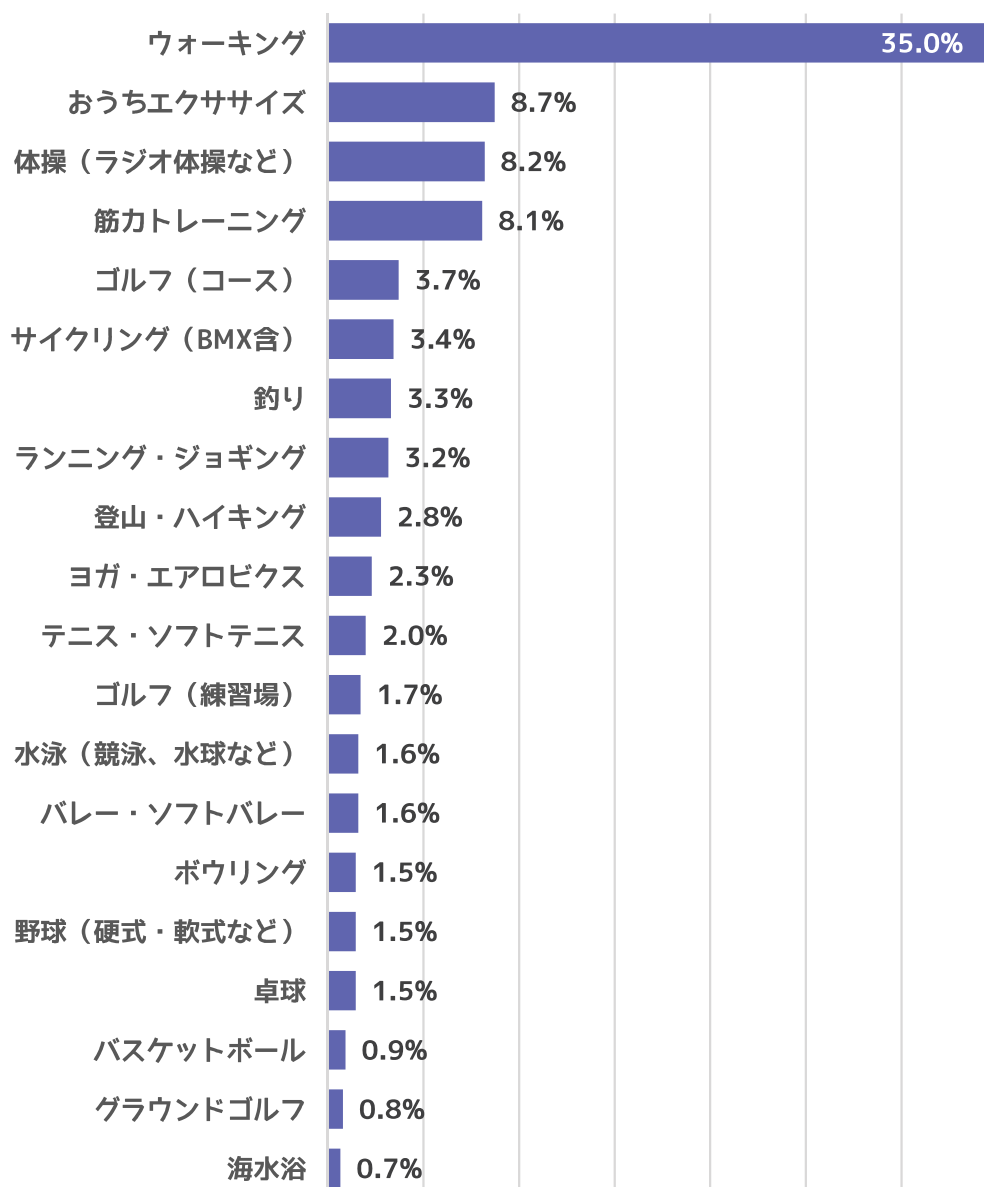


図16. 過去1年間に実施した運動・スポーツ種目の中で最も重要な種目
上位20種目（n=755）

過去1年間に実施した種目の中で、最も重要な運動・スポーツ種目を挙げてもらったところ、ウォーキングやおうちエクササイズ、体操、筋力トレーニングといった健康や体力・筋力の維持・増進を目的とした、個人で実施できる運動種目に回答が集まる結果となった。ここに示した上位20種目については、前回2021年調査とほぼ同様の結果となっており、数種目のみが入れ替わっている形となっているが、これらの出現数を考えると、数種目の入れ替わりは特筆すべきことでは無いと言えるだろう。逆に、上位4つの種目とその数値が示すように、運動・スポーツの実施率がこれらエクササイズ系の種目に支えられていることがうかがえる結果となっている。

5. 和歌山県民の運動・スポーツ実施理由

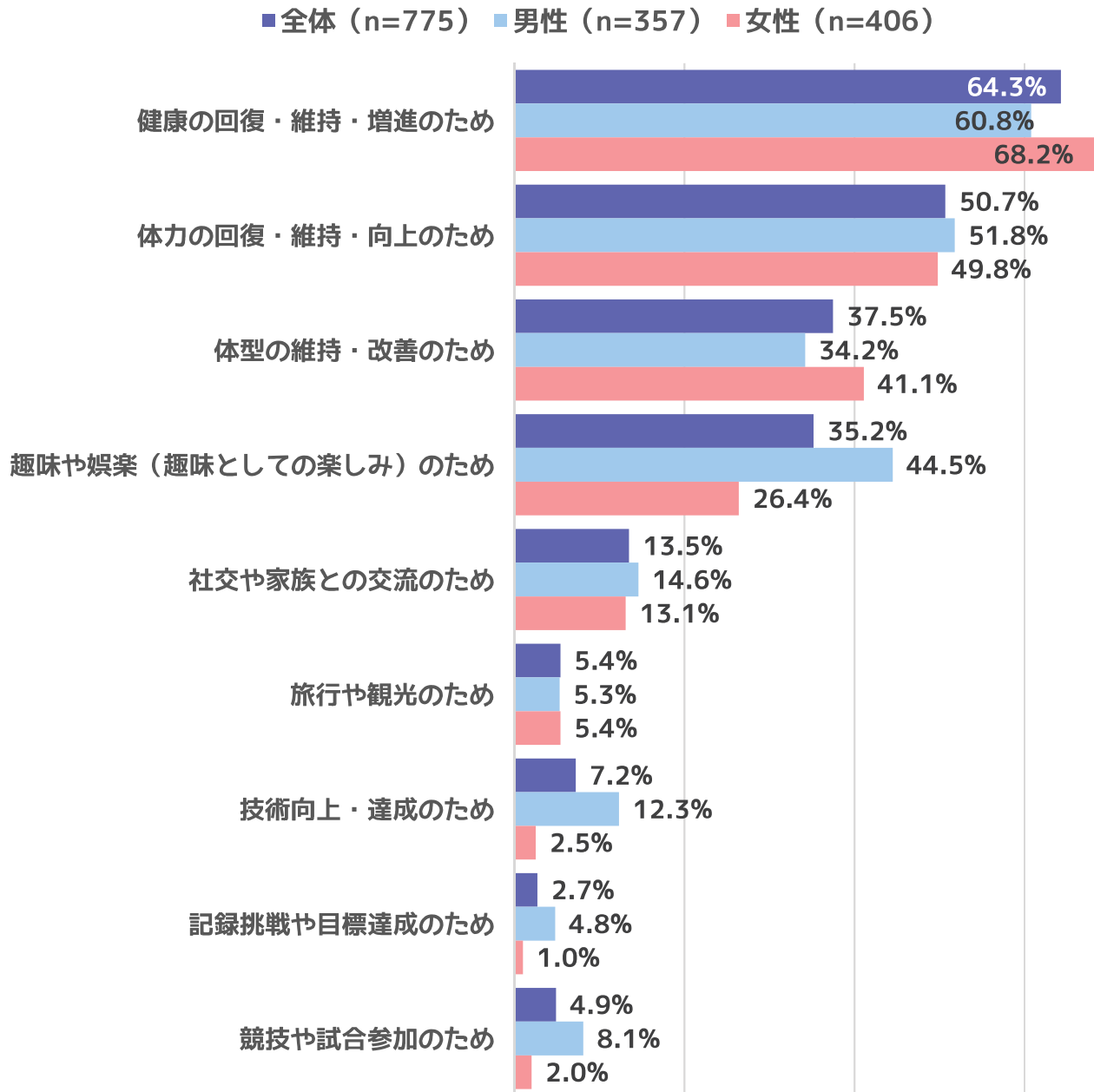


図17. 和歌山県民の運動・スポーツ実施理由〔複数回答可〕

和歌山県民の運動・スポーツ実施理由について、全体、男性、女性を並べて図示した。上図より、全体的に「健康」や「体力」、「体型」の維持のために運動・スポーツを実施する人が多いことが明らかである。男女の違いに着目すると、女性はより「健康の回復・維持・向上」、「体系の維持・改善」といったことを求めて運動・スポーツを実施し、男性は「趣味や娯楽のため」、数は少ないが「技術向上・達成のため」「競技や試合参加のため」といったことを目的として運動・スポーツを実施する傾向にあることが分かる。

6. 運動・スポーツを実施しない人の阻害要因

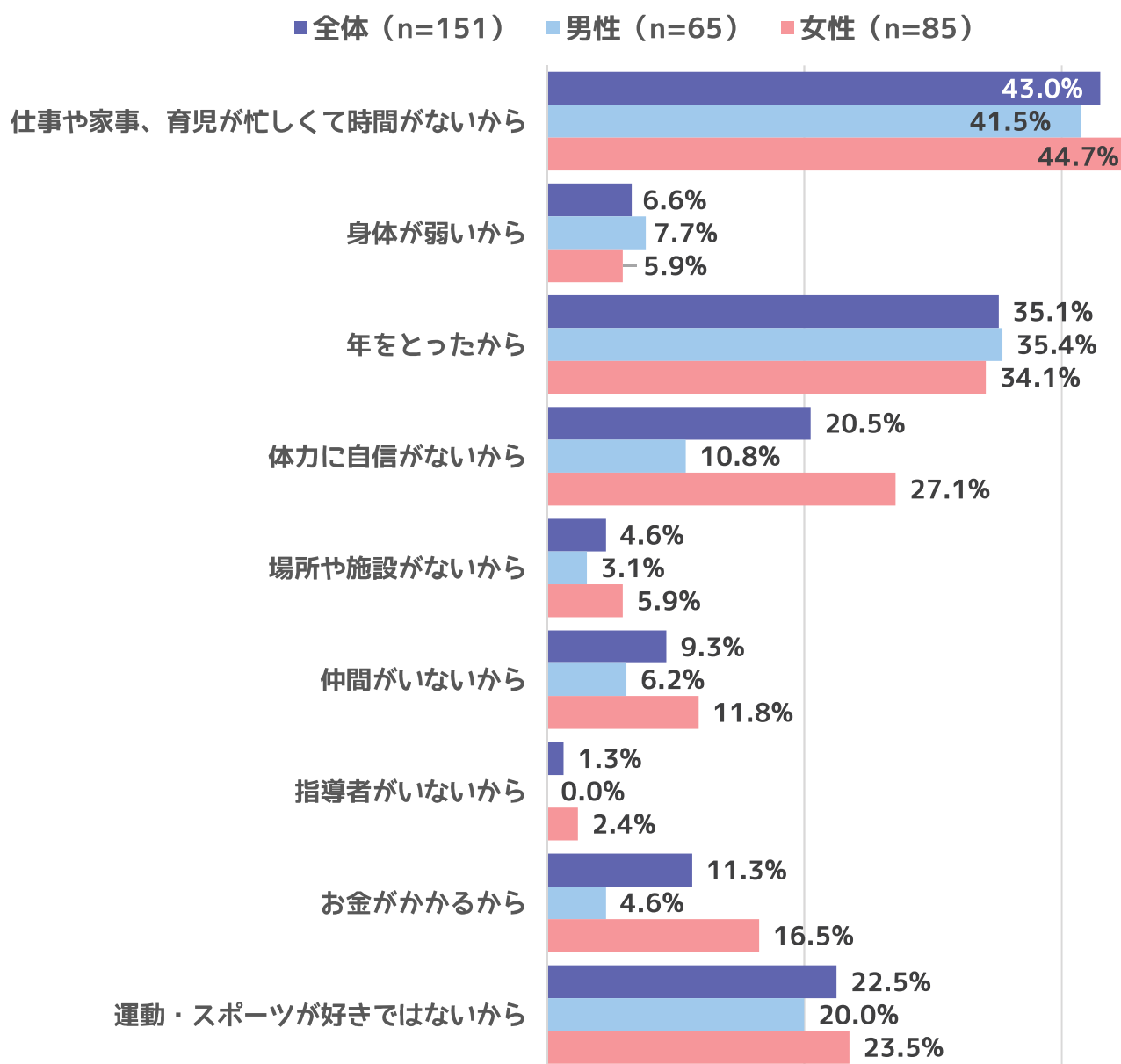


図18. 運動・スポーツを実施しない人の阻害要因〔複数回答可〕

運動・スポーツを実施しない人の阻害要因では、最も多い回答は「仕事や家事、育児が忙しくて時間がない」となり、これまでの研究や報告と同様のものとなった。次いで多いのが「年をとったから」となっており、このことから、加齢により運動やスポーツが「ふさわしくない」というステレオタイプ（固定観念）の存在もうかがえる。男女の違いに着目すると、「体力に自信がない」「お金がかかるから」といった阻害要因は女性がより強く感じる傾向がみられる。「運動・スポーツが好きではないから」と感じる人を、可能な限りゼロに近づける努力が必要である。

7. 和歌山県民の今後行なってみたい運動・スポーツ種目

全 体

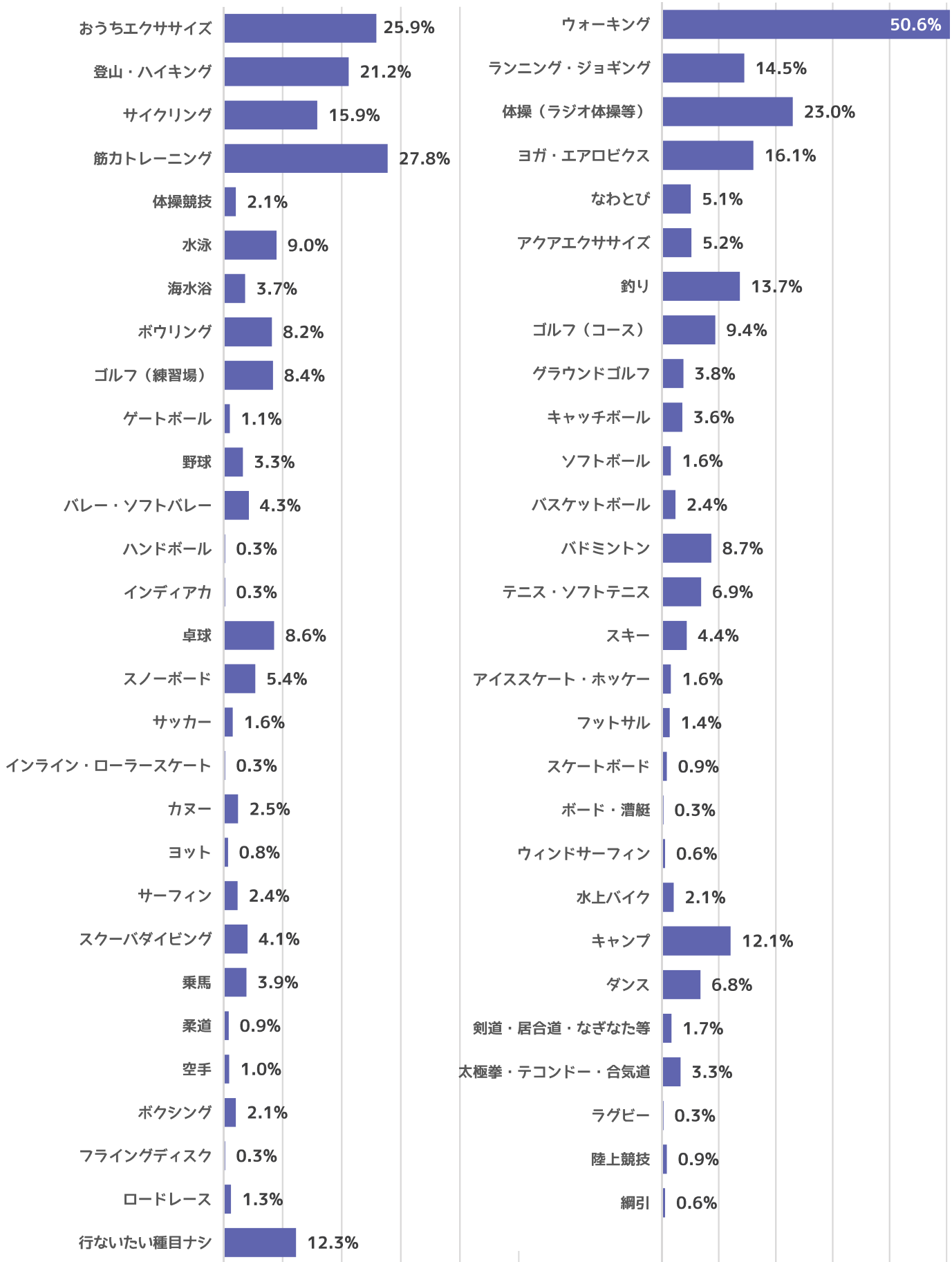


図19. 和歌山県民の今後行なってみたい運動・スポーツ種目（n=926）

男性

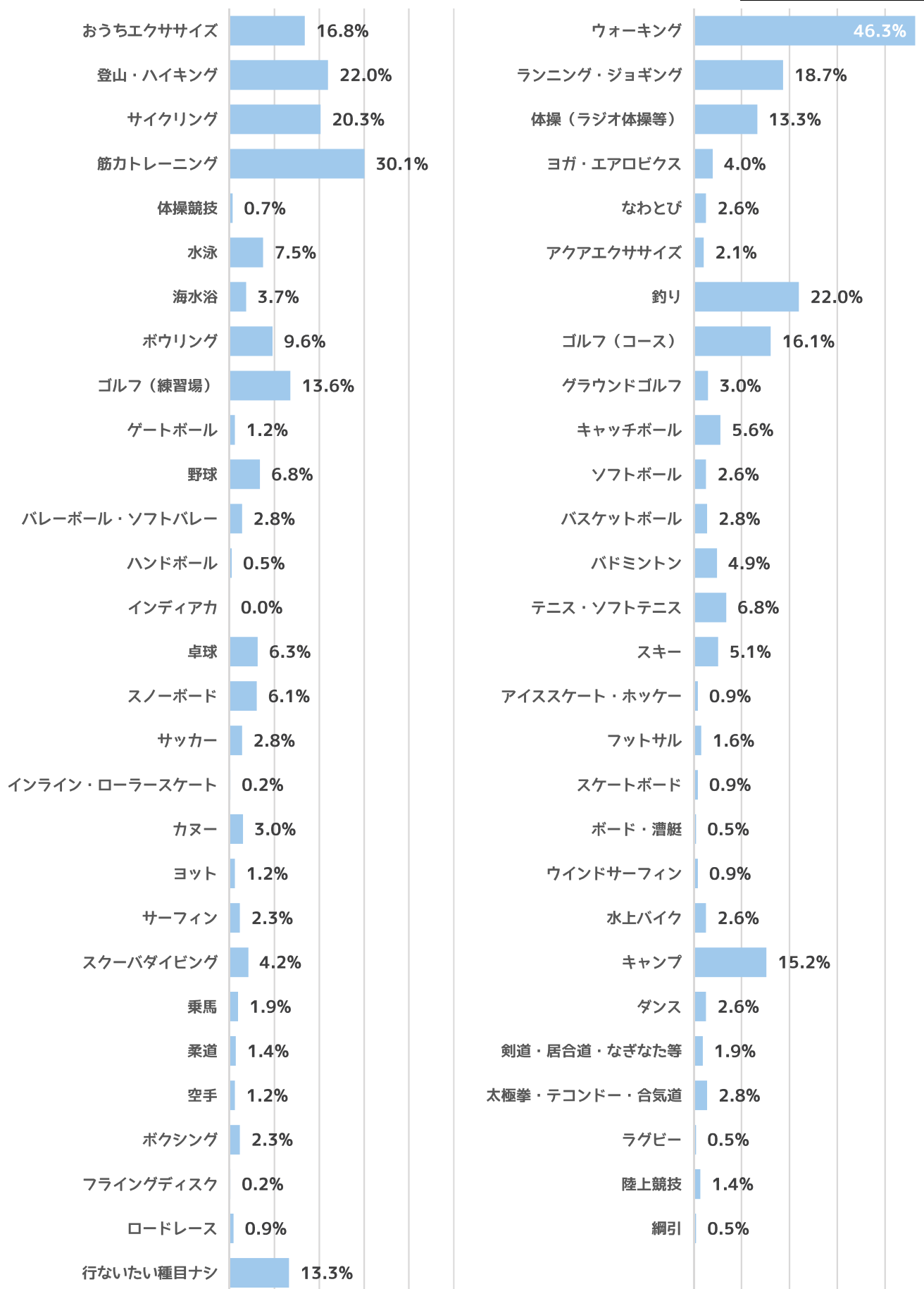


図20. 男性の今後行なってみたい運動・スポーツ種目（n=422）

女性

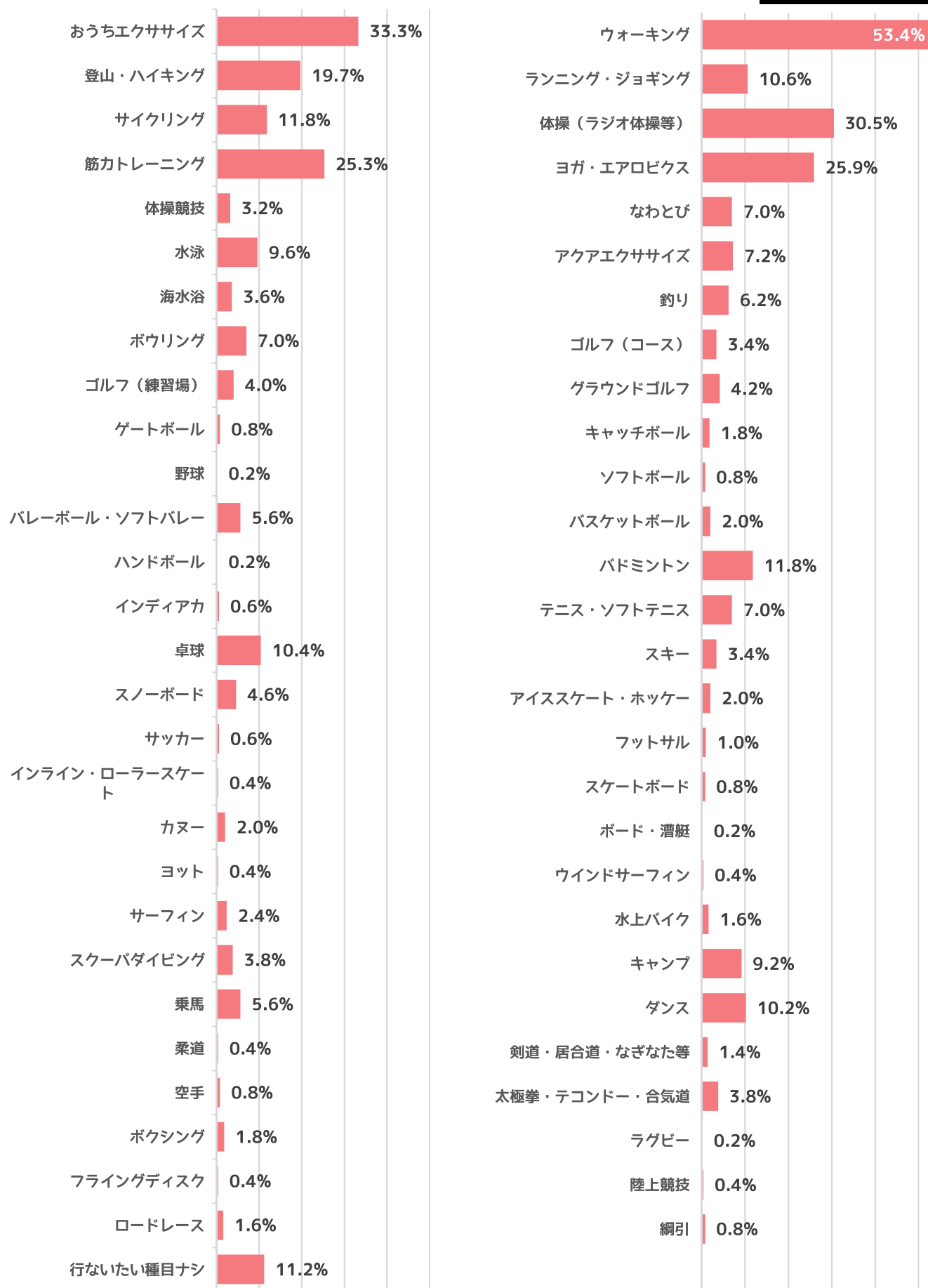


図21. 女性の今後行なってみたい運動・スポーツ種目（n=492）

8. 今後最も行なってみたい運動・スポーツ種目

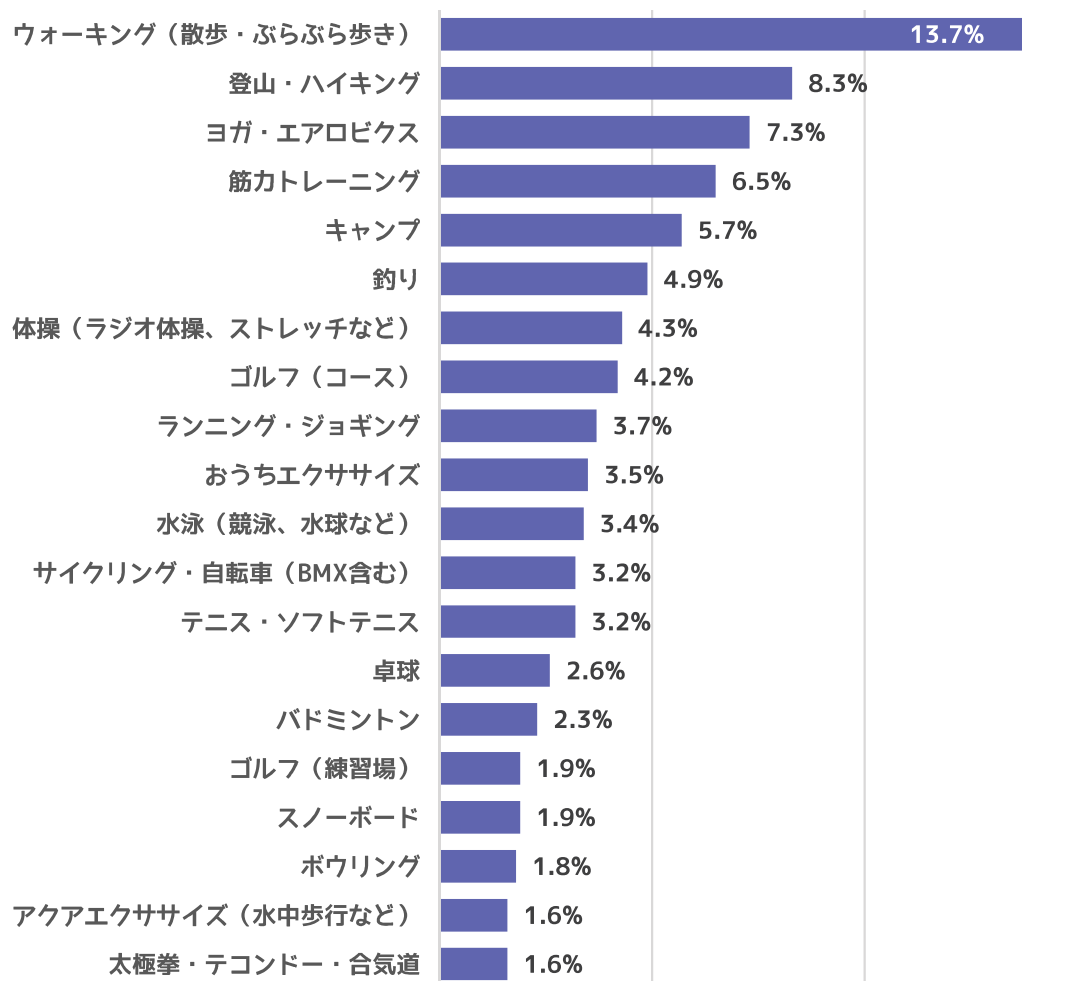


図22. 今後最も行なってみたい運動・スポーツ種目・上位20種目（n=739）

今後行なってみたい運動・スポーツ種目について多肢選択方式で回答してもらったものが、図19（全体）、図20（男性）、図21（女性）である。過去1年間の実施種目と同様、全体的に図中上方にあるエクササイズ系種目に回答が集まる傾向は否めないものの、男女別にみるとそれぞれの志向がうかがえる。男性では、釣りやゴルフ、キャンプといった種目にその実施希望が集まり、他方女性は体操、ヨガ・エアロビクス、ダンス、ラケットスポーツ（バドミントン、卓球、テニス）といった種目に実施希望が集まっている。また、今後最も行なってみたい運動・スポーツ種目（図22）では、昨今のキャンプブームや、出現数は少ないものの格闘技ブームの片鱗もうかがえる。過去1年間の実施種目、実施した最も重要な種目、今後行なってみたい種目、最も行なってみたい種目のすべてにおいて、「釣り」が上位に位置しているのは、海洋環境に恵まれた和歌山ならではの特徴と言えるのではなかろうか。

9. 運動・スポーツを行ないたい人の行ないたい理由

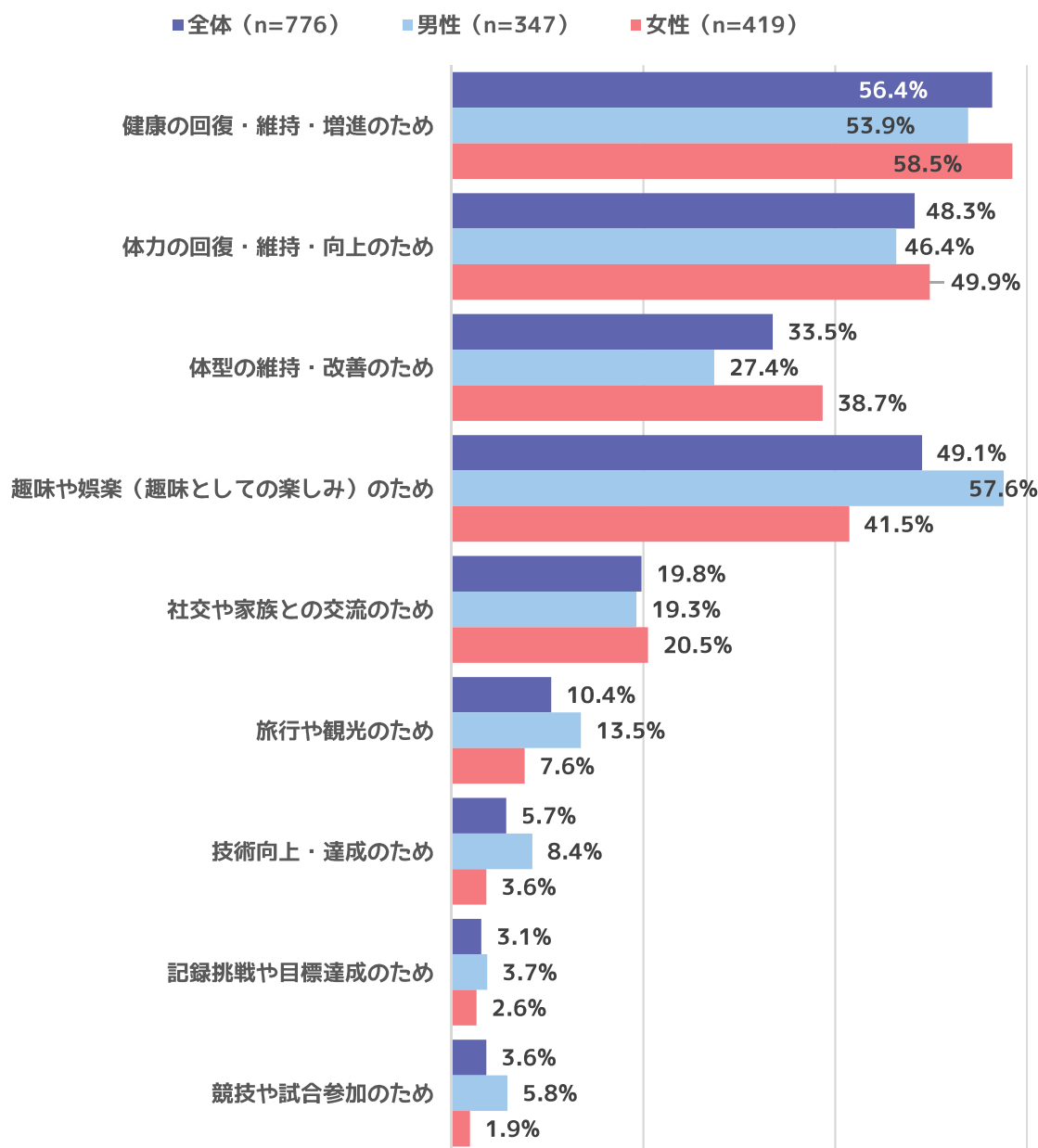


図23. 運動・スポーツを行ないたい人の行ないたい理由〔複数回答可〕

運動・スポーツを行ないたい理由について、複数回答で答えてもらった結果が図23である。今後行なってみたい種目がそうであったように、健康の回復・維持・増進、体力の回復・維持・向上、体型の維持・改善に回答が集まっていることが分かる。特に男性よりも女性においてその傾向が強く、逆に、趣味や娯楽（趣味としての楽しみ）のためや、技術の向上・達成、競技や試合参加のためといった理由は男性の方が多く表れている。また、これら9つの設問は、「健康」、「楽しみ」、「競技」といった志向を示すものとなっており、結果として競技志向が非常に少ない結果となった。2027年・ワールドマスターズゲームズの開催地の1つである本県として、マスターズスポーツムーブメントの風を起こしていくことが1つの方策として挙げられよう。

10. 和歌山県民のスポーツクラブ加入率

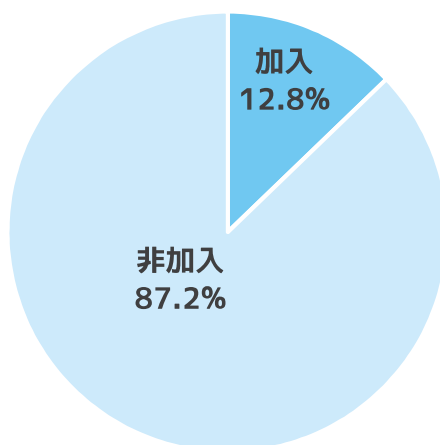


図24. 和歌山県民のスポーツクラブ加入率 (n=891)

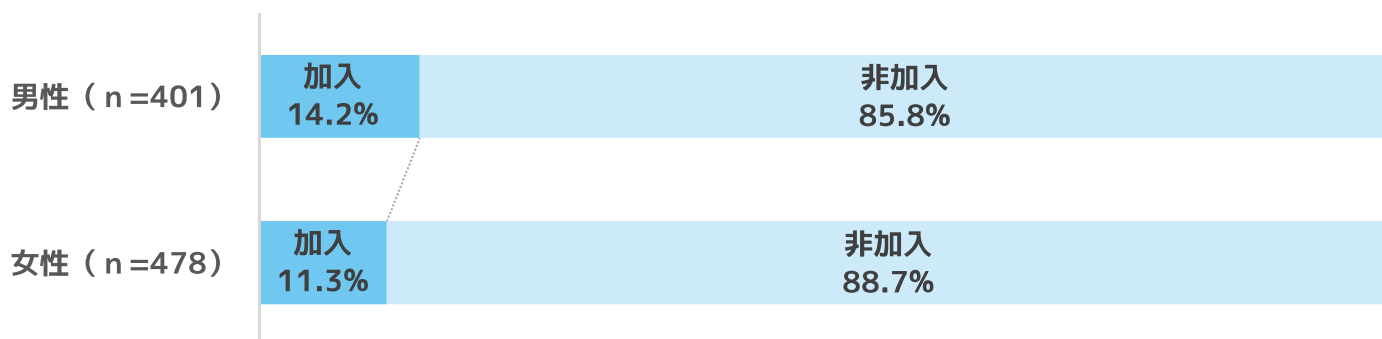


図25. 男女別スポーツクラブ加入率

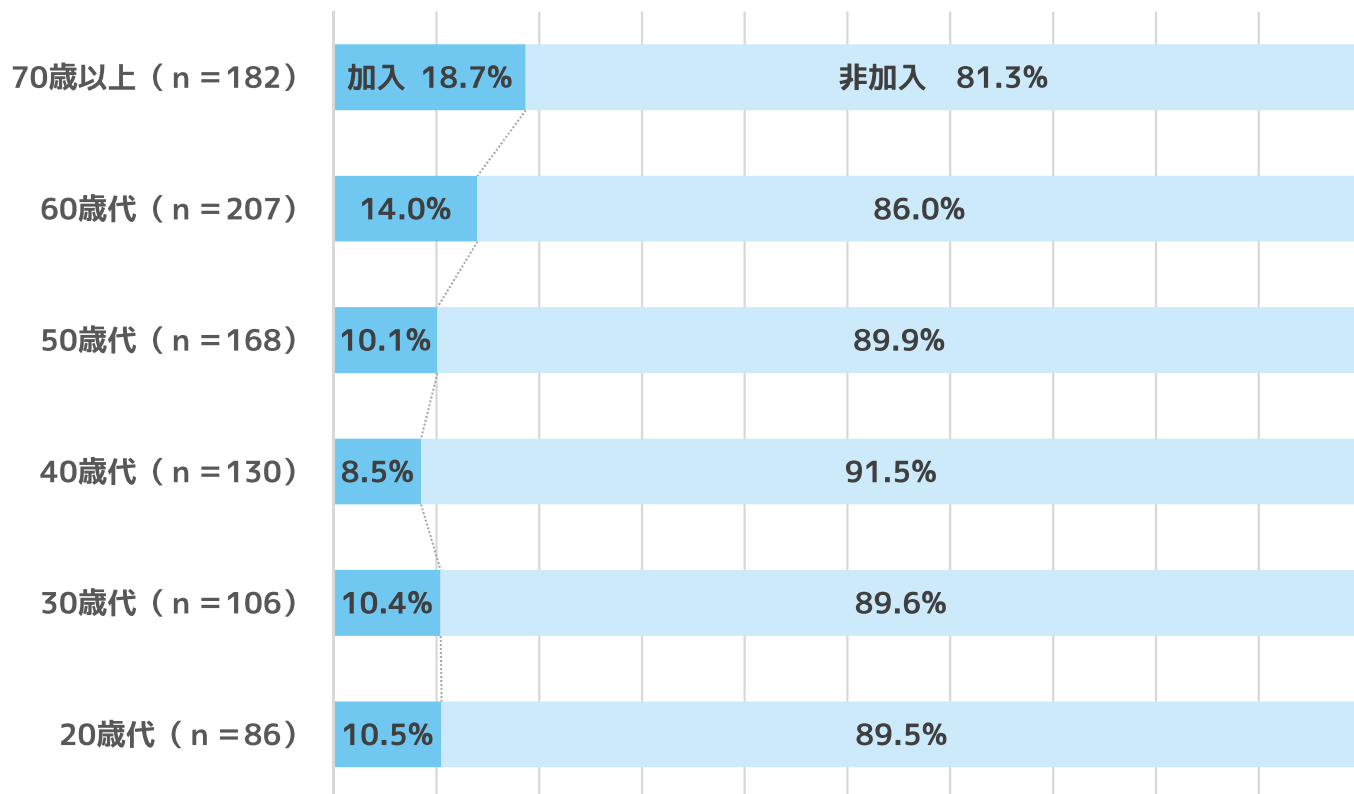


図26. 年代別クラブ加入率

11. 過去1年間の直接的スポーツ観戦

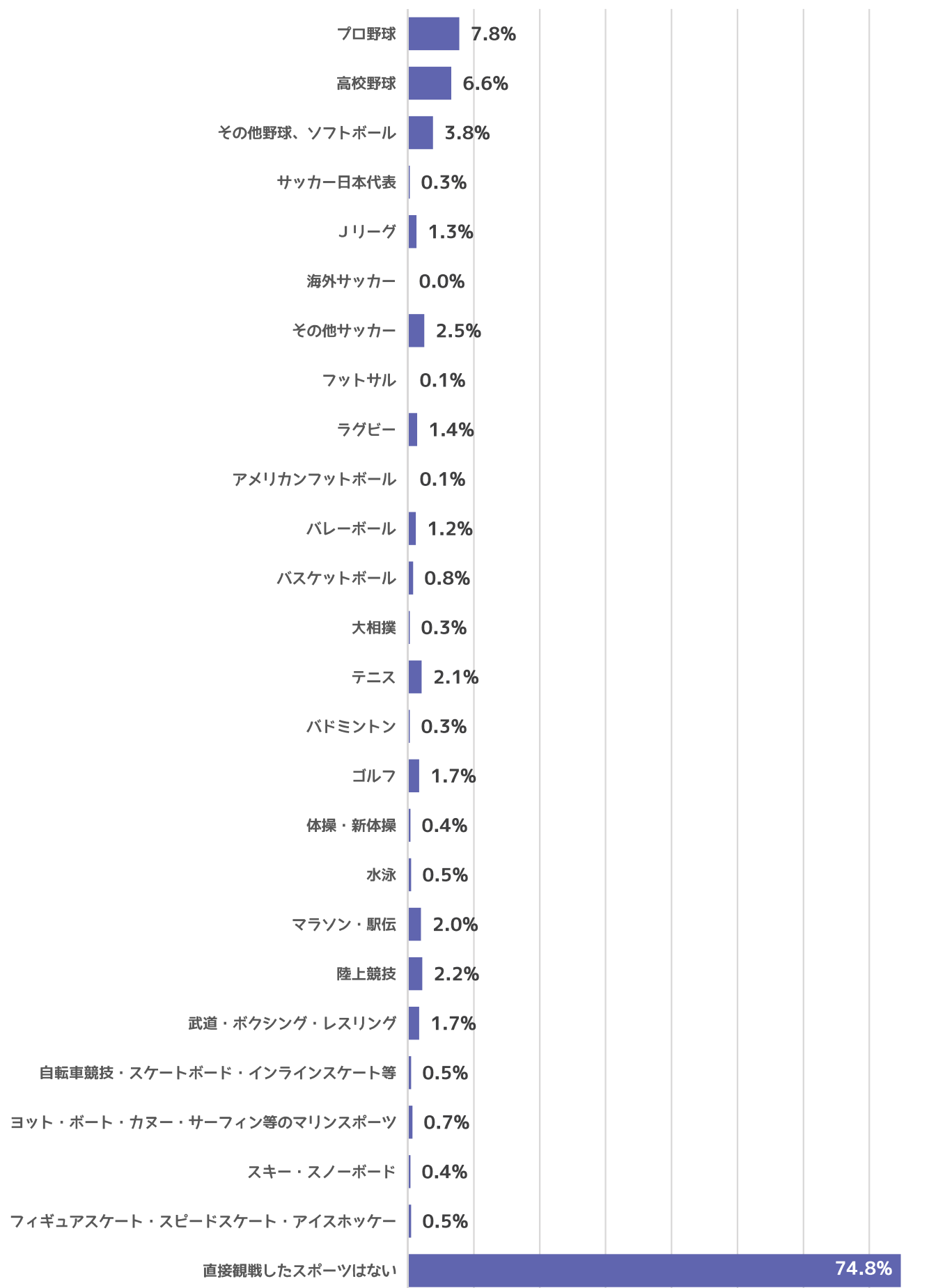


図27. 過去1年間の直接的スポーツ観戦 (n=915)

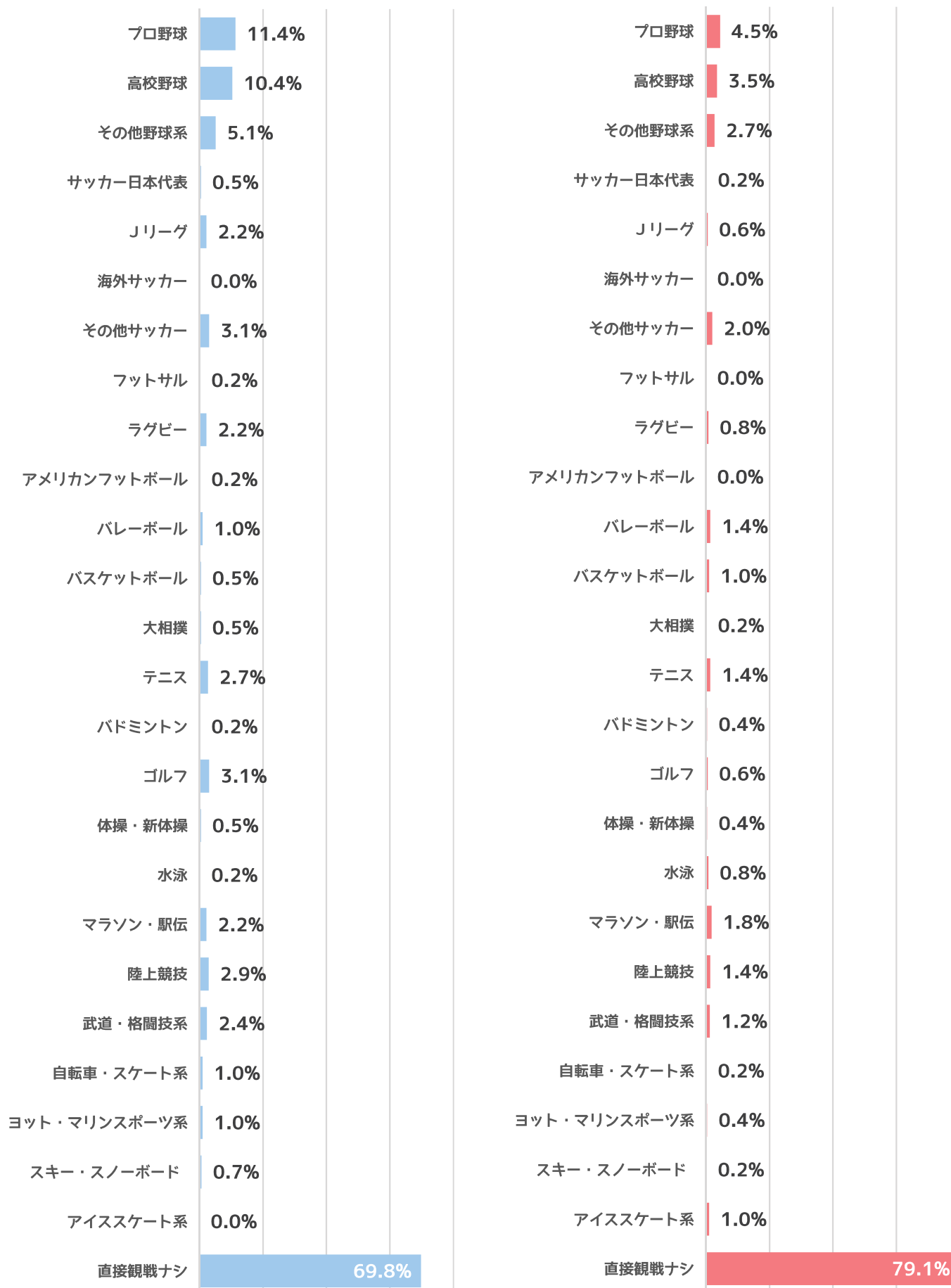


図28. 男女別・過去1年間の直接的スポーツ観戦（男性：n=414 女性：n=489）

12. 今後、直接観戦してみたいスポーツ

表1. 今後、直接観戦してみたいスポーツ

	種目名	出現数
球技・チーム スポーツ系種目	プロ野球	117
	高校野球	44
	その他野球	3
	ラグビー	28
	サッカー日本代表	26
	Jリーグ	6
	海外サッカー	4
	その他サッカー	3
	バレーボール	25
	ゴルフ	25
	バスケットボール	20
	テニス	11
	バトミントン	3
	アメリカンフットボール	2
ウォーキング・ ランニング系種目	マラソン・駅伝	12
	陸上競技	7
	水泳	5
	体操・新体操	2
	自転車競技	1
武道・格闘技系種目	大相撲	22
	武道・格闘技	14
シーズンスポーツ系種目	フィギュアスケート等	40
	スキー・スノーボード	6
	ヨット系マリンスポーツ	4
その他		4

過去1年間の直接的スポーツ観戦（スペクテータースポーツ）についてたずねたところ、図27・28のような結果となった。長引く感染症の影響は否めないものの、昨年調査と同様、ほとんど全てにおいて低調な観戦率であった。唯一野球観戦が様々なカテゴリーで数値を少し伸ばしているが、これも男女別にみると女性は男性の半数程度となっており、和歌山県民の直接的スポーツ観戦は、男性の野球観戦によってそのほとんどが支えられているように見えてしまう。他方、直接観戦してみたいスポーツについては（表1）、多くの回答を集めた野球（プロ野球、高校野球）に続いて、フィギュアスケート、ラグビー、サッカー、バレーボール、ゴルフ、大相撲、バスケットボールと多岐にわたり、直接観戦してみたいスポーツと過去1年間の直接観戦実績とのギャップを考えると、まずはそこに本県の「みる」スポーツプロモーションの道しるべがあるように考えられる。

13. 過去1年間の間接的スポーツ観戦

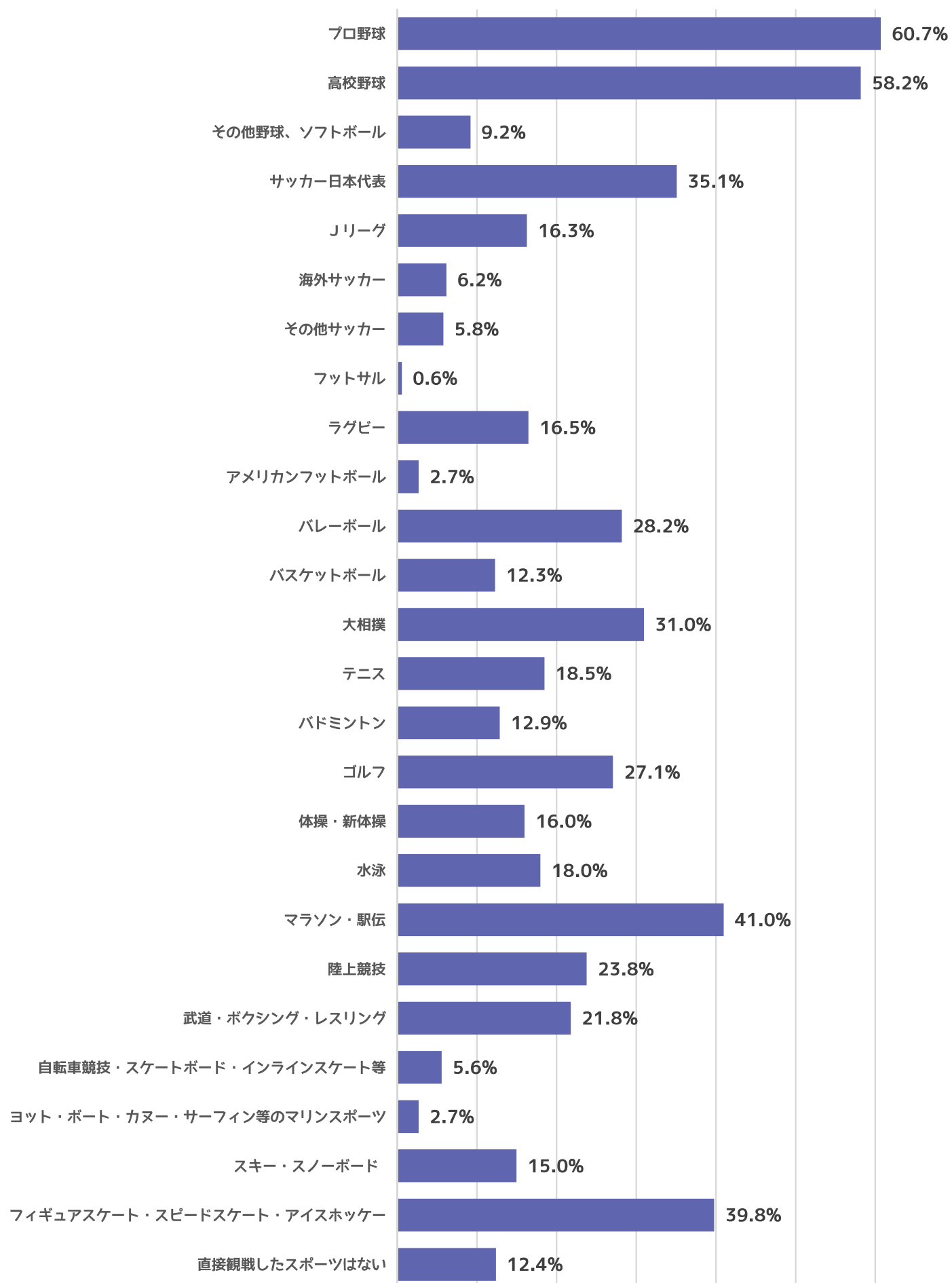


図29. 過去1年間の間接的スポーツ観戦 (n=932)

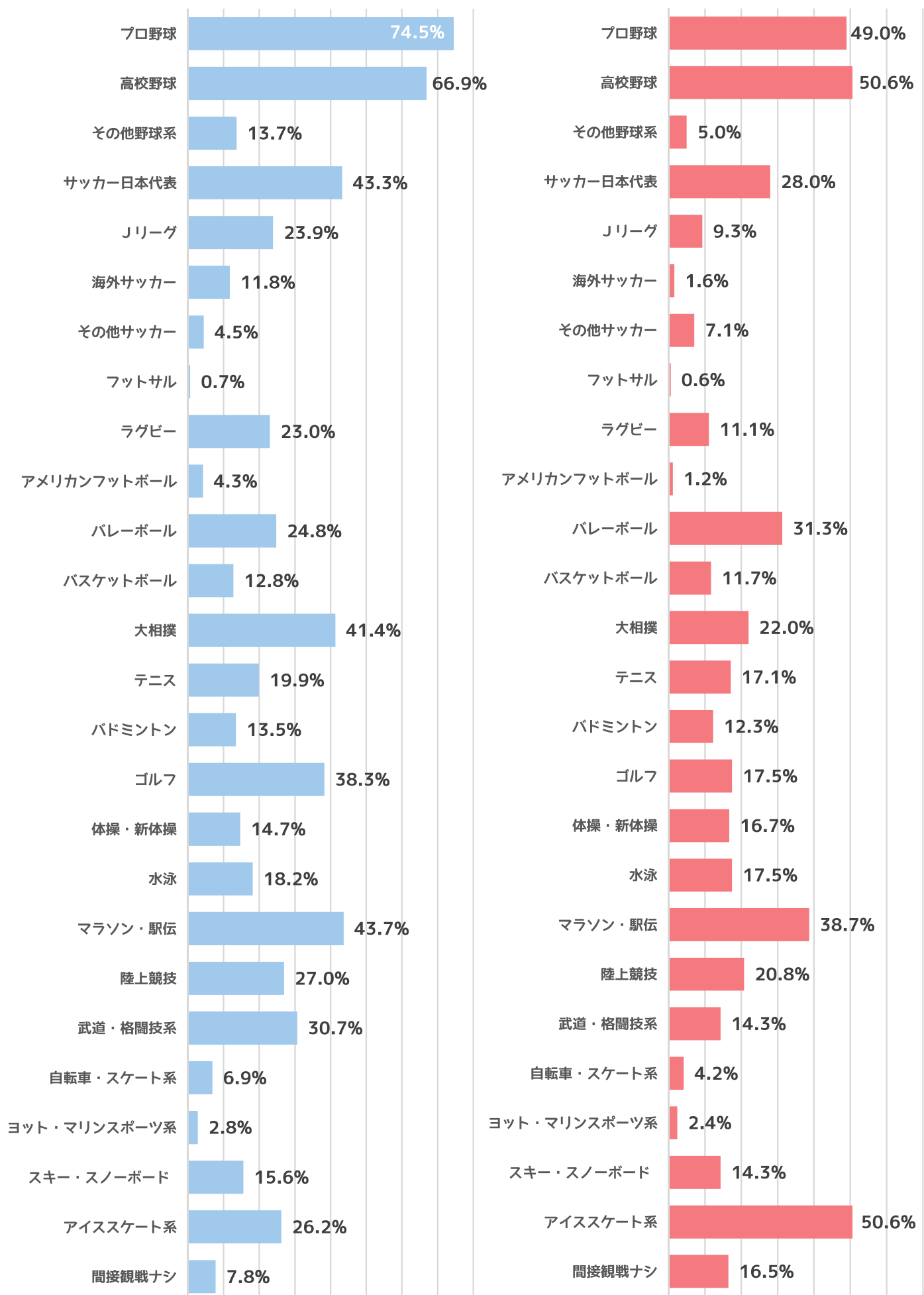


図30. 男女別・過去1年間の間接的スポーツ観戦（男性：n=423 女性：n=496）

14. 過去1年間にスポーツに関する情報を得た媒体

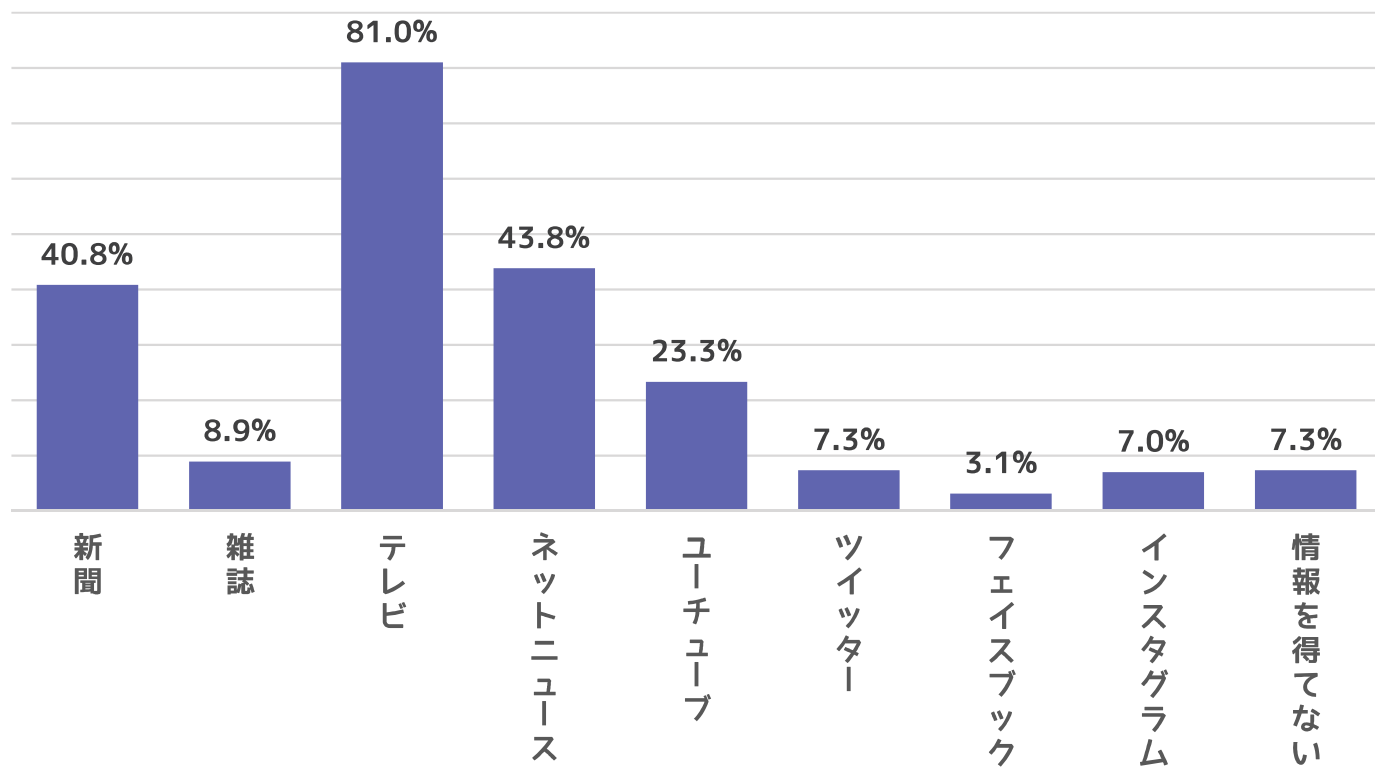


図31. 過去1年間のスポーツ情報源 (n=928)

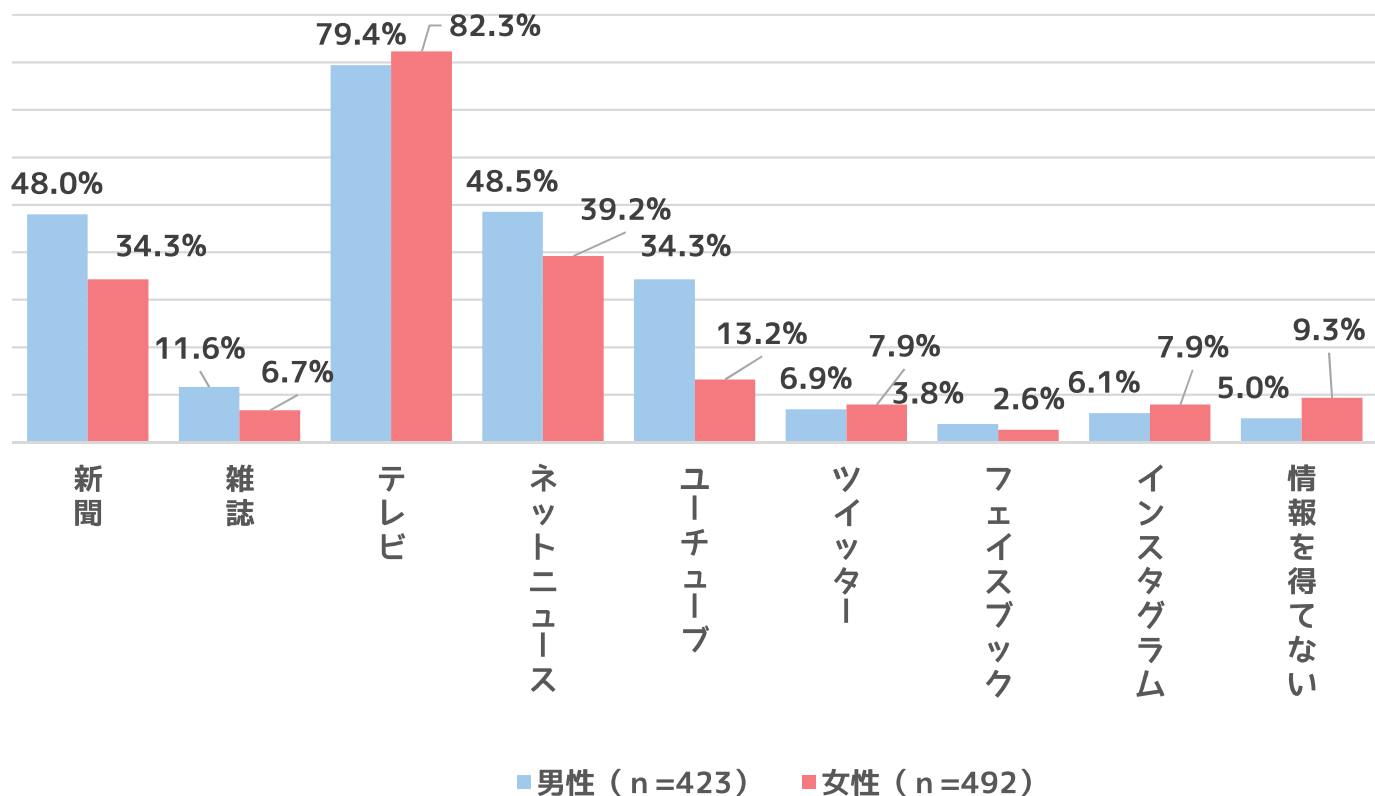


図32. 男女別・過去1年間のスポーツ情報源

15. 今後、スポーツに関する情報を得たい媒体

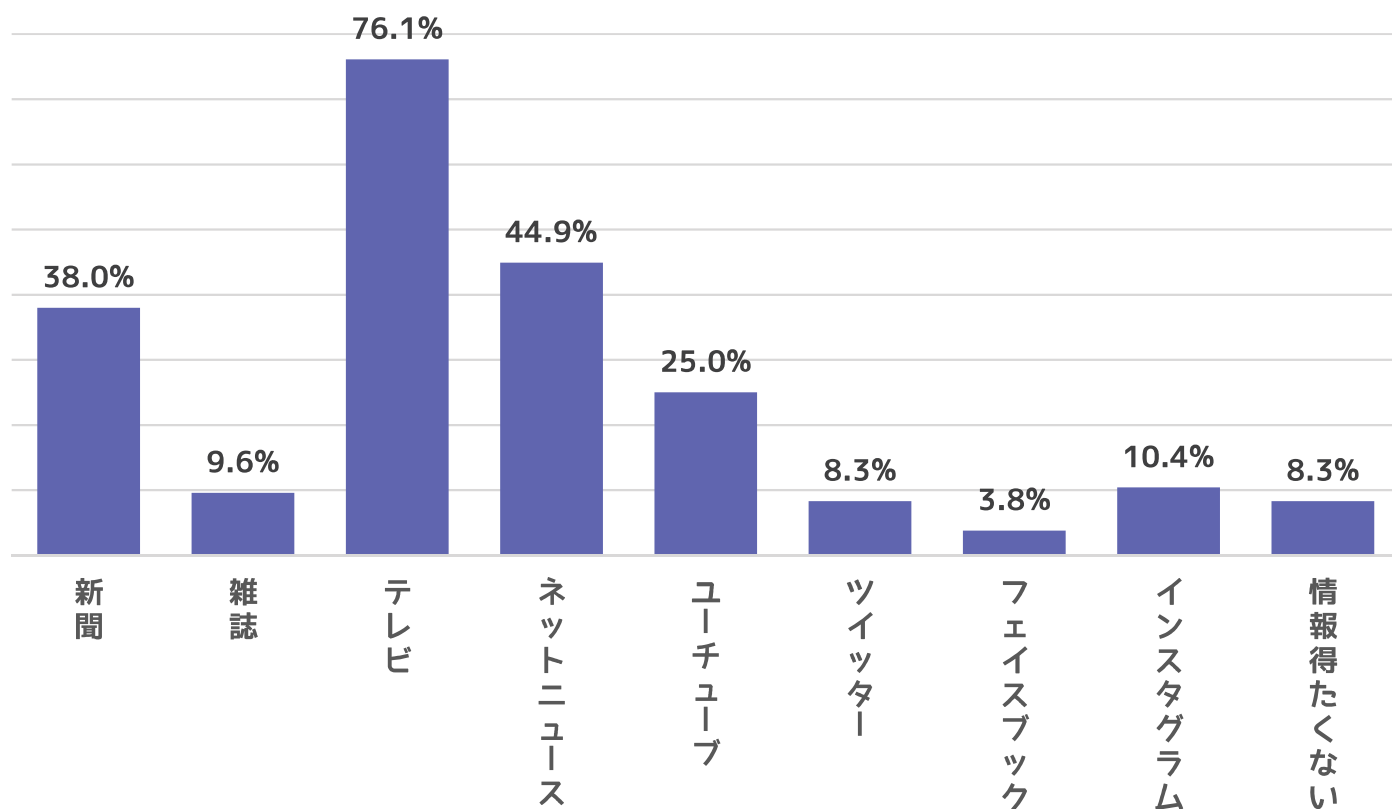


図33. 今後、スポーツに関する情報を得たい媒体 (n=924)

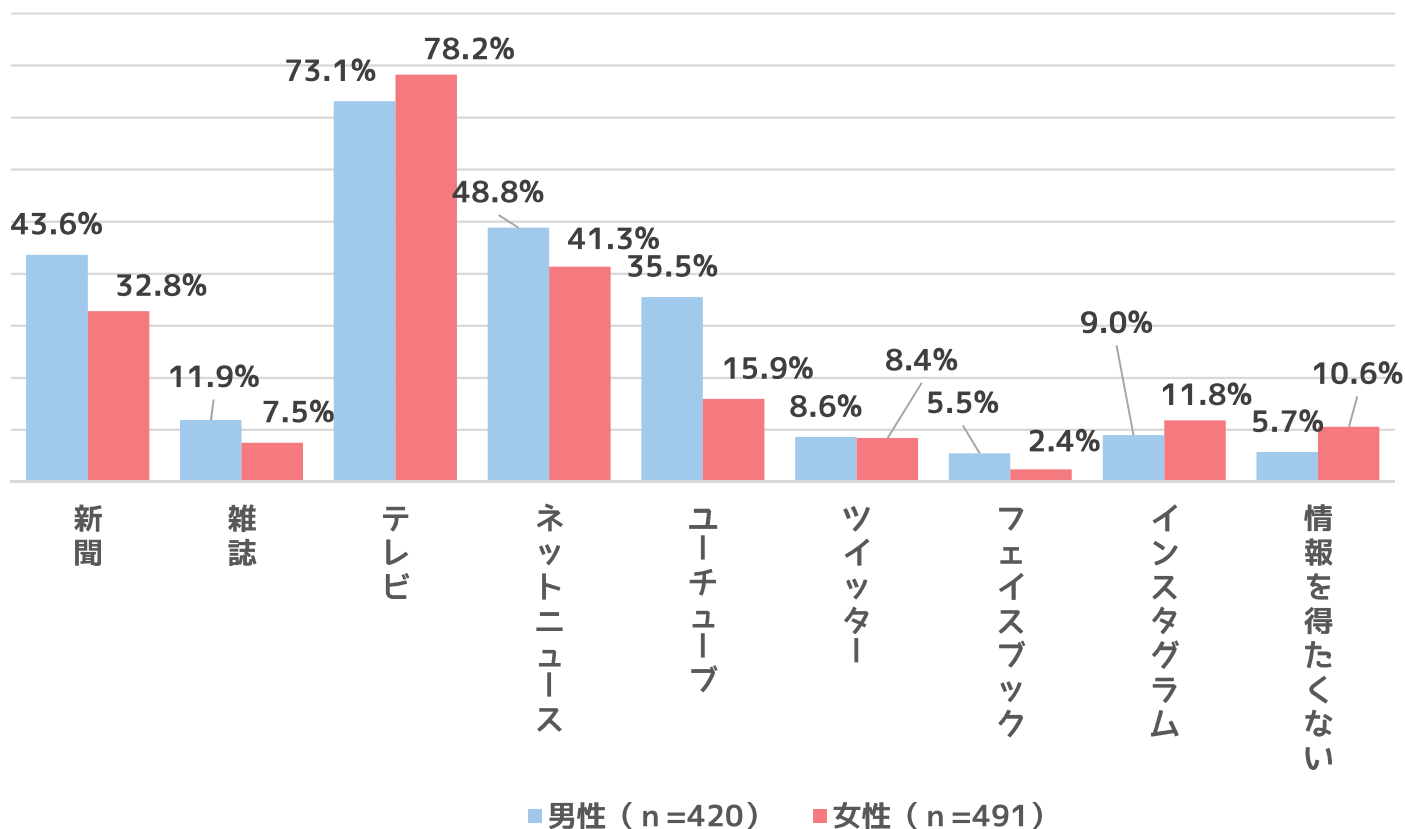


図34. 男女別・今後、スポーツに関する情報を得たい媒体

16. 過去1年間のスポーツボランティア実施状況

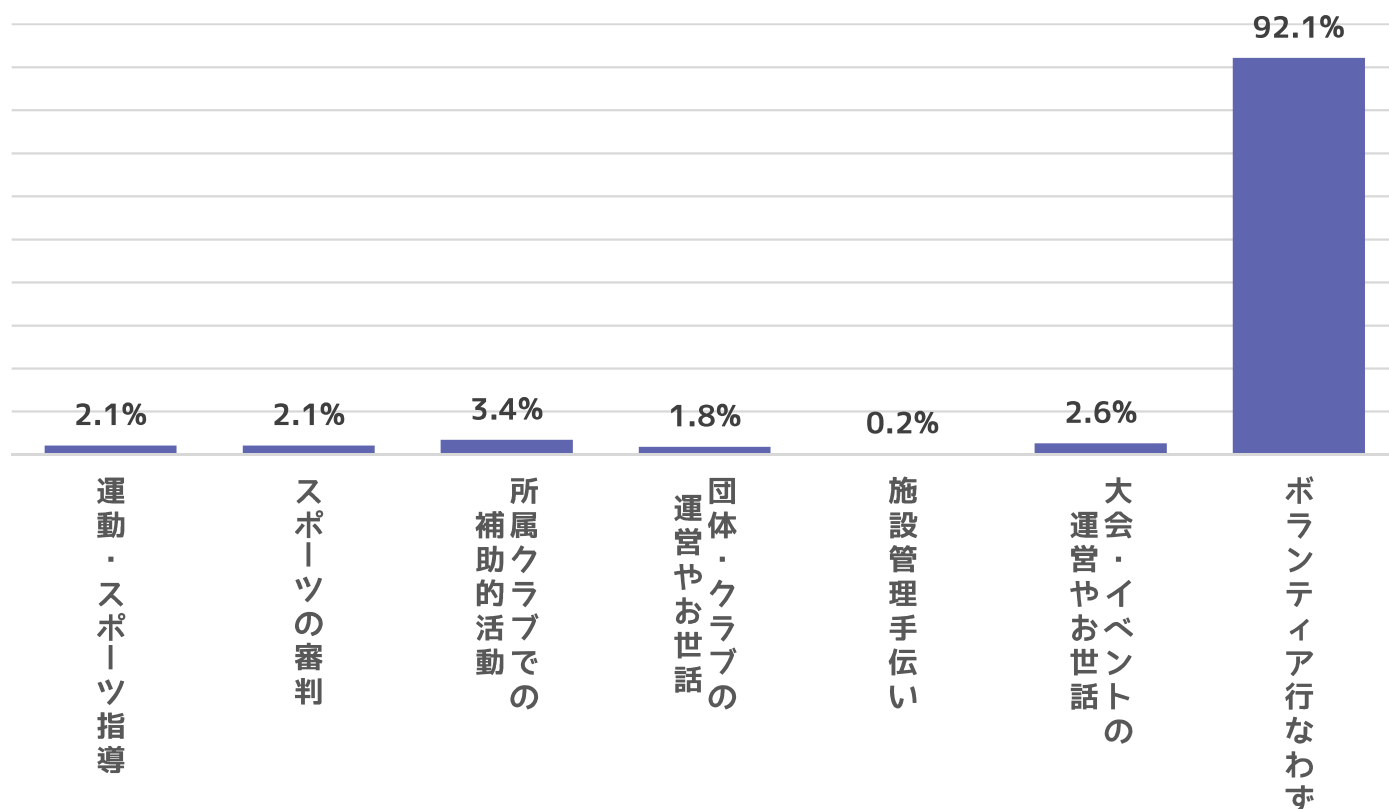


図35. 過去1年間のスポーツボランティア実施状況 (n=920)

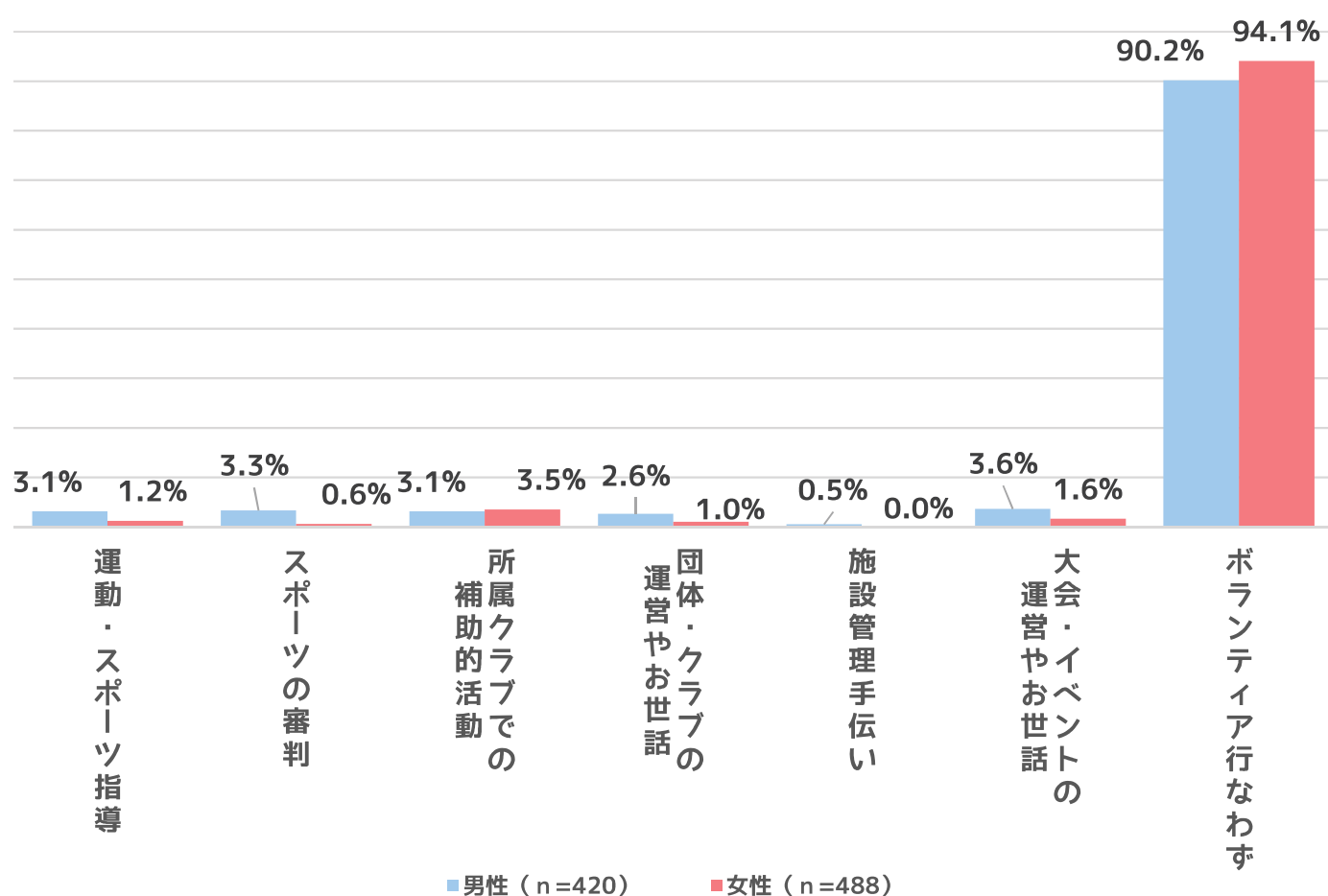
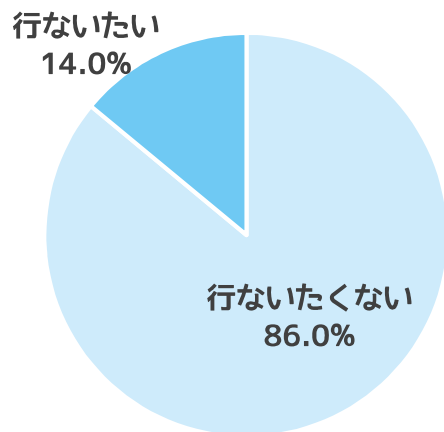
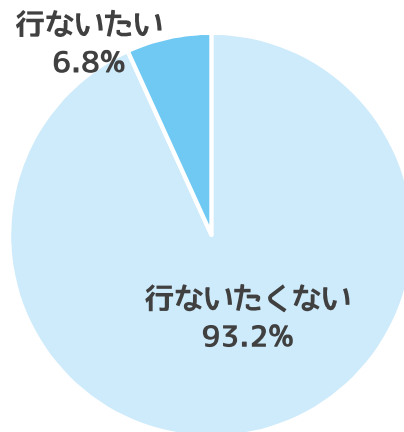


図36. 男女別・過去1年間のスポーツボランティア実施状況

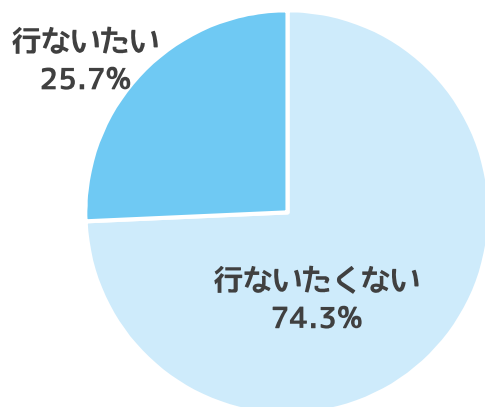
17. スポーツボランティア実施意欲



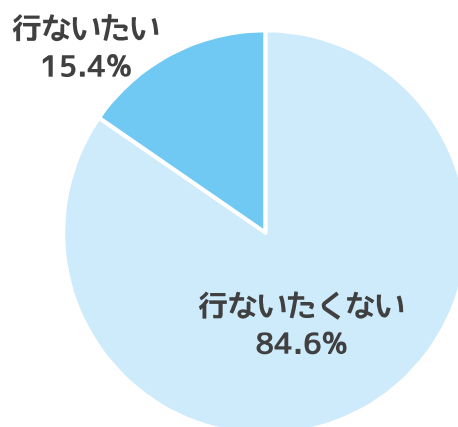
スポーツに関する指導 (n=719)



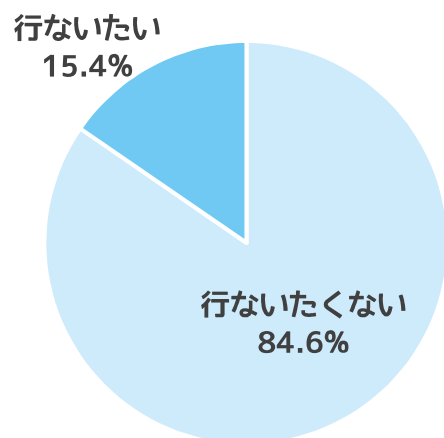
スポーツに関する審判 (n=745)



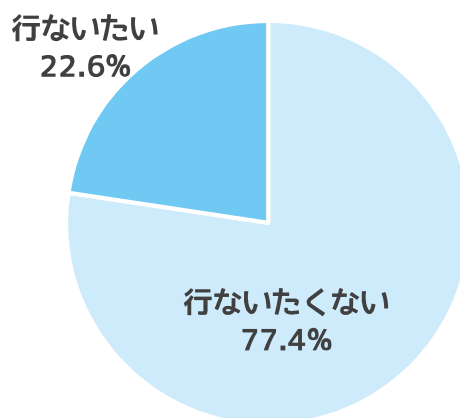
スポーツクラブの補助 (n=688)



スポーツクラブの運営お手伝い (n=700)



スポーツ施設の管理 (n=693)



スポーツイベント運営お手伝い (n=717)

図37.スポーツボランティア実施意欲

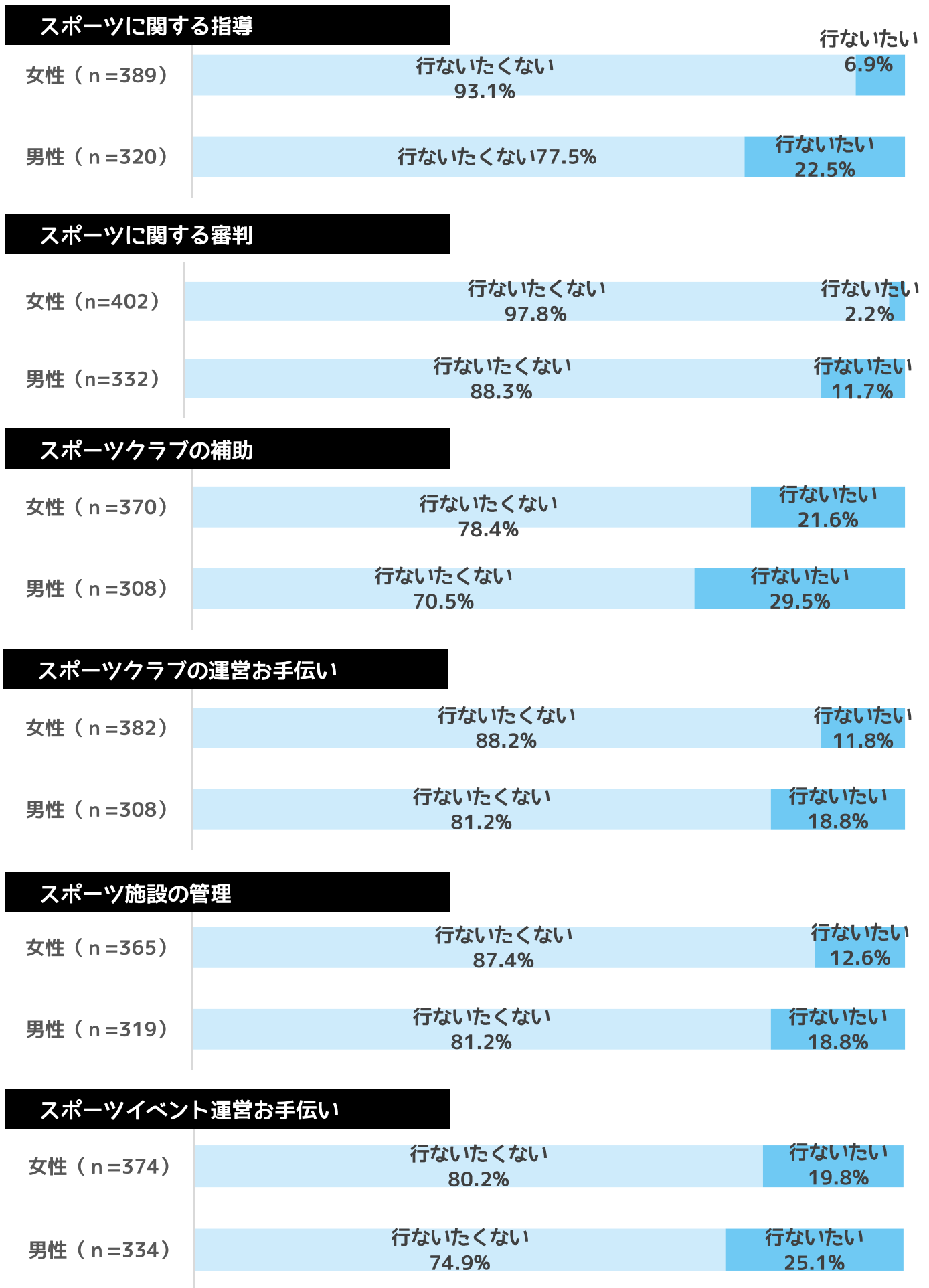


図38. 男女別・スポーツボランティア実施意欲

18. ワールドマスターズゲームズ（WMG）について

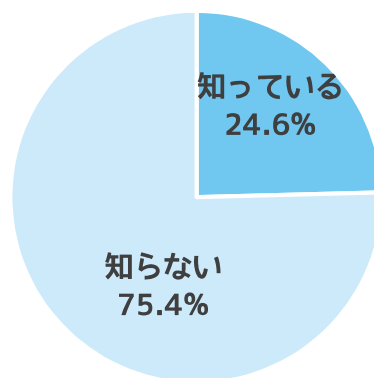


図39.WMGの認知率

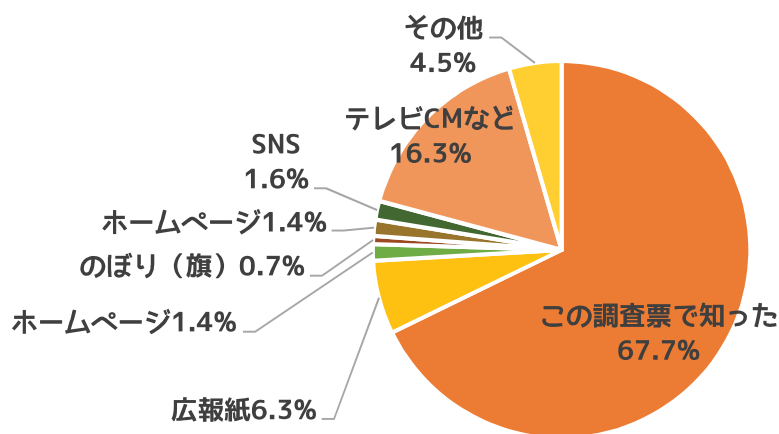


図40.WMGの認知経路

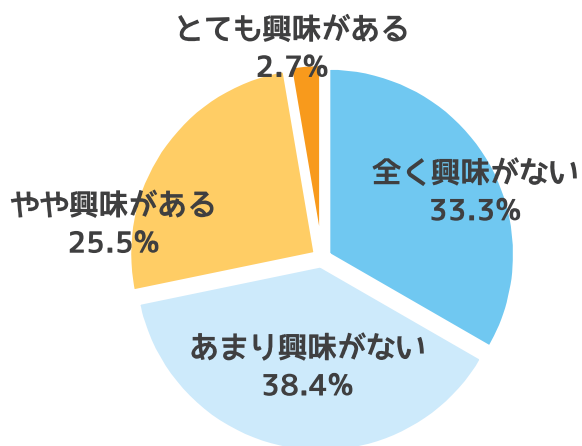


図41.WMGへの興味関心

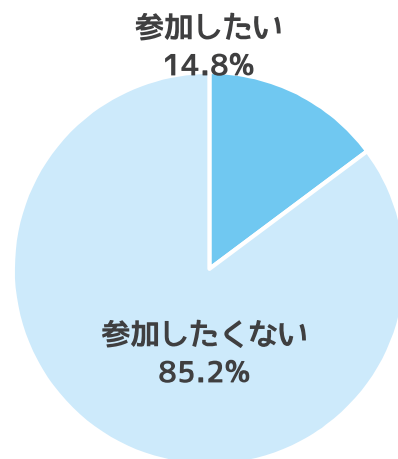


図42.WMGへの参加意欲

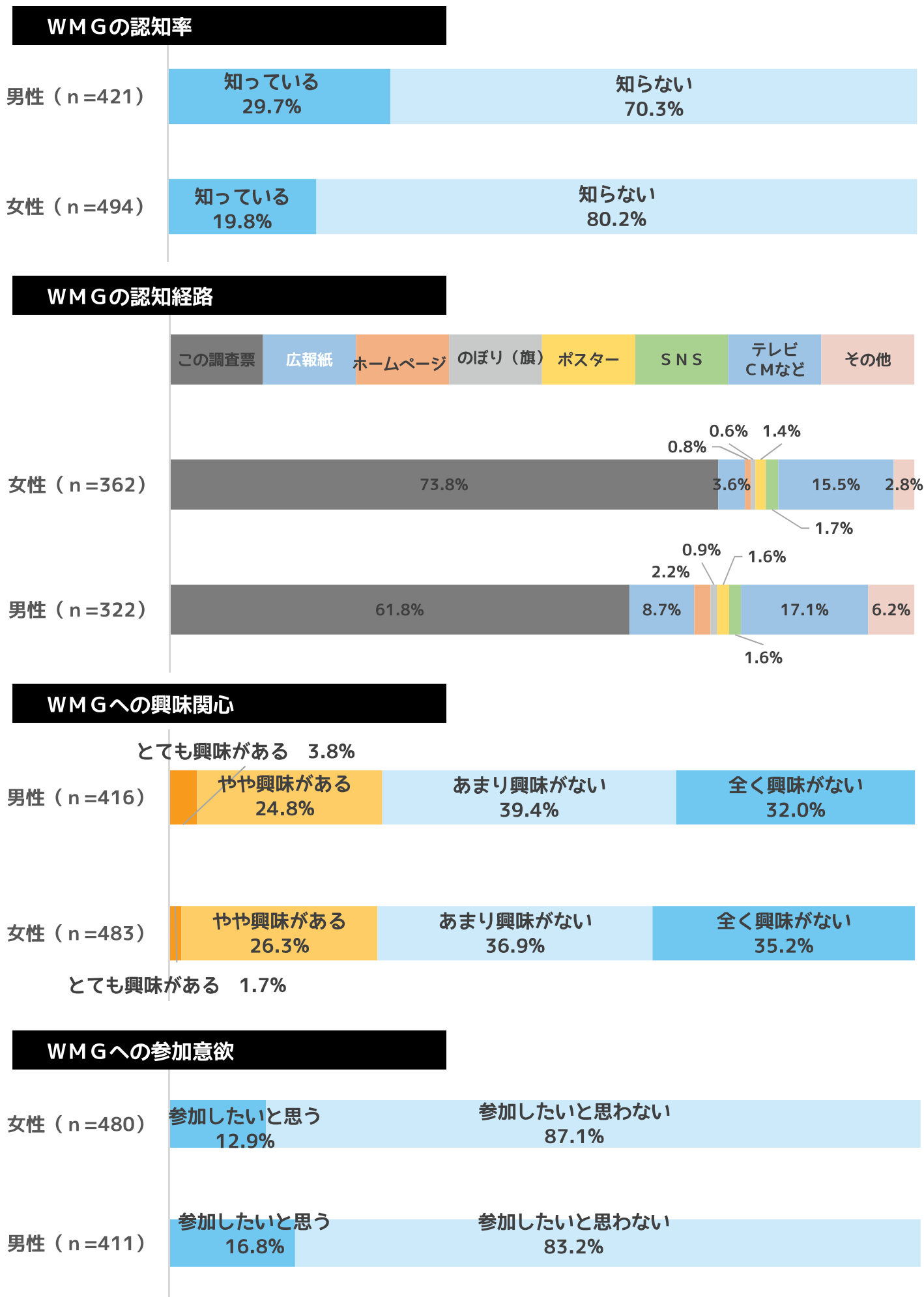


図43. 男女別・WMGの認知・態度

19. 自治体に力を入れて欲しいこと

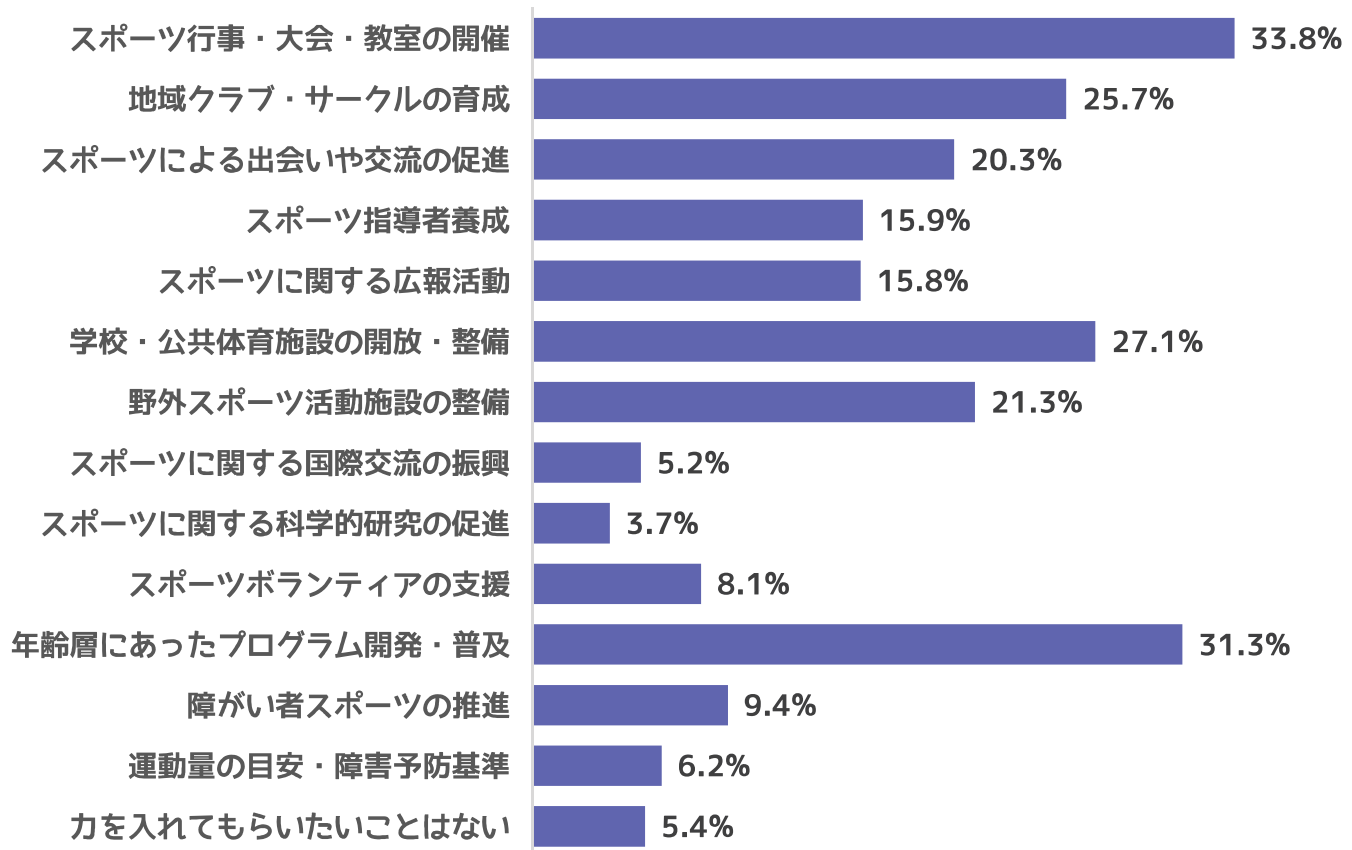


図44. 自治体に力を入れてほしいこと〔複数回答可〕（n=859）

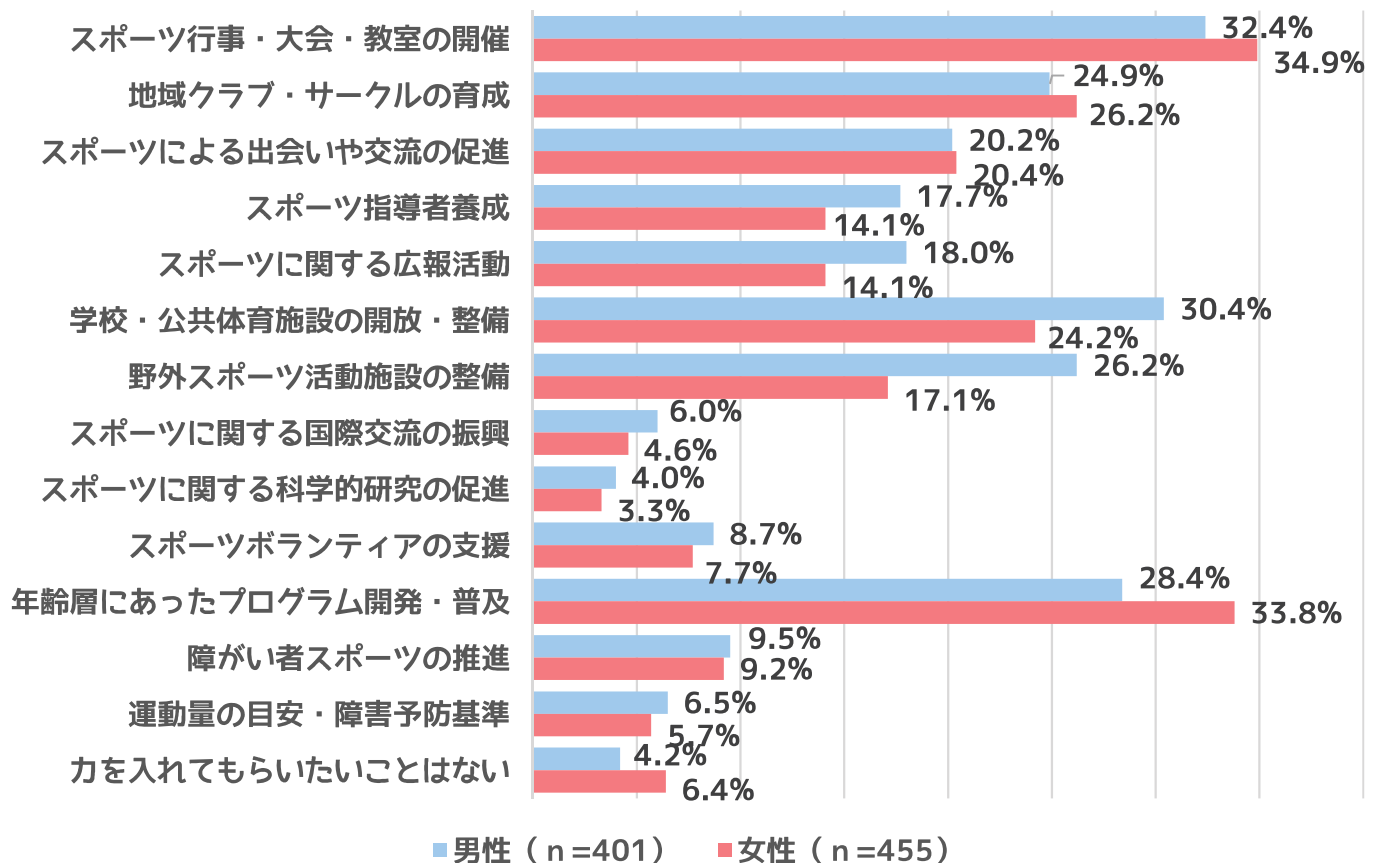
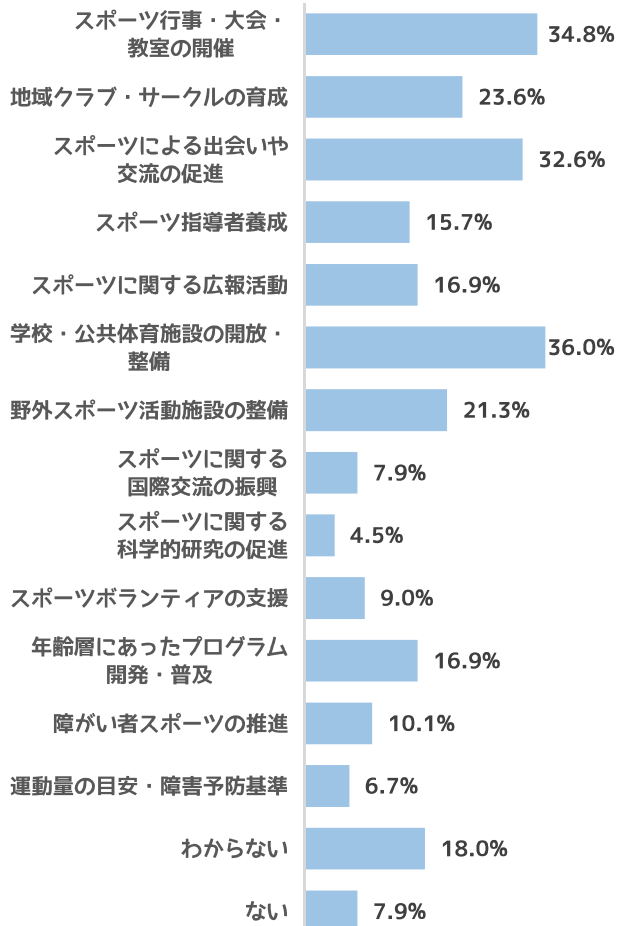
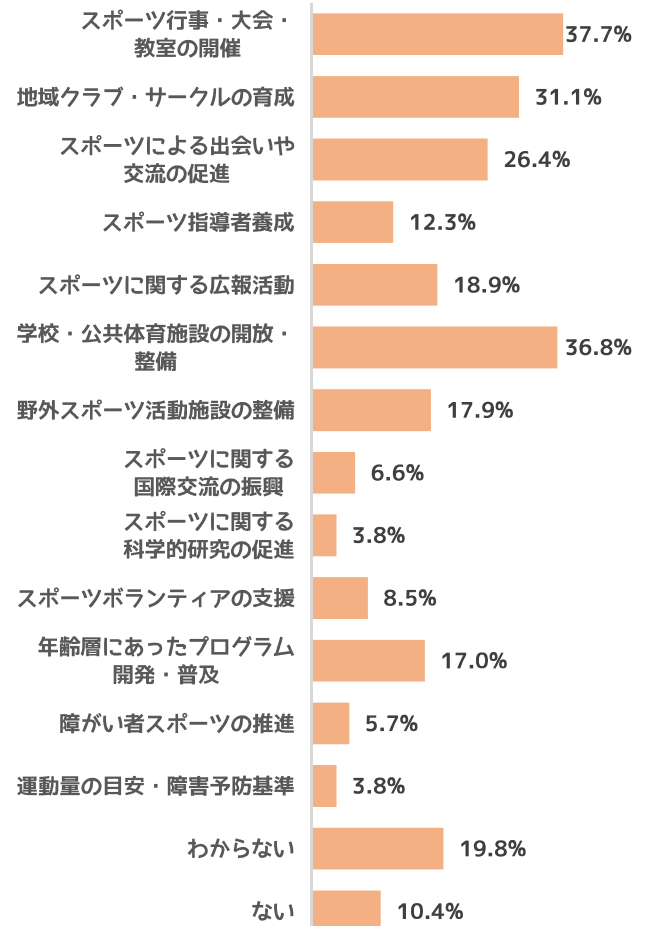


図45. 男女別・自治体に力を入れてほしいこと〔複数回答可〕

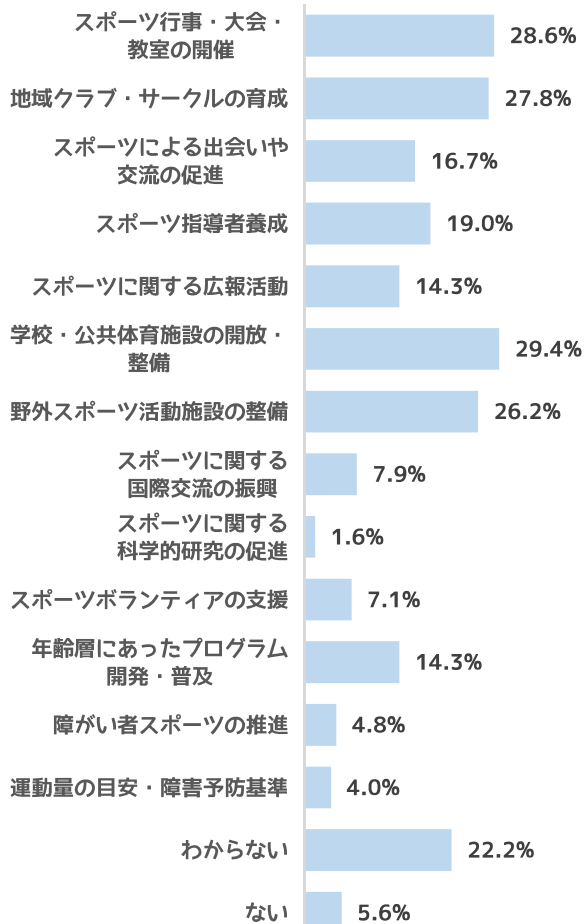
20歳代 (n=89)



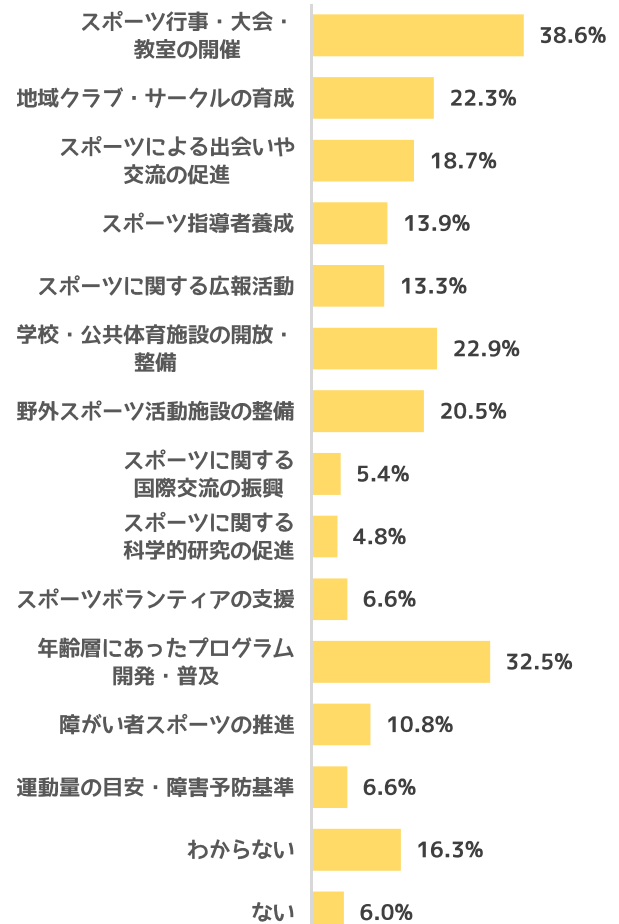
30歳代 (n=106)



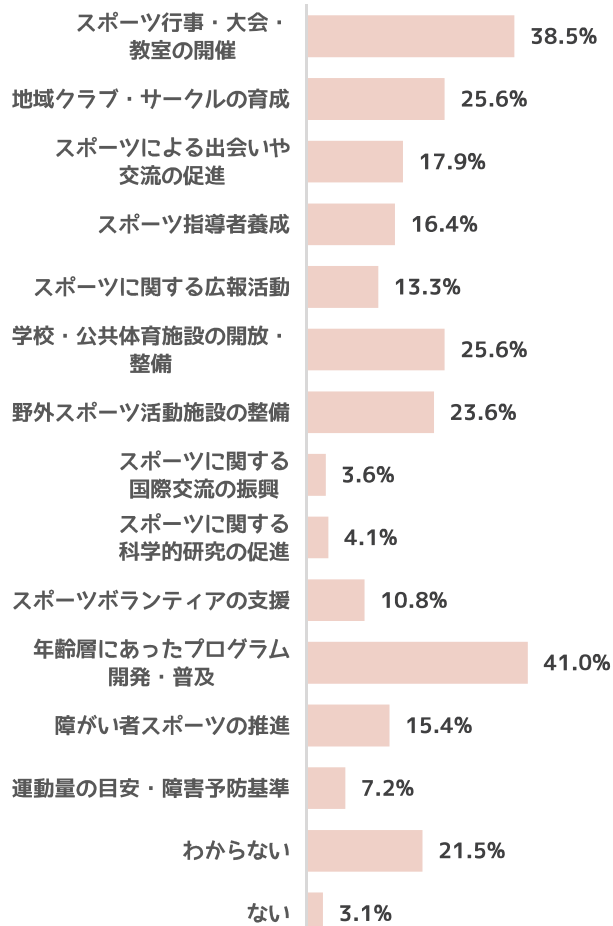
40歳代 (n=126)



50歳代 (n=166)



60歳代 (n=195)



70歳以上 (n=174)

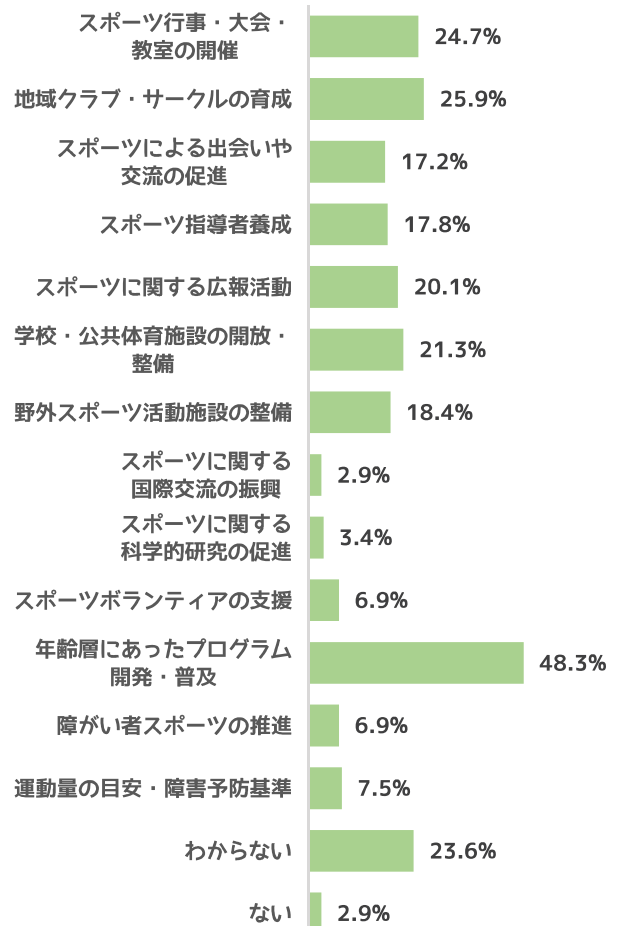


図46. 年代別・自治体に力を入れてほしいこと〔複数回答可〕

自治体に力を入れて欲しいことを複数回答で答えてもらい、全体、男女別、年代別に示した（図44～46）。全体として、力を入れて欲しいと思っていることは、スポーツ行事・大会・教室の開催、学校・公共体育施設の開放・整備、年齢層にあったプログラムの開発・普及の3つであった。学校・公共体育施設の開放は、男性を中心に要望が多く、年齢層にあったプログラムの開発・普及は、女性を中心に、50歳代以上になると顕著になっていく。一方でスポーツ行事・大会・教室の開催への要望は、性別、年代に関わらず、全体的に高いことがうかがえる結果となり、より一層の充実を図ることが期待されるだろう。

上記3つに次いで回答が多かった地域クラブ・サークルの育成は、次年度よりスタートする運動部活動の地域移行を鑑みると、非常に重要なものとなることが考えられ、育成・整備が必要不可欠なものと判断できる。

20. 「和歌山県らしい」運動・スポーツ種目

表2. 「和歌山県らしい」運動・スポーツ種目（自由記述式・2票以上を抜粋）

	種目名	出現数
球技・チーム スポーツ系種目	野球	128
	高校野球	27
	サッカー	9
	ゴルフ	9
	テニス	8
	グラウンドゴルフ	5
	バスケットボール	4
	バレーボール	3
	ソフトボール	3
	パークゴルフ	3
ウォーキング・ ランニング系種目	ハイキング・登山	63
	サイクリング・自転車	47
	ウォーキング	30
	マラソン	23
	ランニング・ジョギング	8
	トライアスロン	8
	駅伝	5
	トレイルランニング	4
	陸上競技	3
	水泳	13
	体操	4
マリンスポーツ系種目	サーフィン	21
	ヨット	20
	釣り	18
	カヌー	17
	スクーバダイビング	9
	海水浴	3
	水上バイク	2
	その他マリンスポーツ	29
アウトドア系種目	キャンプ	9
	熊野古道を歩く	3
	山岳スポーツ	2
	パラグライダー	2
武道系種目	合気道	10
	相撲	8
	弓道	3
	剣道	3
	柔道	3
	なぎなた	2
スケートスポーツ系種目	スケートボード	6
その他		2

「和歌山県らしい」スポーツを自由記述方式で回答してもらった結果、表2のような結果となった。昨年調査と比べるとウォーキング・ランニング系種目とマリンスポーツ系種目の回答が増加した結果となったが、それぞれの種目系統の中に、和歌山で「強い」、「発祥」、特有の「自然」環境、「観光」スポットなどの「和歌山らしい」種目名が見受けられた。

【資料：調査票】

和歌山県民のスポーツ生活に関するアンケート

アンケートのお願い

皆様には、日頃から県政にご協力いただき、ありがとうございます。

「和歌山県民のスポーツ生活に関するアンケート」は、皆様が日常生活でどのような意見をお持ちかをおうかがいするもので、調査結果は和歌山県の今後のスポーツ振興施策に役立てるための基礎資料とさせていただきます。

ご回答いただく方は、県内にお住まいの 20 歳代から 70 歳代までの方から、各世代男女併せて 2,400 人を市町村の住民基本台帳から無作為に選ばせていただきました。

皆様のご意見は、個人が特定されないよう全体を集計して統計的に処理します。また、回答内容や個人情報が入りの目的以外に使用されたり、外部に漏れたりすることはありません。

お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご記入にあたってのお願い

- 1 この調査は個人を対象としていますので、あて名の方ご自身が記入してください。
- 2 回答は、問 1 から順に、質問ごとに用意した回答の中から、あなた自身にあてはまる番号に○印をつけていただくか、ご意見を記入してください。「その他」にあてはまる場合には、（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- 3 質問によっては、ある条件に該当する方だけにご回答いただくものがありますが、その場合は説明がありますので、指示にしたがってお答えください。
- 4 記入が終わりましたら、アンケート用紙を同封の返信用封筒に入れて、11月30日（水）までに切手を貼らずにご投函ください。（アンケート用紙、返信用封筒には、お名前、ご住所を書いていただく必要はありません）

＜この調査についてのお問い合わせ先＞

和歌山県教育庁生涯学習局スポーツ課

〒640-8585 和歌山市小松原通 1-1

電話：073-441-3753 FAX：073-423-1660

問 1 あなたは、以下のスポーツの楽しみ方について、どの程度興味がありますか。それぞれの項目であてはまる番号に○をつけてください。

	まったく 興味がない	あまり 興味がない	やや 興味がある	とても 興味がある
a) スポーツを「する」 (実際にスポーツを実施する)	1	2	3	4
b) スポーツを「みる」 (スポーツの観戦、応援等)	1	2	3	4
c) スポーツを「ささえる」 (スポーツボランティア、誰かがしている スポーツのサポート)	1	2	3	4

問2 過去1年間に運動・スポーツ(学校の授業は除きますが、学校や職場でのクラブ活動は含む)を行いましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。一度でも行ったものがあれば、○をつけてください。一度も行わなかった人は、「(99) この1年間に運動・スポーツは行わなかった」に○をつけてください。

※おうちで行った運動・スポーツがある場合は、「(1) おうちエクササイズ」に○をつけ、さらに具体的な運動・スポーツにも○をつけてください。

(1) おうちエクササイズ	(2) ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き含む)
(3) 登山・ハイキング	(4) ランニング・ジョギング
(5) サイクリング・自転車(BMX 含む)	(6) 体操(ラジオ体操、ストレッチなど)
(7) 筋力トレーニング	(8) ヨガ・エアロビクス
(9) 体操競技(器械体操・美容体操など)	(10) なわとび
(11) 水泳(競泳、水球など)	(12) アクアエクササイズ(水中歩行など)
(13) 海水浴	(14) 釣り
(15) ボウリング	(16) ゴルフ(コース)
(17) ゴルフ(練習場)	(18) グラウンドゴルフ
(19) ゲートボール	(20) キャッチボール
(21) 野球(硬式・軟式など)	(22) ソフトボール
(23) バレーボール・ソフトバレーボール	(24) バスケットボール
(25) ハンドボール	(26) バドミントン
(27) インディアカ	(28) テニス・ソフトテニス
(29) 卓球	(30) スキー
(31) スノーボード	(32) アイススケート・アイスホッケー
(33) サッカー	(34) フットサル
(35) インラインスケート・ローラースケート	(36) スケートボード
(37) カヌー	(38) ボート・漕艇
(39) ヨット	(40) ボードセーリング(ウインドサーフィン)
(41) サーフィン	(42) 水上バイク(ジェットスキーなど)
(43) スクーバダイビング	(44) キャンプ
(45) 乗馬	(46) ダンス
(47) 柔道	(48) 剣道・居合道・なぎなた・銃剣道
(49) 空手	(50) 太極拳・テコンドー・合気道
(51) ボクシング	(52) ラグビー
(53) フライングディスク(フリスビー)	(54) 陸上競技
(55) ロードレース(駅伝・マラソン)	(56) 綱引
(57) その他()	(58) わからない
(99) この1年間に運動・スポーツは行わなかった	

※(2) ウォーキングは、通勤や買い物等で1 km 以上歩いた場合を含む

※(5) サイクリングは、通勤や買い物等で2 km 以上自転車に乗った場合を含む

**問3 過去1年間に運動・スポーツを実施した日数を全部合わせると、何日くらいになりますか。
あてはまる番号に○をつけてください。**

- | | |
|------------------------|------------------------|
| (1) 週に5日以上(年251日以上) | (2) 週に3日以上(年151日～250日) |
| (3) 週に2日以上(年101日～150日) | (4) 週に1日以上(年51日～100日) |
| (5) 月に1～3日(年12日～50日) | (6) 3ヶ月に1～2日(年4日～11日) |
| (7) 年に1～3日 | (8) 全くしなかった → 問6へ |

○和歌山県では、成人の週1回以上のスポーツ実施率に係る目標を、以下のとおり設定しています。

- ・和歌山県スポーツ推進計画(平成30年4月) R4目標値：65% ※R3時点の実施率 52.2%
- ・和歌山県長期総合計画(平成29年4月) R8目標値：70%

問4 問2で答えた、過去1年間に実施した運動・スポーツのうち、①あなた自身にとって最も重要な種目を1つお知らせください。また、その種目を主に、②どこで、③誰と実施しましたか。①～③のそれぞれの項目について、下に記入してください。

①最も重要な種目	②その種目を主にどこで	③その種目を主に誰と
(問2の番号で記入)		

問5 問4で答えた種目を行う理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その他に理由がある人は、「(10) その他」に具体的に記入してください

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| (1) 健康の回復・維持・増進のため | (2) 体力の回復・維持・向上のため |
| (3) 体型の維持・改善のため | (4) 趣味や娯楽(趣味としての楽しみ)のため |
| (5) 社交や家族との交流のため | (6) 旅行や観光のため |
| (7) 技術向上・達成のため | (8) 記録挑戦や目標達成のため |
| (9) 競技や試合参加のため | (10) その他 () |

【問3で過去1年間に運動・スポーツを「(8) 全くしなかった」と答えた人がお答えください】

問6 過去1年間に、運動・スポーツを行わなかったのはどのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その他に理由がある人は、「(10) その他」に具体的に記入してください

- | | |
|--------------------------|----------------|
| (1) 仕事や家事、育児が忙しくて時間がないから | (2) 身体が弱いから |
| (3) 年をとったから | (4) 体力に自信がないから |
| (5) 場所や施設がないから | (6) 仲間がいないから |
| (7) 指導者がいないから | (8) お金がかかるから |
| (9) 運動・スポーツが好きではないから | |
| (10) その他 () | |

問7 今後、行いたいと思う運動・スポーツ（現在行っている運動・スポーツも含む）がありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。今後、行いたいと思う種目がない人は、「(99) 今後、行いたいと思う運動・スポーツはない」に○をつけてください。

(1) おうちエクササイズ	(2) ウォーキング（散歩・ぶらぶら歩き含む）
(3) 登山・ハイキング	(4) ランニング・ジョギング
(5) サイクリング・自転車（BMX 含む）	(6) 体操（ラジオ体操、ストレッチなど）
(7) 筋力トレーニング	(8) ヨガ・エアロビクス
(9) 体操競技（器械体操・美容体操など）	(10) なわとび
(11) 水泳（競泳、水球など）	(12) アクアエクササイズ（水中歩行など）
(13) 海水浴	(14) 釣り
(15) ボウリング	(16) ゴルフ（コース）
(17) ゴルフ（練習場）	(18) グラウンドゴルフ
(19) ゲートボール	(20) キャッチボール
(21) 野球（硬式・軟式など）	(22) ソフトボール
(23) バレーボール・ソフトバレーボール	(24) バスケットボール
(25) ハンドボール	(26) バドミントン
(27) インディアカ	(28) テニス・ソフトテニス
(29) 卓球	(30) スキー
(31) スノーボード	(32) アイススケート・アイスホッケー
(33) サッカー	(34) フットサル
(35) インラインスケート・ローラースケート	(36) スケートボード
(37) カヌー	(38) ボート・漕艇
(39) ヨット	(40) ボードセーリング（ウインドサーフィン）
(41) サーフィン	(42) 水上バイク（ジェットスキーなど）
(43) スクーバダイビング	(44) キャンプ
(45) 乗馬	(46) ダンス
(47) 柔道	(48) 剣道・居合道・なぎなた・銃剣道
(49) 空手	(50) 太極拳・テコンドー・合気道
(51) ボクシング	(52) ラグビー
(53) フライングディスク（フリスビー）	(54) 陸上競技
(55) ロードレース（駅伝・マラソン）	(56) 綱引
(57) その他（ ）	(58) わからない
(99) 今後、行いたいと思う運動・スポーツはない	

※（2）ウォーキングは、通勤や買い物等で1 km 以上歩く場合を含む

※（5）サイクリングは、通勤や買い物等で2 km 以上自転車に乗る場合を含む

問 8 問 7 で答えた、今後行いたいと思う運動・スポーツのうち、①最も行ってみたい種目を 1 つお知らせください。また、その種目を主に、②どこで、③誰と行ってみたいですか。①～③のそれぞれの項目について、下に記入してください。

①最も行ってみたい種目	②その種目を主にどこで	③その種目を主に誰と
(問 7 の番号で記入)		

問 9 問 8 で答えた種目を今後行ってみたい理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その他に理由がある人は、「(10) その他」に具体的に記入してください

(1) 健康の回復・維持・増進のため	(2) 体力の回復・維持・向上のため
(3) 体型の維持・改善のため	(4) 趣味や娯楽(趣味としての楽しみ)のため
(5) 社交や家族との交流のため	(6) 旅行や観光のため
(7) 技術向上・達成のため	(8) 記録挑戦や目標達成のため
(9) 競技や試合参加のため	(10) その他 ()

問 10 現在、スポーツクラブやクラブチーム、同好会に加入していますか。あてはまる番号に○をつけてください。また、「(1) 加入している」を選んだ人は、加入しているスポーツクラブやクラブチーム、同好会名を記入してください。

(1) 加入している	(2) 加入していない
<加入しているスポーツクラブやクラブチーム、同好会名>	

問 11 過去 1 年間に競技場やグラウンドなどで、直接観戦をした種目はありますか。直接観戦をした種目の番号すべてに○をつけてください。直接観戦した種目がない人は、「(99) 直接観戦をした種目はない」に○をつけてください。

(1) プロ野球 (N P B、メジャーリーグ含む)	(2) 高校野球
(3) その他野球、ソフトボール	(4) サッカー日本代表
(5) Jリーグ (J 1、J 2、J 3)	(6) 海外サッカー
(7) その他サッカー	(8) フットサル
(9) ラグビー (リーグワン、大学・高校ラグビー、海外ラグビー含む)	
(10) アメリカンフットボール (N F L 含む)	(11) バレーボール (Vリーグ、日本代表含む)
(12) バスケットボール (Bリーグ、N B A 含む)	(13) 大相撲
(14) テニス	(15) バドミントン
(16) ゴルフ	(17) 体操・新体操
(18) 水泳 (競泳、水球、飛び込み等)	(19) マラソン・駅伝
(20) 陸上競技	
(21) 武道 (柔道・剣道・空手)・格闘技・ボクシング・レスリング	
(22) 自転車競技 (競輪を除く)・スケートボード・インラインスケート等	
(23) ヨット・ボート・カヌー・サーフィン等のマリンスポーツ (競艇を除く)	
(24) スキー (アルペン、フリースタイル、ジャンプ、クロスカントリー他)・スノーボード	
(25) フィギュアスケート・スピードスケート・アイスホッケー	
(26) その他 ()	
(99) 直接観戦をした種目はない	

問 12 今後、直接観戦をしてみたい種目は何ですか。①どの種目を、②どこで、③誰と直接観戦してみたいか、①～③のそれぞれの項目について、下にご記入ください。直接観戦をしてみたい種目がない人は、記入の必要はありません。問 13 へお進みください。

①直接観戦をしてみたい種目 (問 11 の番号で記入)	②その種目を主にどこで	③その種目を主に誰と

問 13 過去1年間にテレビやインターネットで試合等の観戦をした種目は何ですか。観戦をした種目の番号すべてに○をつけてください。観戦をした種目がない人は、「(99) テレビやインターネットで観戦をした種目はない」に○をつけてください。

- | | |
|--|--------------------------|
| (1) プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む） | (2) 高校野球 |
| (3) その他野球、ソフトボール | (4) サッカー日本代表 |
| (5) Jリーグ（J1、J2、J3） | (6) 海外サッカー |
| (7) その他サッカー | (8) フットサル |
| (9) ラグビー（リーグワン、大学・高校ラグビー、海外ラグビー含む） | |
| (10) アメリカンフットボール（NFL含む） | (11) バレーボール（Vリーグ、日本代表含む） |
| (12) バスケットボール（Bリーグ、NBA含む） | (13) 大相撲 |
| (14) テニス | (15) バドミントン |
| (16) ゴルフ | (17) 体操・新体操 |
| (18) 水泳（競泳、水球、飛び込み等） | (19) マラソン・駅伝 |
| (20) 陸上競技 | |
| (21) 武道（柔道・剣道・空手）・格闘技・ボクシング・レスリング | |
| (22) 自転車競技（競輪を除く）・スケートボード・インラインスケート等 | |
| (23) ヨット・ボート・カヌー・サーフィン等のマリンスポーツ（競艇を除く） | |
| (24) スキー（アルペン、フリースタイル、ジャンプ、クロスカントリー他）・スノーボード | |
| (25) フィギュアスケート・スピードスケート・アイスホッケー | |
| (26) その他（ ） | |
| (99) テレビやインターネットで観戦をした種目はない | |

問 14 過去1年間に運動・スポーツに関する情報をどこから得ましたか。情報を得た項目の番号すべてに○をつけてください。情報を得ていない人は、「(10) 情報を得ていない」に○をつけてください。

- | | | |
|---------------|---------------|------------------|
| (1) 新聞 | (2) 雑誌 | (3) テレビ（ニュース番組等） |
| (4) ネットニュース | (5) YouTube | (6) Twitter |
| (7) Facebook | (8) Instagram | (9) その他 |
| (10) 情報を得ていない | | |

問 15 今後、運動・スポーツに関する情報をどこから得たいですか。情報を得たい項目の番号すべてに○をつけてください。情報を得たいと思わない人は、「(10) 情報を得たいと思わない」に○をつけてください。

- | | | |
|------------------|---------------|------------------|
| (1) 新聞 | (2) 雑誌 | (3) テレビ（ニュース番組等） |
| (4) ネットニュース | (5) YouTube | (6) Twitter |
| (7) Facebook | (8) Instagram | (9) その他 |
| (10) 情報を得たいと思わない | | |

問 16 過去1年間に何らかのスポーツにかかわるボランティア活動を行ったことがありますか。
 行ったボランティア活動の番号すべてに○をつけてください。ボランティア活動を行っていない人は、「(8) ボランティア活動を行わなかった」に○をつけてください。

※ここでいうボランティア活動とは、報酬を目的としないで、自分の労力・技術・時間を提供して地域社会や個人・団体のスポーツ推進のために行う活動のことを意味します。ただし、活動に必要な交通費等、実費程度の金額の受け取りは報酬に含めません。

- | | |
|--|-------------------|
| (1) 運動・スポーツの指導 | (2) スポーツの審判 |
| (3) 自身やご家族が所属する団体やスポーツクラブでの補助的な活動
(参加者の送迎、参加者の飲料や弁当の準備、役員や会計係等) | |
| (4) 団体・スポーツクラブの運営やお世話 | (5) スポーツ施設の管理の手伝い |
| (6) 大会・イベントの運営やお世話 | |
| (7) その他 (|) |
| (8) ボランティア活動を行わなかった | |

問 17 今後、スポーツにかかわるボランティア活動を行いたいと思いますか。それぞれのボランティア活動の種類ごとであなたの思いにあてはまる番号にそれぞれ1つずつ○をつけてください。

ボランティア活動の種類	今後ボランティア活動を行いたいと思いますか。(○は1つ)
a) 運動・スポーツの指導	(1) まったく行いたくない (2) あまり行いたくない (3) できれば行いたい (4) ぜひ行いたい (5) わからない
b) スポーツの審判	(1) まったく行いたくない (2) あまり行いたくない (3) できれば行いたい (4) ぜひ行いたい (5) わからない
c) 自身やご家族が所属する団体やスポーツクラブでの補助的な活動	(1) まったく行いたくない (2) あまり行いたくない (3) できれば行いたい (4) ぜひ行いたい (5) わからない
d) 団体・スポーツクラブの運営やお世話	(1) まったく行いたくない (2) あまり行いたくない (3) できれば行いたい (4) ぜひ行いたい (5) わからない
e) スポーツ施設の管理の手伝い	(1) まったく行いたくない (2) あまり行いたくない (3) できれば行いたい (4) ぜひ行いたい (5) わからない
f) 大会・イベントの運営やお世話	(1) まったく行いたくない (2) あまり行いたくない (3) できれば行いたい (4) ぜひ行いたい (5) わからない

問 18 「ワールドマスターズゲームズ (WMG)」という言葉を知ったことがありますか。
あてはまる番号に○をつけてください。

- (1) はい (2) いいえ

※ワールドマスターズゲームズ (WMG) とは・・・	(QR コード)	(WMG ロゴマーク)
国際マスターズゲームズ協会 (IMGA) が4年ごとに主宰する、概ね 30歳以上のスポーツ愛好者であれば誰もが参加できる生涯スポーツ の国際総合競技大会です。 選手その他、監督・コーチ、ボランティアとして参加できます！ WMG に関する情報は WMG 和歌山県実行委員会のホームページや SNS (Facebook、Twitter、Instagram) に掲載していますので、是非 ご覧ください！		

問 19 「ワールドマスターズゲームズ (WMG)」という言葉を知った方法をどのような方法で知りましたか。
あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- (1) この調査票で知った (2) 広報紙 (3) ホームページ
 (4) のぼり (旗) (5) ポスター (6) SNS
 (7) テレビ (CM など) (8) その他 ()

問 20 2027年(令和9年)に開催が決定した、関西各地域で開催される「ワールドマスターズゲームズ関西」に対して、興味や関心がありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- (1) とても興味がある (2) やや興味がある
 (3) あまり興味がない (4) まったく興味がない

問 21 「ワールドマスターズゲームズ関西」に参加したいと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。また、「(2) 参加したいと思わない」と回答した人は、その理由をご記入ください。

- (1) 参加したいと思う (2) 参加したいと思わない

【参加したいと思わない理由 (記述)】

問 22 問 21 で「(1) 参加したいと思う」と回答した人は、どのような立場で参加したいですか。
参加したいと思う立場にあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|--------------------|
| (1) 競技出場者（選手） | (2) 競技関係者（監督・コーチ等） |
| (3) ボランティア | |

問 23 スポーツをもっと振興させるために、県や市町村に今後どのようなことに力を入れてもらいたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。項目にない場合や具体的に記入いただける場合は、「(16) その他」にご記入ください。

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------|
| (1) 各種スポーツ行事・大会・教室の開催 | (2) 地域のクラブやサークルの育成 |
| (3) スポーツによる出会いや交流の促進 | (4) スポーツ指導者の養成 |
| (5) スポーツに関する広報活動 | (6) 学校体育施設・公共スポーツ施設の開放・整備 |
| (7) 野外スポーツ活動施設の整備 | (8) スポーツに関する国際交流の振興 |
| (9) スポーツに関する科学的研究の促進 | (10) スポーツボランティアの支援 |
| (11) 年齢層にあったスポーツ・レクリエーションプログラムの開発・普及 | |
| (12) 障害者のスポーツ・レクリエーション活動の推進 | |
| (13) 運動量の目安となる指針・外傷・障害の防止 | |
| (14) わからない | |
| (15) 力を入れてもらいたいと思うことはない | |
| (16) その他（具体的に： | ） |

問 24 あなたの思う、「和歌山県らしい運動・スポーツ」は何ですか。また、なぜその運動・スポーツだと思いましたか。簡単に理由をお答えください。

<運動・スポーツ名>

<理由>

【あなたご自身のことについてお聞きします。すべての人がお答えください。】

問 25 性別の番号に○をつけてください。

(1) 男性	(2) 女性
--------	--------

問 26 現在の年齢を記入してください。

() 歳

問 27 主な職業はこの中のどれに当たりますか。あてはまる職種番号に○をつけてください。

<自営業者>

- (1) 専門・技術職（開業医、弁護士事務所経営者など）
- (2) 事務職
- (3) 販売・サービス・保安職（小売店、飲食店、理髪店など）
- (4) 農林漁業職（植木職、造園師を含む）
- (5) 生産・運輸・建設・労務職（個人タクシー、工務店経営など）
- (6) その他（ ）

<家族従業者>

- (7) 家族従業者（家族が経営する事業の手伝い）

<勤め人（被雇用者）>

- (8) 管理職（官庁・会社の課長以上）
- (9) 専門・技術職（教員、技術者、研究者、弁護士、病院勤務医師など）
- (10) 事務職（事務系会社員・公務員、営業職など）
- (11) 販売・サービス・保安職（販売店の店員、ウェイター、守衛、インストラクターなど）
- (12) 農林漁業職（植木職、造園師を含む）
- (13) 生産・輸送・建設・労務職（工場勤務、運転手など）
- (14) その他（ ）

<その他>

- (15) 主婦・主夫
- (16) 学生
- (17) 無職
- (18) その他（ ）
- (19) 答えたくない

問 28 現在お住まいの地域の番号に○をつけてください。

(1) 和歌山市	(2) 海南市	(3) 橋本市	(4) 有田市	(5) 御坊市
(6) 田辺市	(7) 新宮市	(8) 紀の川市	(9) 岩出市	(10) 紀美野町
(11) かつらぎ町	(12) 九度山町	(13) 高野町	(14) 湯浅町	(15) 広川町
(16) 有田川町	(17) 美浜町	(18) 日高町	(19) 由良町	(20) 印南町
(21) みなべ町	(22) 日高川町	(23) 白浜町	(24) 上富田町	(25) すさみ町
(26) 那智勝浦町	(27) 太地町	(28) 古座川町	(29) 北山村	(30) 串本町

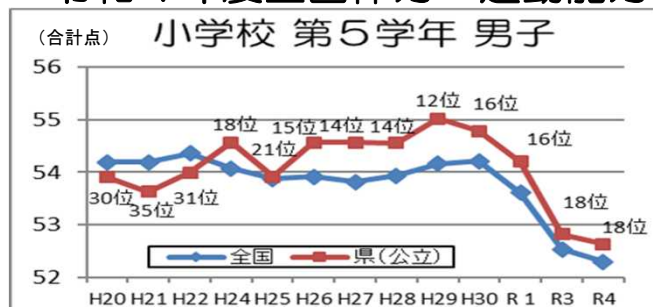
問 29 現在一緒に住んでいるご家族全員に○をつけてください。

(1) 父	(2) 母	(3) 配偶者	(4) 子供 (人)
(5) 祖父	(6) 祖母	(7) 兄弟姉妹 (人)	
(8) 孫 (人)	(9) 1人暮らし	(10) その他 (人)	

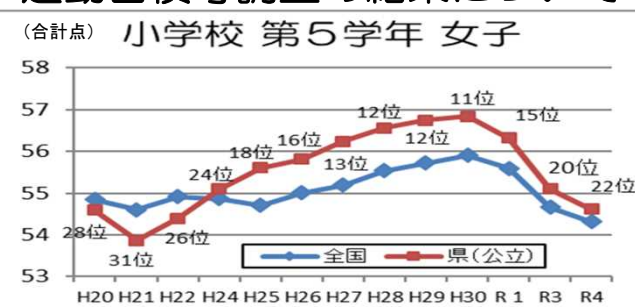
以上で、すべての質問が終了です。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

お手数ですが、この調査票は、ご記入漏れのないようご確認の上、同封の「返信用封筒」に入れて
令和4年11月30日（水）までにご投函くださいますようお願い申し上げます。

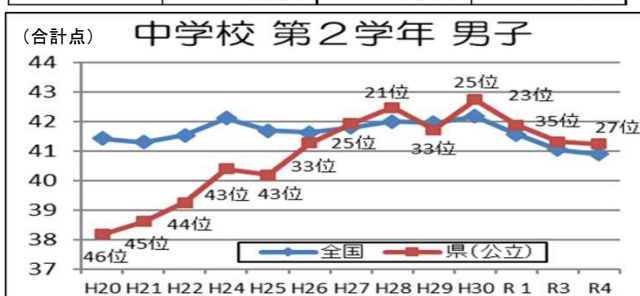
令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について



小学校 5年 男子	体力合計点 (平均)		
	全国	県(公立)	合計点差
H20	54.19	53.90	-0.29
H21	54.19	53.63	-0.56
H22	54.36	53.99	-0.37
H24	54.07	54.57	+0.50
H25	53.87	53.91	+0.04
H26	53.91	54.57	+0.66
H27	53.81	54.57	+0.76
H28	53.93	54.56	+0.63
H29	54.16	55.02	+0.86
H30	54.21	54.78	+0.57
R1	53.61	54.20	+0.59
R3	52.53	52.82	+0.29
R4	52.29	52.63	+0.34



小学校 5年 女子	体力合計点 (平均)		
	全国	県(公立)	合計点差
H20	54.85	54.59	-0.26
H21	54.60	53.87	-0.73
H22	54.91	54.39	-0.52
H24	54.87	55.10	+0.23
H25	54.71	55.60	+0.89
H26	55.01	55.81	+0.80
H27	55.19	56.24	+1.05
H28	55.54	56.56	+1.02
H29	55.72	56.74	+1.02
H30	55.90	56.84	+0.94
R1	55.59	56.32	+0.73
R3	54.66	55.10	+0.34
R4	54.32	54.61	+0.29



中学校 2年 男子	体力合計点 (平均)		
	全国	県(公立)	合計点差
H20	41.42	38.17	-3.25
H21	41.30	38.61	-2.69
H22	41.54	39.25	-2.29
H24	42.11	40.40	-1.71
H25	41.69	40.19	-1.50
H26	41.63	41.27	-0.36
H27	41.80	41.92	+0.12
H28	42.00	42.47	+0.47
H29	41.96	41.72	-0.24
H30	42.18	42.74	+0.56
R1	41.56	41.88	+0.32
R3	41.05	41.32	+0.27
R4	40.90	41.23	+0.33



中学校 2年 女子	体力合計点 (平均)		
	全国	県(公立)	合計点差
H20	48.29	44.94	-3.35
H21	47.87	44.74	-3.13
H22	47.99	46.08	-1.91
H24	48.62	47.49	-1.13
H25	48.31	47.03	-1.28
H26	48.55	47.60	-0.95
H27	48.96	49.24	+0.28
H28	49.41	49.84	+0.43
H29	49.80	49.75	-0.05
H30	50.43	50.93	+0.50
R1	50.03	51.04	+1.01
R3	48.41	49.23	+0.82
R4	47.28	47.47	+0.19

☆これまでの取組

※平成23年度は東日本大震災のため中止
 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

本県では、体力（生きる力の源）の重要性を認識し、平成20年度から、小学生から高校生まですべての学年で体力テストを実施！

1. 学校体育の充実
 - 紀州っ子体力アッププランの作成・実践（授業改善）
 - 小・中学校訪問指導 ○各種研修会の開催
 - 紀州っ子かがやきエクササイズ&ダンスの活用
2. 運動機会の拡大
 - きのくにチャレンジランキング ○運動部活動の適切な運営

☆課題と今後の取組

- 運動する子とそうでない子の二極化
- 小・中学校男女とも体力低下
- 小学生…スピード・瞬発力
- 中学生…スピード・瞬発力・筋力
- ・全身持久力

1. 各市町村・学校の「体力アッププラン」による着実な実践と検証を促進
2. 各市町村教育委員会を訪問し、課題解決への効果的な取組指導



「躍動の青い力 四国総体 2022」

—燃え上がれ 我らの闘志 四国の大地へ—

四国4県と和歌山県で開催

- 8位以内の入賞・・・・・・・・・・13競技 37種目（令和3年度…10競技 41種目）
- 8位以内に入賞した学校数・・・16校 （令和3年度…13校）
- トピックス
 - * ヨット競技の固定開催8年目が終了（令和16年度まで固定開催）

【団体の部】

順位	競技	種目	学校名	備考（記録等）
1位	ソフトテニス	（女子）団体	和歌山信愛高校	
3位	相撲	団体	箕島高校	
	少林寺拳法	（女子）団体演武	神島高校	
	空手道	（男子）団体	箕島高校	
5位	バレーボール	（男子）	開智高校	
	剣道	（男子）団体	和歌山東高校	
	ソフトテニス	（男子）団体	和歌山北高校	
	アーチェリー	（女子）団体	和歌山高校	
	ヨット	（男子）420級	和歌山工業高校	35点
8位	ヨット	（男子）コンバインド	和歌山工業高校	68点

【個人の部】

順位	競技	種目	学校名	学年	氏名	備考（記録等）
1 位	カヌー	(男子) カデ ィアツグ ル (200m)	神 島	3	濱本 子龍	45秒506
		(男子) カデ ィアツグ ル (500m)		3	濱本 子龍	2分4秒815
		(男子) カデ ィアツパ ー (500m)		3	中山 直大	1分57秒598
		2		吉田 朋矢		
	少林寺拳法	(女子) 単独演武	橋本	2	坂本 結衣	
2 位	陸上競技	(女子) 円盤投	紀央館	3	阪本 海月華	44m69
	アーチェリー	(女子) 個人	和歌山	3	矢渡 茜	639点
	カヌー	(男子) カデ ィアツパ ー (200m)	神島	3	中山 直大	43秒995
				2	吉田 朋矢	
3 位	陸上競技	(女子) 走高跳	近大和歌山	2	前西 咲良	1m70
	少林寺拳法	(女子) 組演武	神島	3	高松 乃愛	
				3	小西 杏奈	
	レスリング	(男子) 5 5 k g 級	和歌山北	2	嶋川 潔生	
4 位	ウエイトリフティング	(男子) 7 3 k g 級スナッチ	紀北工業	3	木村 梁	101kg
		(男子) 7 3 k g 級クリーン&ジャーク		3	木村 梁	121kg
		(男子) 7 3 k g 級トータル		3	木村 梁	222kg
5 位	陸上競技	(女子) 七種競技	和歌山北	3	上野山 真白	4769点
	ソフトテニス	(女子) 個人	和歌山信愛	3	江口 咲礼紗	
				3	筒井 萌水	
	レスリング	(男子) 1 2 5 k g 級	和歌山北	1	松本 晃大	
6 位	ウエイトリフティング	(男子) 1 0 2 k g 級トータル	紀北農芸	2	畑上 晃汰	240kg
	競泳	(女子) 個人メドレー400m	橋本	3	三浦 彩花	4分50秒73
	少林寺拳法	(女子) 単独演武	南部	3	森澤 結芽	
		(男子) 組演武	神島	2	小嶋 智希	
				2	下野 大和	
	カヌー	(男子) カ ッパ ー (200m)	田辺工業	3	岩瀬 智哉	38秒936
2				濱本 琥丈郎		
7 位	陸上競技	(女子) 2 0 0 m	和歌山北	2	坂本 実南	24秒79
	ウエイトリフティング	(男子) 6 1 k g 級スナッチ	和歌山工業	3	前山 航磨	90kg
		(男子) 1 0 2 k g 級スナッチ	紀北農芸	2	畑上 晃汰	110kg
		(男子) 1 0 2 k g 級クリーン&ジャーク		2	畑上 晃汰	130kg
8 位	競泳	(女子) 5 0 m自由形	田辺	2	濱野 美海	26秒67
		(女子) 個人メドレー200m	橋本	3	三浦 彩花	2分19秒83

令和4年度全国高等学校総合体育大会 ヨット競技大会【報告】

開催期日 令和4年8月12日（金）～16日（火）

開催場所 和歌山セーリングセンター（和歌浦湾）

参加者 大会出場校 男子：50校 女子：40校 計：66校
（重複校は1校として算出）

選手 男子：198名 女子：121名 計：319名
監督・コーチ：112名

競技結果 男子コンバインド
1位 霞ヶ浦（茨城）
2位 逗子開成（神奈川）
3位 高松商業（香川）
8位 和歌山工業（和歌山）
28位 星林（和歌山）

女子コンバインド
1位 海津明誠（岐阜）
2位 光（山口）
3位 福岡第一（福岡）
11位 和歌山工業（和歌山）
12位 星林（和歌山）

男子420級
1位 光（山口）
2位 霞ヶ浦（茨城）
3位 霞ヶ浦（茨城）
5位 和歌山工業（和歌山）
23位 和歌山工業（和歌山）

女子420級
1位 霞ヶ浦（茨城）
2位 半田（愛知）
3位 海津明誠（岐阜）
9位 和歌山工業（和歌山）
16位 星林（和歌山）

男子レーザーラジアル級
1位 横須賀学院（神奈川）
2位 霞ヶ浦（茨城）
3位 霞ヶ浦（茨城）
10位 星林（和歌山）
13位 和歌山工業（和歌山）

女子レーザーラジアル級
1位 光（山口）
2位 七里ガ浜（神奈川）
3位 郁文館（東京）
17位 星林（和歌山）

観客 約850名

競技の様子



420級



レーザーラジアル級



表彰式

インターハイヨット競技大会

令和16年まで和歌山セーリングセンターで固定開催

【参考】全国高等学校総合体育大会（インターハイ）について

開催形態：平成23年度（北東北ブロック）からブロック開催（輪番制）

開催時期：7月下旬～8月下旬

実施競技：30競技

※今後の開催ブロック

令和4年度：四国

令和5年度：北海道

令和6年度：北部九州

令和7年度：中国

令和5年度全国高等学校総合体育大会 競技会場・競技日程

令和4年12月6日現在

[illegible]

令和4年12月

- 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要。
- 令和4年夏に取りまとめられた部活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で全面的に改定。これにより、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。
- 部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要。

※ **I は中学生**を主な対象とし、**高校生**も原則適用。**II～IVは公立中学校の生徒**を主な対象とし、高校や私学は実情に応じて取り組むことが望ましい。

I 学校部活動

教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合の適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す。

（主な内容）

- ・ 教師の部活動への関与について、法令等に基づき業務改善や勤務管理
- ・ 部活動指導員や外部指導者を確保
- ・ 心身の健康管理・事故防止の徹底、体罰・ハラスメントの根絶の徹底
- ・ 週当たり2日以上以上の休養日の設定（平日1日、週末1日）
- ・ 部活動に強制的に加入させることがないようにする
- ・ 地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、学校と地域が協働・融合した形で環境整備を進める

II 新たな地域クラブ活動

学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す。

（主な内容）

- ・ 地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実
- ・ 地域スポーツ・文化振興担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制の整備
- ・ 指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業
- ・ 競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向等に適したプログラムの確保
- ・ 休日のみ活動をする場合も、原則として1日の休養日を設定
- ・ 公共施設を地域クラブ活動で使用する際の負担軽減・円滑な利用促進
- ・ 困窮家庭への支援

III 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。

（主な内容）

- ・ まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進
- ・ 平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
- ・ ①市区町村が運営団体となる体制や、②地域の多様な運営団体が取り組む体制など、段階的な体制の整備を進める
※地域クラブ活動が困難な場合、合同部活動の導入や、部活動指導員等により機会を確保
- ・ 令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す
- ・ 都道府県及び市区町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知

IV 大会等の在り方の見直し

学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に応じた大会等の運営の在り方を示す。

（主な内容）

- ・ 大会参加資格を、地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直し
※日本中体連は令和5年度から大会への参加を承認、その着実な実施
- ・ できるだけ教師が引率しない体制の整備、運営に係る適正な人員確保
- ・ 全国大会の在り方の見直し（開催回数の精選、複数の活動を経験したい生徒等のニーズに対応した機会を設ける等）



2022年11月28日 18時

報道関係各位

公益財団法人 ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会

ワールドマスターズゲームズ 2021 関西 再延期後の会期および大会開催方針について(プレスリリース)

ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会は、IMGA(国際マスターズゲームズ協会)との開催地契約書(会期変更)が正式に締結されましたので、関西大会の再度延期に伴う会期および大会開催方針について以下のとおり、お知らせいたします。

I.大会開催方針

- (1) 大会名 ワールドマスターズゲームズ 2027 関西
- (2) 開催期間 2027年5月14日(金)～30日(日)(17日間)
- (3) 開催競技 公式競技 35競技 59種目、
- (4) 開催場所 福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市の13府県政令市
- (5) 目標参加者数 国内 30,000人、海外 20,000人
- (6) 主催 公益財団法人ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会
府県政令市実行委員会及び開催市町実行委員会
- (7) 共催 公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本パラスポーツ協会
- (8) 後援 スポーツ庁

II.今後の当面の取組み(機運醸成)

- (1) アスリートネットワークと連携した著名アスリートによるWMG関西応援事業の展開
～ 「ウォームアップ ジャパン フロム WMG関西」 の推進 ～
・新たなWMGアンバサダーによる大会情報の発信
・スポーツイベント(WMGアンバサダー等の派遣事業)の実施
- (2) 各府県市実行委員会・関西広域連合における取組
 - ① 開催競技のテスト大会・プレイベント、レガシー先行イベントの企画・実施
 - ② 「関西マスターズゲームズ 2022」の開催

スポーツを愛する多くの人々の期待に応え、大会の成功を期したいと考えておりますので、引き続きご支援ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【 報道関係者からのお問い合わせ先 】

公益財団法人ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会事務局 担当：高橋、橘
TEL：06-6446-2021 FAX：06-6445-8541 Mail：information@wmg2021.jp



第 7 7 回国民体育大会 本県選手団の成績一覧

確定版

1 総合成績

		男女総合成績（天皇杯得点）	女子総合成績（皇后杯得点）
競技得点	冬季大会	0.0点	0.0点
	会期前	8.0点	8.0点
	本大会	363.5点	145.0点
	合 計	371.5点	153.0点
参 加 得 点		390.0点	330.0点
得 点 合 計		761.5点	483.0点
総 合 順 位		39位	36位

2 入賞成績 （ 1 7 競技 3 2 種別 5 5 種目 ）

会期前実施競技

競 技	種 別	種 目	氏 名	所 属	順位	得点	小計
水泳（競泳）	少年女子B	5 0 m 自由形	エノモト ユヅキ 榎本 裕月	岩出市立岩出中学校	5 位	4.0点	8.0点
		1 0 0 m 自由形	エノモト ユヅキ 榎本 裕月	岩出市立岩出中学校	7 位	2.0点	
	成年女子	1 0 0 m 背泳ぎ	ヤマサキ ヒカル 山崎 光	新潟医療福祉大学	7 位	2.0点	

本大会実施競技

競 技	種 別	種 目	氏 名		順位	得点	小計
陸上	成年男子	3000mSC	ツエタキ ヒロノリ 漬滝 大記	富士通	5 位	4.0点	27.0点
	成年女子	やり投	オサ マヒロ 長 麻尋	国土舘クラブ	3 位	6.0点	
		走高跳	マツモト マリン 松本 万鈴	甲南大学	5 位	4.0点	
	少年男子B	3000m	アンドウ カイト 安東 海音	県立和歌山北高等学校	7 位	2.0点	
	少年女子共通	走高跳	マエニシ サクラ 前西 咲良	近畿大学附属和歌山高等学校	4 位	5.0点	
	少年女子A	100mH	フクイ ユカ 福井 有香	県立桐蔭高等学校	4 位	5.0点	
		やり投	テラダ リコ 寺田 莉子	開智高等学校	8 位	1.0点	
ボクシング	成年男子	フライ級	ハヤシダ ショウタ 林田 翔太	和歌山県庁	3 位	5.5点	13.5点
		ライト ウェルター級	ホシ ダイジロウ 星 大二郎	和歌山県教育庁	3 位	5.5点	
		ライトヘビー級	タジリ シンヤ 田尻 真也	和歌山県警察	5 位	2.5点	

競 技	種 別	種 目	氏 名	所 属	順位	得点	小計
バレーボール	少年男子	6人制	フルタニ ショウ 古谷 祥	開智高等学校	7 位	7.5点	7.5点
			ナガタ テツタ 長田 哲太	開智高等学校			
			アライ リョウタ 新居 良太	開智高等学校			
			シモサキ トモキ 下崎 智稀	開智高等学校			
			キタノ コウダイ 北野 紘大	開智高等学校			
			マエシバ コウキ 前芝 皓規	開智高等学校			
			カズンズ カイ カズンズ 海	開智高等学校			
			クスモト ケイゴ 楠本 圭梧	開智高等学校			
			ヤマモト ユウセイ 山本 侑征	開智高等学校			
			ヤオイ マサキ 矢追 昌希	開智高等学校			
			ウエダ アオ 上田 蒼央	開智高等学校			
			キタノ タイセイ 北野 泰生	開智高等学校			
レスリング	成年男子	フリースタイル 74kg級	ミワ ユウト 三輪 優翔	総合警備保障株式会社	2 位	7.0点	33.5点
		グレコローマン スタイル 60kg級	オカモト カゲトラ 岡本 景虎	専修大学	5 位	2.5点	
		グレコローマン スタイル 67kg級	ナガサワ ユウト 長澤 勇人	県立和歌山さくら支援学校（教）	5 位	2.5点	
	少年男子	グレコローマン スタイル 51kg級	モリシタ ダイスケ 森下 大輔	県立和歌山北高等学校	1 位	8.0点	
		グレコローマン スタイル 60kg級	タカツカ コウキ 高塚 恒輝	県立新宮高等学校	3 位	5.5点	
		グレコローマン スタイル 65kg級	ウケガワ オウタロウ 請川 凰大良	県立和歌山北高等学校	3 位	5.5点	
		フリースタイル 55kg級	シマカワ イサキ 嶋川 潔生	県立和歌山北高等学校	5 位	2.5点	
	セーリング	成年男子	国体ウインド サーフィン級	オガワ ジュン 尾川 潤	株式会社島精機製作所	6 位	
成年女子		レーザー ラジアル級	アカマツ ユウカ 赤松 佑香	関西大学	7 位	2.0点	
少年男子		4 2 0 級	ウエハラ ジンペイ 上原 慎平	県立和歌山工業高等学校	5 位	12.0点	
			マエタニ カジ 前谷 嘉志	県立和歌山工業高等学校			
少年女子		4 2 0 級	フジワラ マサキ 藤原 優咲	県立和歌山工業高等学校	5 位	12.0点	
			イソノ スミレ 磯野 すみれ	県立和歌山工業高等学校			

競 技	種 別	種 目	氏 名	所 属	順位	得点	小計
ウェイト リフティング	成年男子	81kg級スナッチ	シラクサ 白草 リュウタ 竜太	和歌山県庁	4 位	5.0点	22.0点
		89kg級スナッチ	コマサカ 駒阪 ユウキ 勇気	早稲田大学	6 位	3.0点	
		89kg級クリーン ＆ジャーク	コマサカ 駒阪 ユウキ 勇気	早稲田大学	7 位	2.0点	
	少年男子	61kg級スナッチ	マエヤマ 前山 コウマ 航磨	県立和歌山工業高等学校	7 位	2.0点	
		73kg級スナッチ	キムラ 木村 ハリ 梁	県立紀北工業高等学校	4 位	5.0点	
		73kg級クリーン ＆ジャーク	キムラ 木村 ハリ 梁	県立紀北工業高等学校	4 位	5.0点	
自転車	成年男子	個人ロード レース	オカモト 岡本 ハヤト 隼	愛三工業	3 位	6.0点	6.0点
ソフトテニス	少年女子		エグチ 江口 サラサ 咲礼紗	和歌山信愛高等学校	4 位	25.0点	25.0点
			ツツイ 筒井 モエミ 萌水	和歌山信愛高等学校			
			イワモト 岩元 ノゾミ 望美	和歌山信愛高等学校			
			イワモト 岩元 マナミ 愛美	和歌山信愛高等学校			
			ウラヤマ 浦山 サツキ 皐	和歌山信愛高等学校			
相撲	成年男子		サワダ 沢田 ヒ デ オ 日出夫	和歌山県庁	5 位	7.5点	32.5点
			ミヤザキ 宮崎 レイ 麗	和歌山県庁			
			ゴシマ 五島 マサハル 雅治	拓殖大学			
	少年男子		ニシデ 西出 ダイキ 大毅	県立和歌山商業高等学校	4 位	25.0点	
			ナカニシ 中西 カイシン 海心	県立和歌山商業高等学校			
			ノダ 野田 テンガ 典雅	県立箕島高等学校			
			ムラヤマ 村山 ケン 謙	県立箕島高等学校			
			ヤマモト 山本 ジュウゾウ 十蔵	県立和歌山商業高等学校			
馬術	成年男子	ダービー競技	フジタニ 藤谷 ヨシハル 喜晴	(株) オークワ	7 位	2.0点	2.0点

競 技	種 別	種 目	氏 名	所 属	順位	得点	小計
フェンシング	成年男子	フルーレ	イカミ シュンペイ 井神 俊兵	日本大学	3 位	18.0点	45.0点
			ニシグチ ヤスタカ 西口 泰嵩	法政大学			
			ヤマグチ アラタ 山口 改	中央大学			
		サーブル	イカミ シュンペイ 井神 俊兵	日本大学	8 位	3.0点	
			ニシグチ ヤスタカ 西口 泰嵩	法政大学			
			ヤマグチ アラタ 山口 改	中央大学			
成年女子	フルーレ	アズマ リオ 東 莉央	明治安田生命相互会社	1 位	24.0点		
		アズマ セラ 東 晟良	株式会社ピークス				
		イワモト レイナ 岩本 鈴菜	日本大学				
ライフル射撃	成年男子	FR60PR (50mライフル男子 伏射60発競技)	マチダ ケンタロウ 町田 健太郎	(株) 鴻池組	6 位	3.0点	6.0点
		AP60 (10mエア・ピスト ル男子60発競技)	ミヤワキ マサト 宮脇 正人	大阪歯科大学	6 位	3.0点	
カヌー	成年男子	カヌースプリント K-1 500m (カヤックシング ル)	ミヤタ ユウスケ 宮田 悠佑	教育センター学びの丘 (職)	7 位	2.0点	45.0点
		カヌースプリント K-1 200m (カヤックシング ル)	ミヤタ ユウスケ 宮田 悠佑	教育センター学びの丘 (職)	5 位	4.0点	
	成年女子	カヌースプリント C-1 500m (カナディアンシ ングル)	コバヤシ ミオ 小林 実央	武庫川女子大学	3 位	6.0点	
		カヌースプリント C-1 200m (カナディアンシ ングル)	コバヤシ ミオ 小林 実央	武庫川女子大学	3 位	6.0点	
	少年男子	カヌースプリント C-1 500m (カナディアンシ ングル)	ハマモト シリュウ 濱本 子龍	県立神島高等学校	3 位	6.0点	
		カヌースプリント C-1 200m (カナディアンシ ングル)	ハマモト シリュウ 濱本 子龍	県立神島高等学校	1 位	8.0点	
		カヌースプリント C-2 500m (カナディアンペ ア)	ナカヤマ ナオト 中山 直大	県立神島高等学校	4 位	5.0点	
			ヨシダ トモヤ 吉田 朋矢	県立神島高等学校			
		カヌースプリント C-2 200m (カナディアンペ ア)	ナカヤマ ナオト 中山 直大	県立神島高等学校	1 位	8.0点	
			ヨシダ トモヤ 吉田 朋矢	県立神島高等学校			
空手道	成年男子	組手 (中量級)	タニグチ アキミチ 谷口 暁理	近畿大学工学部	5 位	2.5点	2.5点
なぎなた	少年女子	試合	カワグチ チ サ キ 川口 知咲季	県立和歌山北高等学校	8 位	3.0点	3.0点
			タキモト ミヤビ 瀧本 雅	県立和歌山北高等学校			
			サカモト コ ハ ル 坂本 湖葉琉	初芝橋本高等学校			

競 技	種 別	種 目	氏 名	所 属	順位	得点	小計
ボウリング	成年女子	団体戦 (4 人チーム戦)	伊勢川 華愛	和歌山大学	1 位	24. 0点	64. 0点
			安里 紗希	レンタルハウス株式会社			
			山本 菜由	和歌山県教育庁			
			川口 茉紀	川口ビル			
		団体戦 (2 人チーム戦)	伊勢川 華愛	和歌山大学	2 位	21. 0点	
			安里 紗希	レンタルハウス株式会社			
		個人戦	山本 菜由	和歌山県教育庁	8 位	1. 0点	
		成年男子	団体戦 (4 人チーム戦)	和田 翔吾	和歌山県庁	3 位	
	安里 秀策			株式会社イーストトレジャー			
	渡邊 玲史			日吉染業株式会社			
宮崎 映丞	株式会社一水産						

第 2 2 回全国障害者スポーツ大会和歌山県選手団の競技結果

※ 令和 4 年 1 0 月 2 9 日（土）から 3 1 日（月）まで栃木県で開催

（個人競技）

競技名	氏名	ふりがな	障害 区分	種目名	記録	順位	種目名	記録	順位
陸上 競技	面村 文邦	にしむら よしくに	肢体	50m	8秒63	1	200m	36秒76	1
	築地 友哉	つきじ ゆうや	肢体	立幅跳	1m62cm	1	ジャベリックスロー	20m36cm	1
	辻 淳也	つじ じゅんや	視覚	ジャベリックスロー	13m07cm	3	走幅跳	2m76cm	1
	佐野 颯太	さの そうた	聴覚	砲丸投	10m88cm	3	ソフトボール投	45m10cm	2
	中筋 陸駆	なかすじ りく	知的	800m	2分19秒30	6	1500m	4分45秒10	8
	松下 佑太	まつした ゆうた	知的	200m	29秒27	7	100m	13秒59	5
	太田 聖世	おおた こうせい	知的	ソフトボール投	69秒08	1	立幅跳	2m14cm	3
	中村 瑠里	なかむら るり	知的	800m	3分38秒33	7	立幅跳	1m80cm	5
水泳 競技	永原 和真	ながはら かずま	肢体	25m自由形	17秒16	2	50m自由形	35秒81	2
	中嶋 日香莉	なかしま ひかり	知的	25m自由形	15秒75	1	50m自由形	35秒01	4
	中谷 侑貴	なかたに ゆうき	知的	25m自由形	14秒83	5	25m背泳ぎ	18秒82	7
アーチェリー 競技	新川 貴信	しんかわ たかのぶ	肢体	リカーブ 3 0 m ダブルラウンド	613点	2			
卓球 競技	小池 豊美	こいけ とよみ	肢体	一般卓球	3点	2			
	早瀬戸 茜	はやせと あかね	聴覚	一般卓球	6点	1			
	岡田 和大	おかだ かずひろ	知的	一般卓球	2点	3			
	庄司 直樹	しょうじ なおき	精神	一般卓球	5点	2			
フライング ディスク競技	西 圭史	にし けいじ	肢体	アキュラシー ディスリート 5	7投	7	ディスタンスメンズ シティング	26m07cm	3
	湯川 芳規	ゆかわ よしのり	肢体	アキュラシー ディスリート 5	9投	4	ディスタンスメンズ スタンディング	30m10cm	2
	北田 宜子	きただ のぶこ	肢体	アキュラシー ディスリート 5	4投	8	ディスタンスレディース スタンディング	17m90cm	7
	高関 達矢	たかせき たつや	知的	アキュラシー ディスリート 5	10投	1	ディスタンスメンズ スタンディング	44m04cm	1
	廣田 祐貴	ひろた ゆうき	知的	アキュラシー ディスリート 5	8投	2	ディスタンスメンズ スタンディング	28m83cm	6
	小杉 修平	こすぎ しゅうへい	知的	アキュラシー ディスリート 5	1投	7	ディスタンスメンズ スタンディング	22m50cm	6
ボウリング 競技	傍島 良樹	そばじま よしき	知的	ボウリング競技	616	4			
	東畑 澄子	ひがしばた すみこ	知的	ボウリング競技	414	4			

（団体競技）

バレーボール （知的・男子）	優勝	決勝戦 ○（2－0） 東京都
バレーボール （知的・女子）	2 位	決勝戦 ●（1－2） 東京都
フットソフトボール （知的）	4 位	3 位決定戦 ●（8－1 2） 栃木県

メダル獲得数

	金	銀	銅
陸上競技	6	1	3
水泳	1	2	0
アーチェリー	0	1	0
卓球	1	2	1
フライングディスク	2	2	1
バレーボール	1	1	0
計	11	9	5

第 1 6 回全国障害者スポーツ大会
和歌山県選手団メダル獲得数

金メダル 1 8 個
銀メダル 1 7 個
銅メダル 2 0 個 計 5 5 個

第 1 7 回全国障害者スポーツ大会
和歌山県選手団メダル獲得数

金メダル 1 2 個
銀メダル 1 0 個
銅メダル 4 個 計 2 6 個

第 1 8 回全国障害者スポーツ大会
和歌山県選手団メダル獲得数

金メダル 1 3 個
銀メダル 9 個
銅メダル 7 個 計 2 9 個

※第 1 9 回大会は荒天により、第 2 0 回大会及び第 2 1 回大会は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため全競技中止